MZK-MR150

User's Manual

目次

第 1 章 安全上のご注意

1.1 本製品を安全にご利用いただくために

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧いただき必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、「**感電**」「**火災**」「**故障**」などが発生する場合があります。
これによって人が負傷されたり、死亡につながる 恐れがあります。また、万一「**発火**」「**発煙**」「**溶解**」などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。

⚠警告 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が負傷されたり、死亡につながる恐れが想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が負傷されたり、物的損傷を引き起こす恐れが想定される内容を示しています。

⚠警告	
 禁 止	**電源は AC100V（50 ／ 60Hz）以外では絶対に使用しないでください。** 本製品と本製品の定格電力ラベルに記載されている電圧・電流のものをお使いください。異なる電圧・電流でご使用すると発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障などの原因となります。
 強制指示	**必ず付属の専用 AC アダプタ（または電源ケーブル）を使用してください。** 本製品付属以外の AC アダプタ（または電源ケーブル）の使用は発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障のなどの原因となります。
 強制指示	**AC アダプタ（または電源ケーブル）の取り扱いを守ってください。** AC アダプタ（または電源ケーブル）に加熱や無理な曲げ、引っ張ったりするなどといった行為はしないでください。発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障などの原因となります。また、AC アダプタ（または電源ケーブル）を抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
 禁 止	**動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。** 範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
 禁 止	**本製品を分解、改造しないでください。** 感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。また改造は法律で禁止されています。

強制指示	**コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは直ちに取り除いてください。** そのまま使用することで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
水濡禁止	**本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。** 本製品に液体がこぼれることで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
プラグを抜く	**煙が出たり、異臭がしたら直ちに使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。** そのまま使用することで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
濡手禁止	**本製品を濡れた手で触れないでください。また事前に指輪、腕時計などの装身具を外しておいてください。** これらの状態で本製品に触れると感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
禁　止	**本製品を重ねて設置しないでください。** 本製品が加熱し、感電、火災、または本製品の誤作動、故障などの原因となります。
触手禁止	**雷のときは本製品や接続されているケーブル等に触れないでください。** 落雷による感電の原因になります。
強制指示	**本製品は一般家庭や小規模事業所におけるブロードバンド環境下での利用を前提にしています。** 本製品は、物理的・論理的に規模の大きなネットワークや、一般的ではない環境または目的で本製品を使用した場合、正常に動作しない可能性があります。
禁　止	**金融機器、医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。**

⚠注意	
	本製品を次のような場所での使用や保管はしないでください。 ● 直射日光の当たる場所 ● 暖房器具の近くなどの高温になる場所 ● 温度変化の激しい場所 ● 湿気やほこりの多い場所 ● 振動の多い場所や不安定な場所 ● 静電気が多く発生する場所 ● 油煙や湯気があたる場所 ● 腐食性ガスの発生する場所 ● 壁の中などお手入れが不可能な場所 ● 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所
	本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。 本製品の誤作動、故障などの原因となります。
	移動させるときは AC アダプタ(または電源ケーブル)を外してください。 必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してください。
	お手入れの際は以下の内容に注意してください。 ● 電源プラグをコンセントから抜いてください。 ● シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないでください。
	定期的にデータのバックアップを行ってください。 本製品のご利用にかかわらず、パソコンのデータのバックアップを定期的に取得してください。万一不測の事態が発生し、不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったときの回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。
	RJ-45 ポートのある製品は、以下の内容に注意してください。 RJ-45 ポートには電話線コネクタを差し込まないでください。本製品が損傷する場合があります。

■無線製品に関して

本製品を下記のような状況でご使用になるのはおやめください。

- 本製品を心臓ペースメーカーや補聴器など医療機器の近くや医療機関の中でのご使用はおやめください。電磁障害を及ぼし生命の危険があります。
- 本製品を交通機関内、特に航空機の中でのご使用はおやめください。機内での電子機器や無線機器の利用が禁止されており、航空機の装置などへ影響を与えて事故の原因になる恐れがあります。
- 本製品を電子レンジの近くでのご使用はおやめください。電子レンジをご使用のとき、電磁波の影響によって、無線通信が妨害される恐れがあります。

■電波に関して

本製品の無線 LAN の周波数帯は、医療機器や電子レンジなどの産業・科学機器、工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局と重複しているため、電波の干渉による無線通信の障害が発生する恐れがあります。

- 本製品のご利用の前に、干渉範囲内に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波の干渉が発生したときは、速やかに周波数を変更するか使用を中止してください。
- その他、本製品から移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波干渉など、何かお困りのことが発生したときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
- 本製品の電波の種類と干渉距離について

2.4 DS/OF 4
■■■

2.4　:2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。

DSOF　:DS-SS 方式および OFDM 方式を表します。

4　:想定される干渉距離が 40m 以下を表します。

■ ■ ■:全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能なことを表します。

■ご利用上の注意

- 接続においては、IEEE802.11n（2.4GHz 帯）または IEEE802.11g、IEEE802.11b 無線 LAN その他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用した場合に接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。
- 5.2GHz 帯を屋外で使用することは、電波法により禁止されています。IEEE802.11a は屋外で使用することはできませんのでご注意ください。
- 本書内に記載されている無線 LAN 規格における数値は理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本製品はすべての無線 LAN 機器との接続動作を確認したものではありません。
- 弊社は、無線機器によるデータ通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につき、一切の責任を負いません。
- Bluetooth と無線 LAN は同じ 2.4GHz 帯の無線周波数を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの Bluetooth、無線 LAN のいずれかの使用を中止してください。

■無線 LAN におけるセキュリティに関するご注意

お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
  悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。ただし、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があり、また無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サ

ポートセンターまでお問い合わせください。セキュリティ対策を施さず、あるいは無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

弊社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

1.2 おことわり

■ご注意

- 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 通信内容や保持情報の漏洩、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本製品のパッケージ等に記載されている性能値（スループット）は、当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保証するものではありません。また、バージョンアップ等により予告無く性能が上下することがあります。
- ハードウェア、ソフトウェア（ファームウェア）、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- 本製品内部のソフトウェア（ファームウェア）更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
- 一般的に、インターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要になります。
- 通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末台数を制限、あるいは台数に応じた料金を設定している場合がありますので、通信事業者との契約内容をご確認ください。
- 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- 本製品は日本の国内法（電気用品安全法・電波法等）のもとで利用可能な製品であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認してください。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

■著作権等

- ユーザーズ・マニュアルに関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社に帰属します。ユーザーズ・マニュアルの記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- ユーザーズ・マニュアルの記述に関する、不明な点や誤りなどございましたら、弊社までご連絡ください。
- ユーザーズ・マニュアルの記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

■電波に関するご注意

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信妨害を起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

■RoHS 対応

生産から廃棄処分にいたる製品のライフサイクルにおいて、人の健康や環境への負荷を最小限に抑えることを目的とし、プラネックスコミュニケーションズでは、EU（欧州連合）の RoHS 指令準拠を始めとし、環境汚染物質の削減を積極的に進めております。

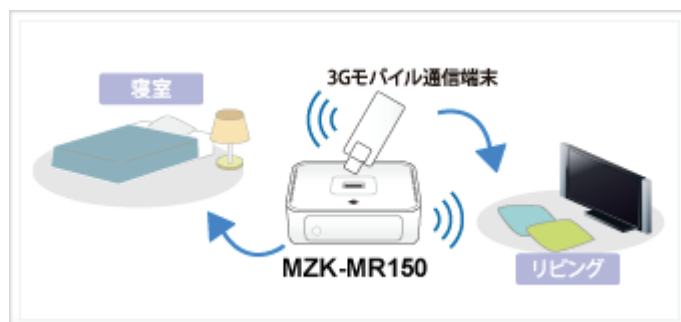
第 2 章 はじめに

2.1 本製品の特長

✧ **3G モバイル通信端末対応**

各キャリアの豊富な 3G モバイル通信端末に対応しています。光回線が導入できない場所でも USB 接続型の通信端末と組み合わせて Wi-Fi 環境を構築可能です。本製品へ 3G モバイル通信端末を接続することで、固定回線の契約が必要なくインターネット環境を構築することが可能になります。

✧ **場所を選ばずに設置可能**

3G モバイル通信端末を使用してインターネットへ接続するため、ケーブル配線を必要とせず簡単に Wi-Fi 環境を構築することができます。また、コンパクトサイズで設置場所の自由度が高く場所を選ばずにお使いいただけます。

✧ **セキュリティ設定をスイッチでワンタッチ切り替え可能**

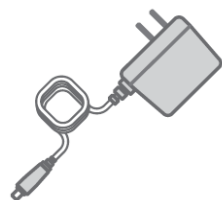
本製品背面にあるスイッチを使用して、SSID 間の通信をコントロールすることができます。 次のような環境でスイッチを切り換えて Separate mode（セパレートモード）を変更できます。面倒なブラウザ経由での設定は不要です。

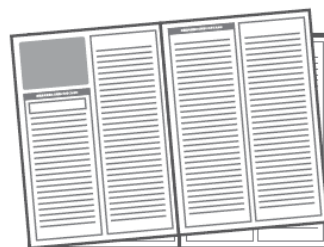
2.2 同梱物

パッケージに次の付属品が含まれていることを確認してください。

☐ MZK-MR150（本製品）

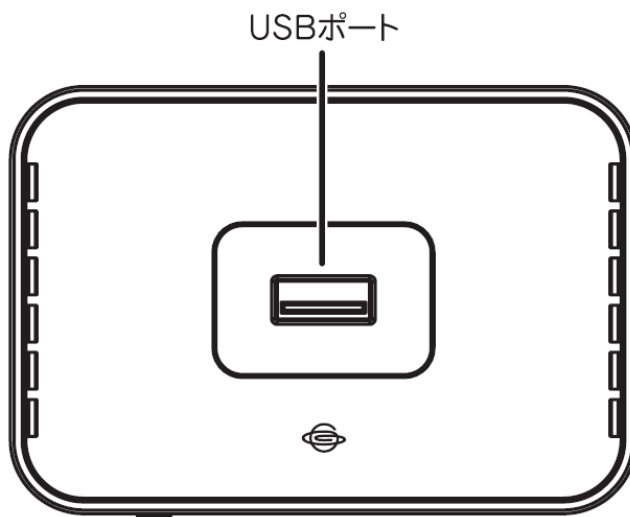
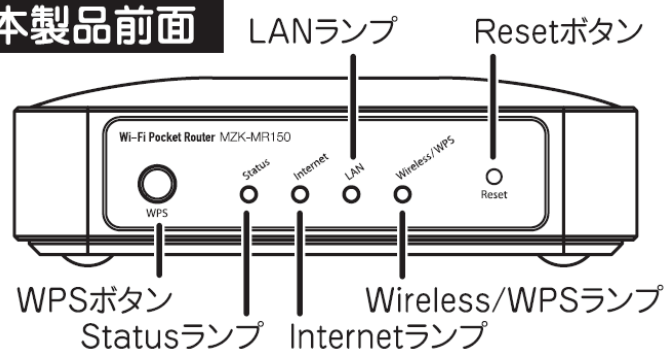
☐ LAN ケーブル

☐ AC アダプタ

☐ 有線・無線接続ガイド

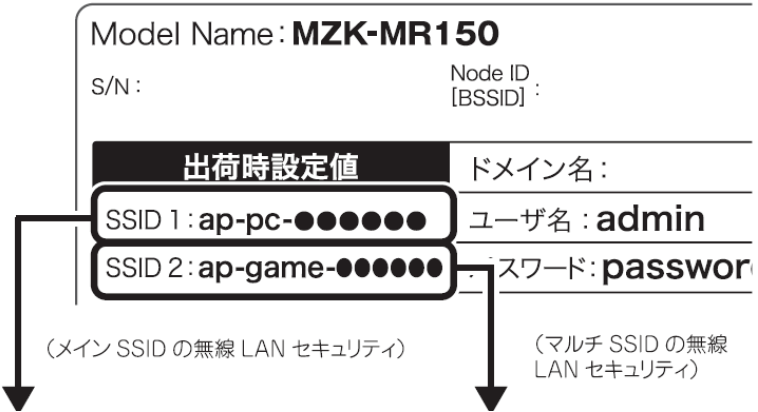
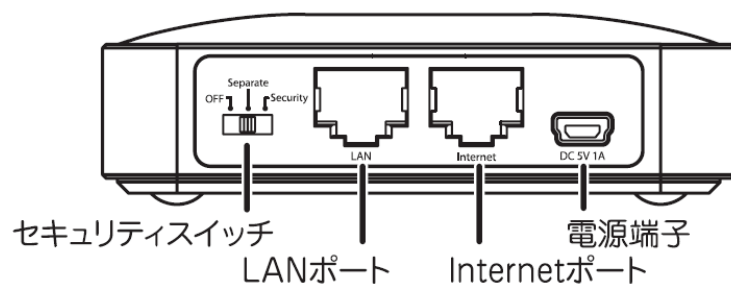
☐ 設定ガイド

☐ 安全に関する説明書／保証書

※パッケージ内容に破損または欠品があるときは、販売店または弊社までご連絡ください。

2.3 各部の名称とはたらき

本製品各部の名称について説明します。

名称	機能説明
USB ポート	3G モバイル端末を接続します。 ※　3G モバイル端末の対応情報は、本製品の製品ページを参照してください。 http://www.planex.co.jp/product/router/mzk-mr150/

名称	機能説明
WPS ボタン	「Wireless/WPS」ランプが赤色に点灯するまで、5 秒以上 WPS ボタンを押すと、WPS（無線 LAN 簡単設定機能）接続が有効になります。 ※ 操作方法は、「6.4.7 WPS の設定」を参照してください。 ※ WPS 機能を使用すると、本製品の無線 LAN セキュリティの初期設定が書き換わる為、本紙記載の暗号化キーでは接続できません。1 台のパソコンで無線 LAN 接続にご使用ください。 ※ 複数台の機器を無線 LAN 接続する場合には、手動にて「SSID：ap-pc-●●●●●●」、「暗号化キー：12345678」をそれぞれ設定してください。
Reset ボタン	本製品の設定情報を工場出荷時の状態に戻します。 （操作方法） 1. 本製品の電源がオンになっていることを確認します。 2. 本製品前面の「Reset」ボタンを 6 秒以上長押しします。 3. 本製品前面の「Status」ランプが点滅したら、「Reset」ボタンから手を離します。 4. しばらくそのままお待ちいただき、本製品が再起動 したら初期化の完了です。

（ランプの名称とはたらき）

名称	色	機能説明	
Status ランプ	緑	点灯	本製品が起動している状態です。
		点滅	初期化を実行している実行している状態です。
		消灯	本製品の電源がオフの状態です。
Internet ランプ	緑	点灯	Internet ポートに LAN ケーブルが接続されている状態です。
		点滅	データを送受信している状態です。
		消灯	Internet ポートに LAN ケーブルが接続されていない状態です。
LAN ランプ	緑	点灯	LAN ポートに LAN ケーブルが接続されている状態です。
		点滅	データを送受信している状態です。
		消灯	LAN ポートに LAN ケーブルが接続されていない状態です。
Wireless/WPS ランプ	緑	点灯	無線 LAN 機能が有効です。
		点滅	無線 LAN でデータを送受信している状態です。
		消灯	無線 LAN 機能が無効です。
	赤	点灯	本製品が起動している状態です。
		点滅	WPS 接続を試みている状態です。

本製品背面

名称	機能説明
セキュリティスイッチ	SSID（ネットワーク名）間の通信をコントロールします。 使用方法は「1.5　セキュリティスイッチについて」を参照してください。
LAN ポート	ご使用のローカルエリアネットワークと接続します。
Internet ポート	ご使用のインターネット回線に付属の LAN ケーブルで接続します。
電源端子	付属の AC アダプタを接続します。

2.4 工場出荷時の設定値

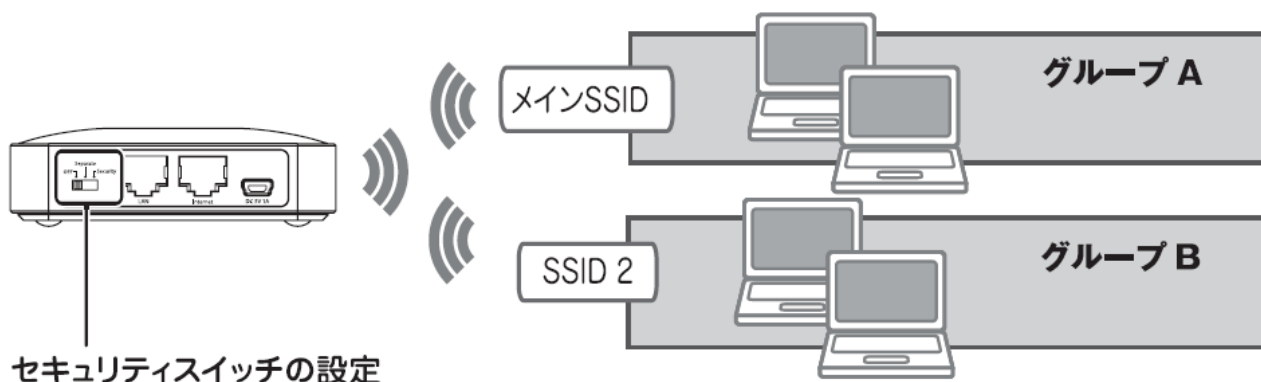
本製品の工場出荷時の設定内容は以下のとおりです。

名称	設定値	
ユーザ名（ログイン ID）	admin	
パスワード	password	
IP アドレス	192.168.111.1	
ネットワーク名（SSID）	Model Name : MZK-MR150 S/N : Node ID [BSSID] : 出荷時設定値 ドメイン名 : SSID 1 : ap-pc-●●●●●● ユーザ名 : admin SSID 2 : ap-game-●●●●●● スワード : passwor （メイン SSID の無線 LAN セキュリティ）	（マルチ SSID の無線 LAN セキュリティ）
暗号化キー	12345678	なし
認証方式	WPA2	－
暗号化方式	AES	－
キーフォーマット	パスフレーズ	－

※本製品背面のラベル内にある「SSID1」、「SSID2」をご確認ください。

※「●●●●●●」が製品ごとに異なります。

2.5 セキュリティスイッチについて

本製品背面にあるセキュリティスイッチを使用して、SSID 間の通信をコントロールすることができます。次のような環境でスイッチを切り換えて Separate mode（セパレートモード）を変更します。

OFF	SSID 間での通信が可能。グループ A/B 間の通信が可能です。
Separate ON	SSID 間での通信を遮断。グループ A/B 間の通信は不可能です。 同じ SSID 内での通信は可能です。（例：グループ A 内のパソコン同士）
Separate ON + Security ON	「Separate ON」の状態で、SSID の通知を無効にします。

第 3 章:インターネットの設定

3.1 インターネット回線を接続

本製品を通信機器、またはインターネット回線に接続します。

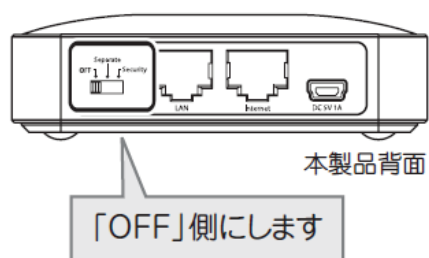
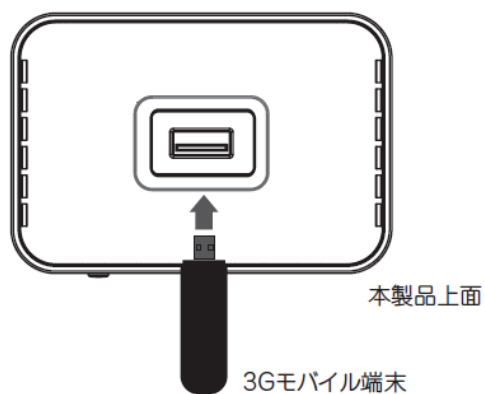
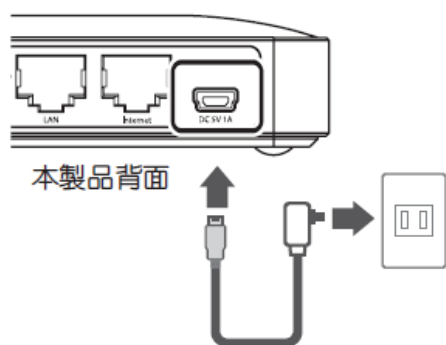
本製品を通信機器とインターネットに接続する方法はそれぞれ、有線と無線の 2 つがあります。無線でインターネットに接続する場合は、本製品に3G モバイル通信端末を USB 接続します。
3Gモバイル通信端末を接続することにより、インターネットと通信機器の両方に無線で接続する事が可能ですが、本マニュアルではどちらも有線で接続する方法を説明します。

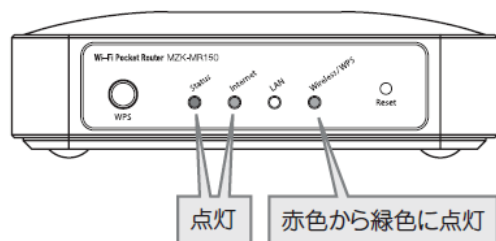
3G モバイル通信端末を使って本製品をインターネットに接続するとき
⇒ 「**3.1.1 3G モバイル端末を接続**」へ

LAN ケーブルを使って本製品をインターネットに接続するとき
⇒ 「**3.1.2 インターネット回線を接続**」へ

3.1.1 3G モバイル端末を接続

ここでは、3G モバイル端末を接続する方法を説明します。

1. 本製品背面のセキュリティスイッチが「OFF」側になっていることを確認します。
   ※「Separate」または「Security」になっているときは、「OFF」側に切換えてください。

2. 本製品上面の USB ポートと 3G モバイル端末を接続します。

3. 付属の AC アダプタを本製品背面の電源端子とコンセントに接続します。

4. 本製品前面の「Status」ランプが点灯、「Internet」ランプが点滅、「Wireless/WPS」ランプが赤色から緑色に点灯することを確認します。

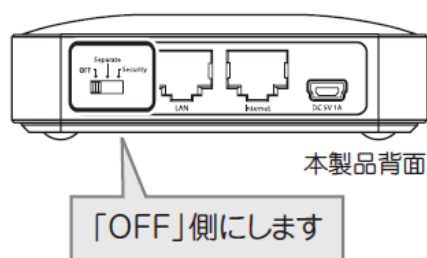
本製品前面

※ランプが点灯または点滅しない場合は、3G モバイル端末及び、AC アダプタがしっかりと挿し込まれているか確認してください。

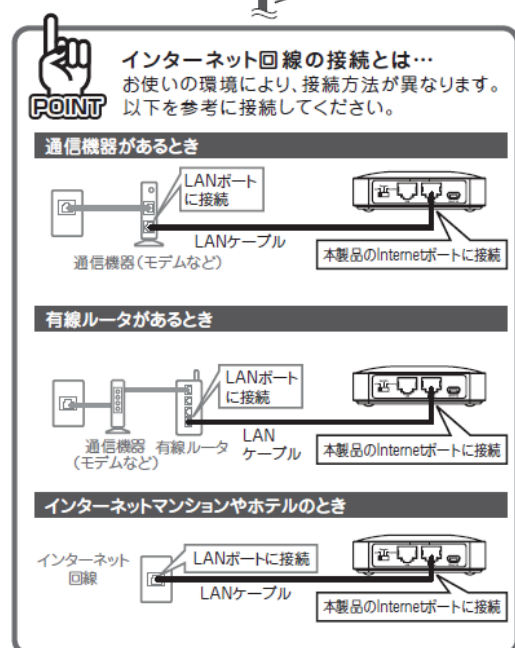
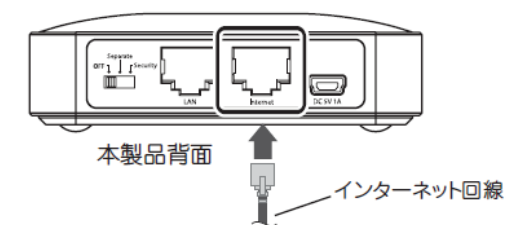
※ランプが点灯して 2 分程お待ちいただいてから、次の手順に進んでください。

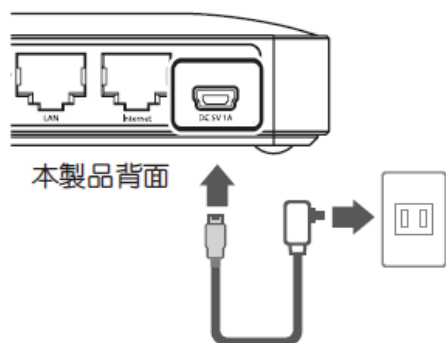
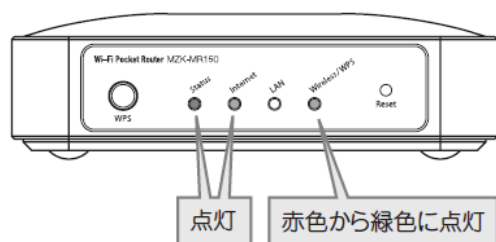
5. 設定用パソコンまたは iPhone を起動します。

3.1.2 インターネット回線を接続

ここでは、インターネット回線を接続する方法を説明します。

1. 本製品背面のセキュリティスイッチが「OFF」側になっていることを確認します。
   ※「Separate」または「Security」になっているときは、「OFF」側に切換えてください。

2. モデム※をオフにします。
   ※モデムとは、プロバイダや回線事業者から、レンタルされている機器をここでは指します。
   例：ADSL モデム、ケーブルモデム、終端装置（ONU・CTU）など
   ※インターネットマンションやホテルでインターネットの接続をするときは、手順 3 に進んでください。

3. 付属の LAN ケーブルを使って、本製品の「Internet ポート」にインターネット回線を接続します。

4. モデムの電源をオフのときは、オンにします。

5. 付属の AC アダプタを本製品背面の電源端子とコンセントに接続します。

6. 本製品前面の「Status」ランプが点灯、「Internet」ランプが点滅、「Wireless/WPS」ランプが赤色から緑色に点灯することを確認します。

※ランプが点灯または点滅しない場合は、LAN ケーブル及び、AC アダプタがしっかりと挿し込まれているか確認してください。

※ランプが点灯して 2 分程お待ちいただいてから、次の手順に進んでください。

7. 設定用パソコンまたは iPhone を起動します。

3.2 インターネット回線を接続

本製品に、パソコンや iPhone を接続します。

該当する項目を参照してください。

- iPhone や iPad を無線 LAN で接続するとき…………………「3.2.1 iPhone・iPad」
- Windows 7 のパソコンを無線 LAN で接続すると き………「3.2.2 Windows 7」
- Windows Vista のパソコンを無線 LAN で接続するとき… 「3.2.3 Windows Vista」
- Windows XP のパソコンを無線 LAN で接続するとき…… 「3.2.4 Windows XP」
- Mac OS X のパソコンを無線 LAN で接続するとき……… 「3.2.5 Mac OS X」
- 無線 LAN アダプタを使用して接続するとき…………………「3.2.6 無線 LAN アダプタを使用する」
- WPS 機能と使用して無線 LAN 接続するとき…………… 「3.2.7 WPS ボタンを使用する」
- パソコンを有線 LAN で接続するとき…………………………「3.2.8 有線 LAN で接続」

3.2.1 iPhone・iPad

1. iPhone・iPad のメインメニューより「設定」をタッチします。

2. 設定メニューの「Wi-Fi」をタッチします。

3. Wi-Fi を ON にします。

4. 「ワイヤレスネットワークを選択」にて、「ap-pc-●●●●●●」をタップします。

5. 本製品の暗号化キーを入力します。

（1）「12345678」を半 角英数で入力します。

（2）「JOIN」をタップします。

6. 手順 4 でタップしたネットワーク名（SSID）の左に、チェックマーク（ ）が表示されていることを確認します。

以上で接続は完了です。

3.2.2 Windows 7

※ 内蔵無線 LAN を有効にする為の「オン/オフ」スイッチがパソコン本体についているときは、予め「オン」にしてください。操作方法がご不明なときは、各メーカーの取扱説明書を参照してください。

※ パソコンによっては、メーカー独自の無線接続ソフトを使用する場合があります。そのときは、各メーカーの取扱説明書を参照してください。

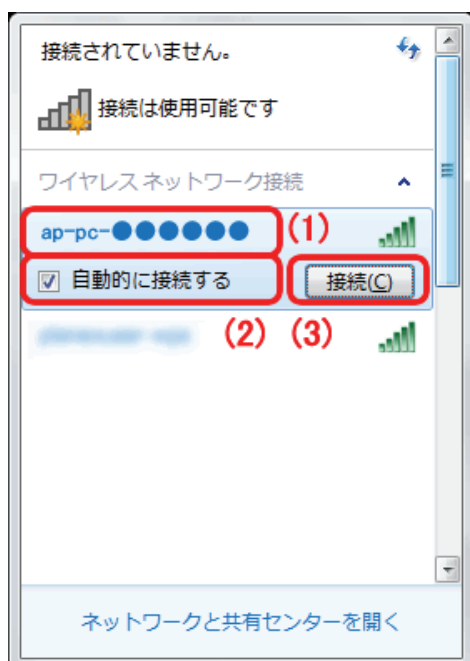
1. (1)「スタート」をクリックします。
   (2)「コントロールパネル」をクリックします。

2.　「インターネットへの接続」をクリックします。

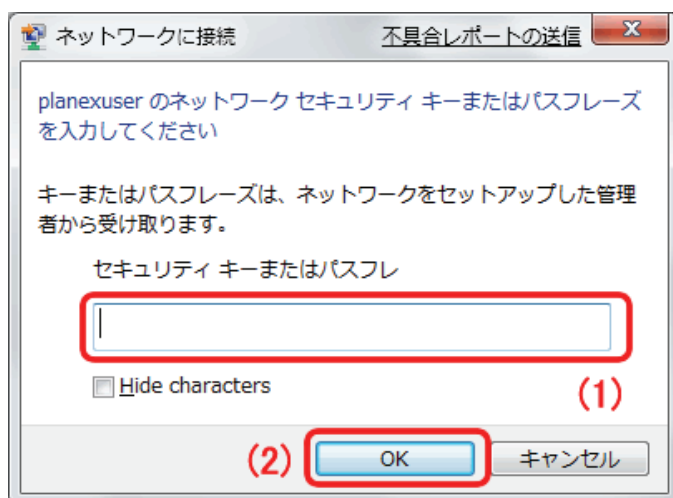
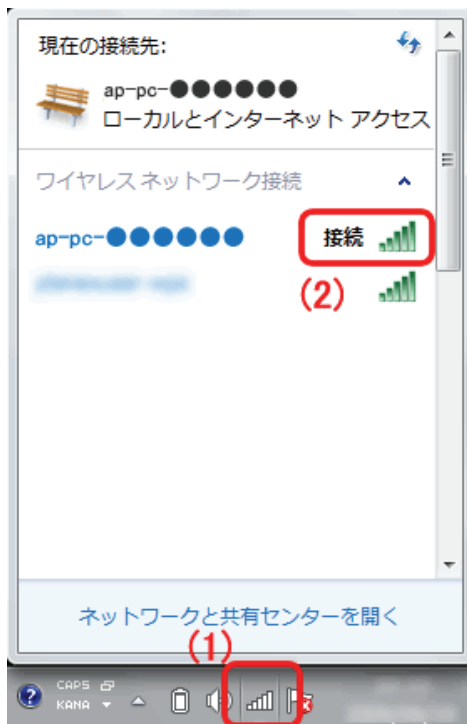
※「インターネットへの接続」が無い場合は、「ネットワークの状態とタスクの表示」→「ネットワークに接続」をクリックし、手順 4 に進みます。

※コントロールパネルがアイコン表示の場合は、「ネットワークと共有センター」→「ネットワークに接続」をクリックし、手順 4 に進みます。

3.　「ワイヤレス（W）」をクリックします。

4. (1)「ap-pc-●●●●●●」を選択します。
(2)「自動的に接続する」にチェックを入れます。
(3)「接続」をクリックします。

※「ap-pc-●●●●●●」が表示されないときは、以下の操作をしてください。

- 画面右上の更新ボタンをクリックしてください。
- 本製品の電源が入っているか、パソコンの内蔵無線 LAN がオンになっているかを確認してください。

5. 本製品の暗号化キーを入力します。
(1)「12345678」を半角英数で入力します。
(2) [OK]をクリックします。

6. (1)システムトレイの「ワイヤレスネットワーク接続」のアイコンをクリックします。
(2)「接続」と表示されていることを確認します。

※「制限付きアクセス」などと表示されるときは、2～3 分ほどお待ちいただいてから、「接続」と表示されているか確認ください。

※ウィルス対策ソフトのメッセージ画面が表示されたときは、アクセスを許可してください。

7. 「ネットワークの場所の設定」画面が表示されたときは、任意の場所を選びます。
※「ネットワークの場所の設定」画面が表示されないときは、本手順は終了です。次の手順に進んでください。
※「ネットワークの場所の設定」画面について、詳しくは画面左下の「選択についての説明を表示します」をクリックし、記載されている内容を確認して、設定してください。

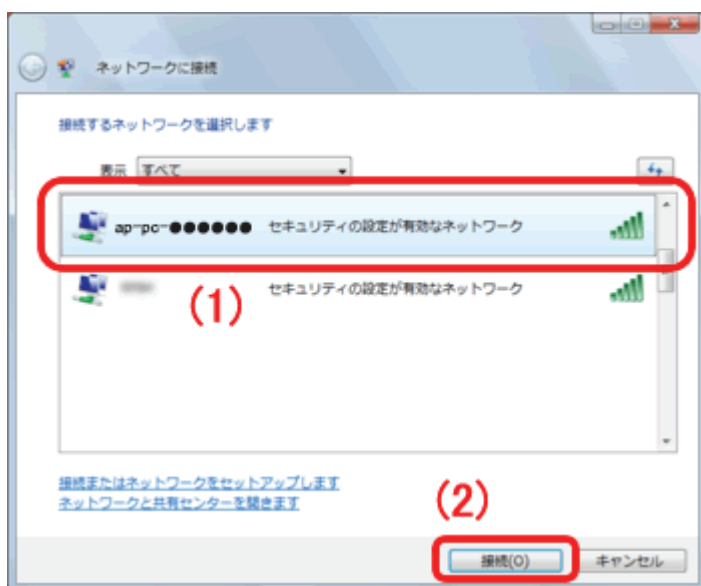
以上で接続は完了です。

3.2.3 Windows Vista

※ 内蔵無線 LAN を有効にする為の「オン/オフ」スイッチがパソコン本体についているときは、予め「オン」にしてください。操作方法がご不明なときは、各メーカーの取扱説明書を参照してください。

※ パソコンによっては、メーカー独自の無線接続ソフトを使用する場合があります。そのときは、各メーカーの取扱説明書を参照してください。

1. (1)「スタート」をクリックします。
   (2)「接続先」をクリックします。

2. 本製品の SSID（ネットワーク名）に接続します。

(1)「ap-pc-●●●●●●」を選択します。

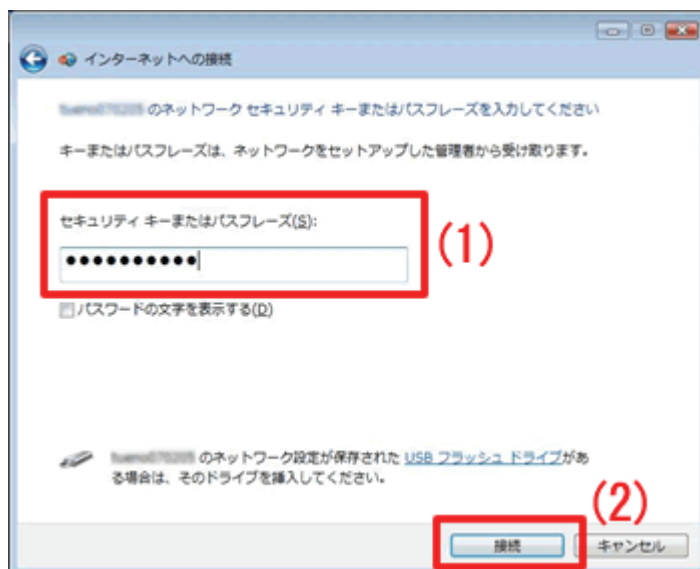
(2)［接続］をクリックします。

※「ap-pc-●●●●●●」が表示されないときは、以下の操作をしてください。

・ 画面右上の更新ボタンをクリックしてください。

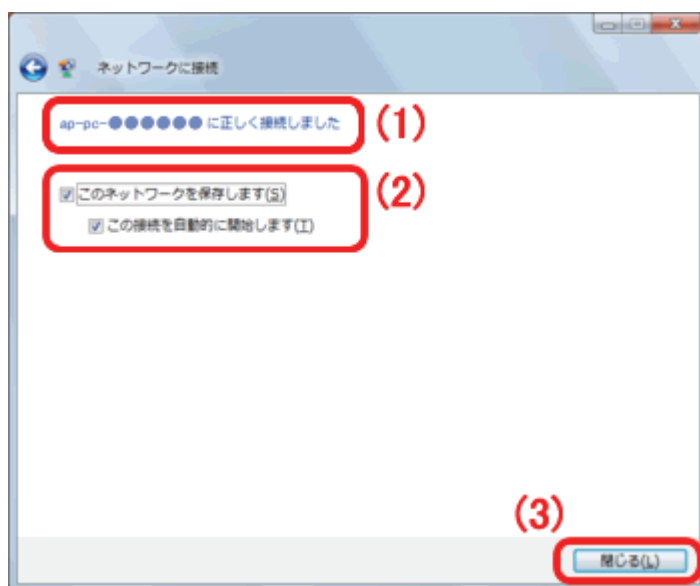
・ 本製品の電源が入っているか、パソコンの内蔵無線 LAN がオンになっているかを確認してください。

3.　本製品の暗号化キーを入力します。

(1)「12345678」を半角英数で入力します。

(2)［OK］をクリックします。

4.　(1)「ap-pc-●●●●●●に正しく接続しました」と表示されることを確認します。

(2)「このネットワークを保存します」と「この接続を自動的に開始します」にチェックを入れます。

(3)［閉じる］をクリックします。

※「接続に失敗しました」などと表示されるときは、2～3 分ほどお待ちいただいてから、もう一度手順 1 から接続してください。

※ウィルス対策ソフトのメッセージ画面が表示されたときは、アクセスを許可してください。

5. 「ネットワークの場所の設定」画面が表示されたときは、任意の場所を選びます。

※「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、[続行]をクリックし、次の画面で[閉じる]をクリックします。

※上記の画面が表示されないときは、本手順は終了です。次の手順に進んでください。

※上記の画面について、詳しくは画面左下の「選択についての説明を表示します」をクリックし、記載されている内容を確認して、設定してください。

以上で接続は完了です。

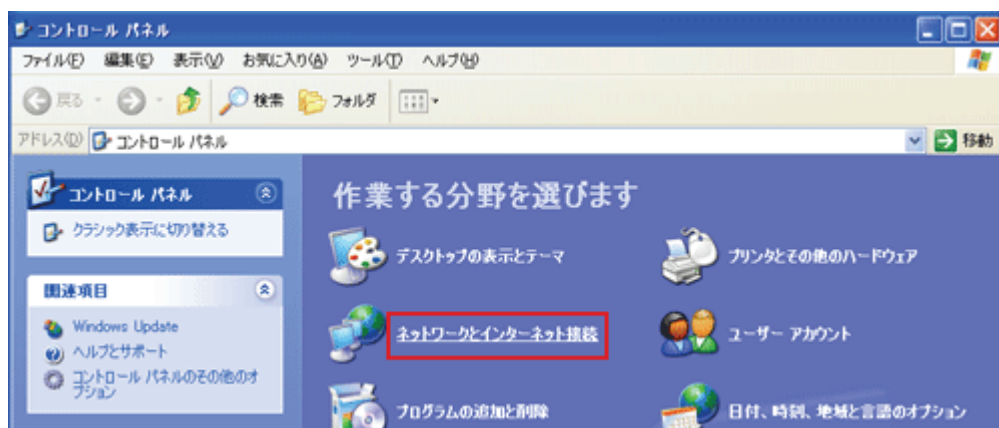
3.2.4　Windows XP

※　内蔵無線 LAN を有効にする為の「オン/オフ」スイッチがパソコン本体についているときは、予め「オン」にしてください。操作方法がご不明なときは、各メーカーの取扱説明書を参照してください。

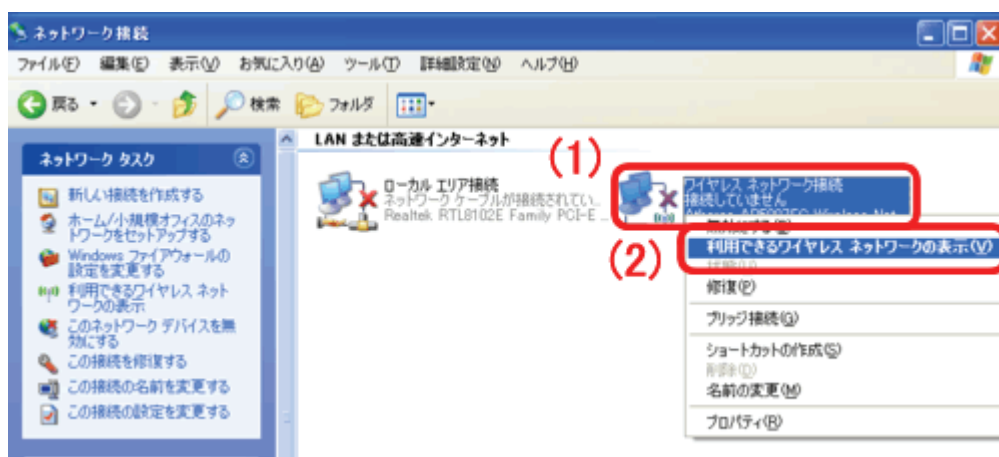
※　パソコンによっては、メーカー独自の無線接続ソフトを使用する場合があります。そのときは、各メーカーの取扱説明書を参照してください。

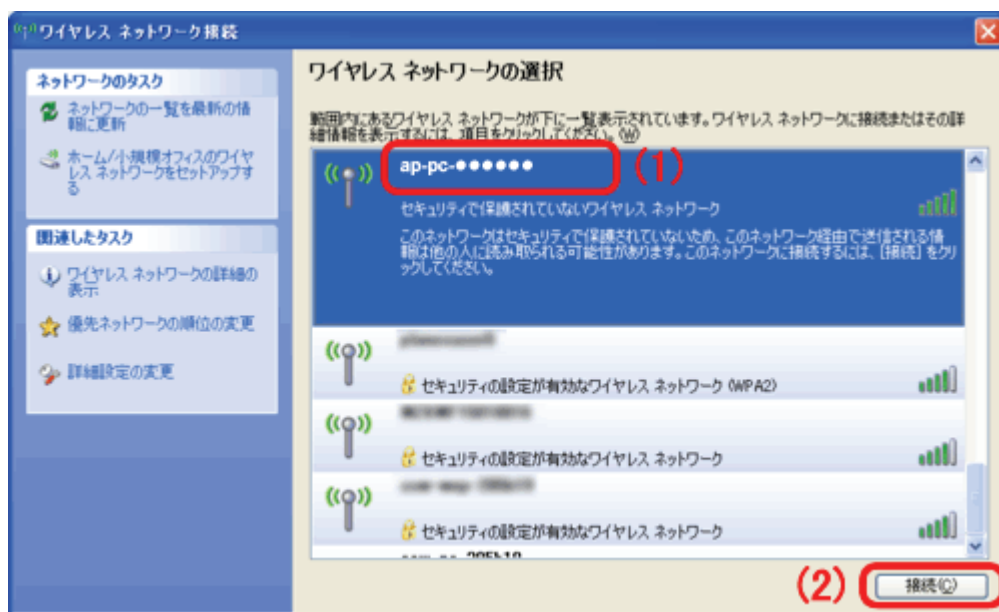
1.　(1)「スタート」をクリックします。

　　(2)「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

※クラシック表示のときは、「ネットワーク接続」をダブルクリックし、手順 4 に進んでください。

3. 「ネットワーク接続」をクリックします。

4. (1)「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックします。
(2)「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックします。

5. 本製品の SSID（ネットワーク名）に接続します。

(1)「ap-pc-●●●●●●」を選択します。

(2)［接続］をクリックします。

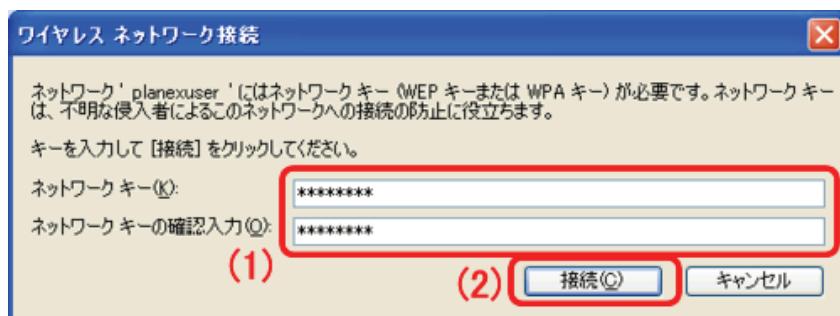
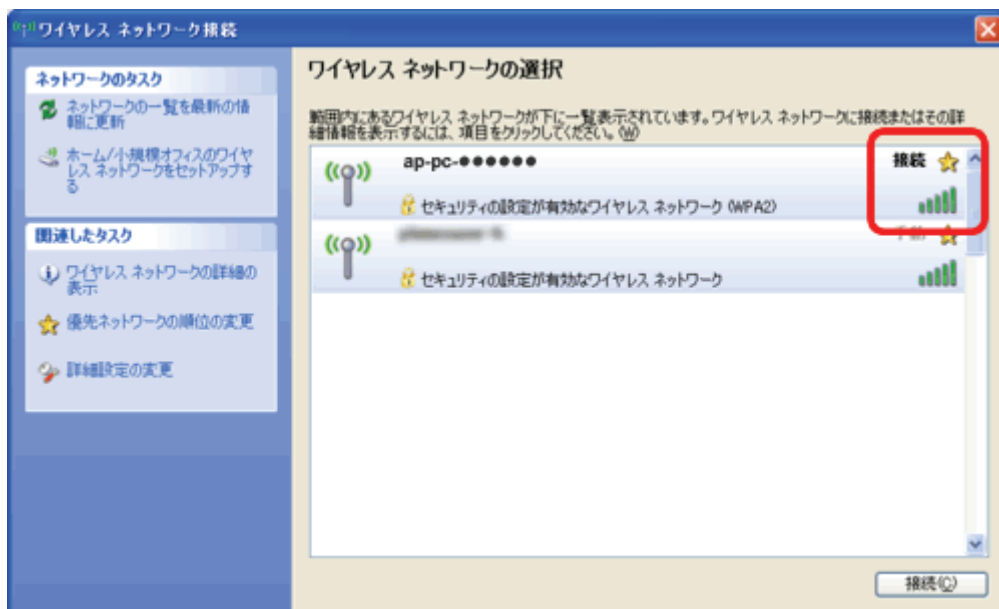
※「ap-pc-●●●●●●」が表示されないときは、以下の操作をしてください。

・ 画面左の「ネットワークの一覧を最新に更新」をクリックして更新してください。

・ 本製品の電源が入っているか、パソコンの内蔵無線 LAN がオンになっているかを確認してください。

6. 本製品の暗号化キーを入力します。

(1)「12345678」を半角英数で入力します。

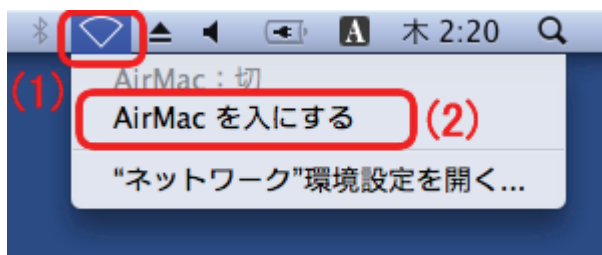
(2)[接続]をクリックします。

7. 「接続」と表示されていることを確認します。

※「接続に失敗しました」などと表示されるときは、2～3 分ほどお待ちいただいてから、もう一度手順 1 から接続してください。

※ウィルス対策ソフトのメッセージ画面が表示されたときは、アクセスを許可してください。

以上で接続は完了です。

3.2.5　Mac OS X

※　Mac OS X 10.5 の画面を使って説明しますが、Mac OS X 10.6/10.4 も同じ操作となります。
（お使いの環境によって、多少画面が異なる場合があります。）

1.　(1)画面右上のメニューバーの「AirMac」をクリックします。
(2)「AirMac を入にする」をクリックします。

※「AirMac を切にする」と表示されているときは、手順 2 へ進んでください。

メニューバーに「AirMac 」が表示されていないときは、以下の手順で表示を有効にしてください。

①画面左上のアップルメニュー をクリックします。

②「システム環境設定」をクリックします。

③「ネットワーク」をクリックします。

④ネットワーク画面左の「AirMac」をクリックします。

⑤ネットワーク画面内の「メニューバーに AirMac の状況を表示」にチェックを入れます。

⑥画面を閉じ、上記の手順 1 に戻ります。

2. 本製品の SSID（ネットワーク名）に接続します。

(1)画面右上のメニューバーの「AirMac」をクリックします。

(2)「ap-pc-●●●●●●」をクリックします。

※「ap-pc-●●●●●●」が表示されないときは、もう一度メニューバーの「AirMac」をクリックしてください。

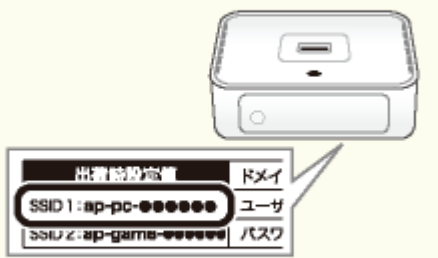
3. 本製品の暗号化キーを入力します。

(1)「12345678」を半角英数で入力します。

(2)［OK］をクリックします。

4.　(1)画面右上のメニューバーの「AirMac」をクリックします。

(2)「ap-pc-●●●●●●※」の左に、チェックマークが表示されていることを確認します。

※「●●●●●●」は製品ごとに異なります。

以上で接続は完了です。

3.2.6　無線 LAN アダプタを使用する

お使いの機器により接続方法が異なります。無線 LAN アダプタの取扱説明書をご確認頂き、以下の本製品の初期値の内容を設定して接続してください。

※　設定を始める前に、あらかじめ無線 LAN 子機のソフトウェアやユーティリティを パソコンにインストールしておいてください。

【本製品の初期値】

ネットワーク名（SSID）	ap-pc-●●●●●●
暗号化キー	12345678
認証方式	WPA2
暗号化方式	AES
キーフォーマット	パスフレーズ

以上で接続は完了です。

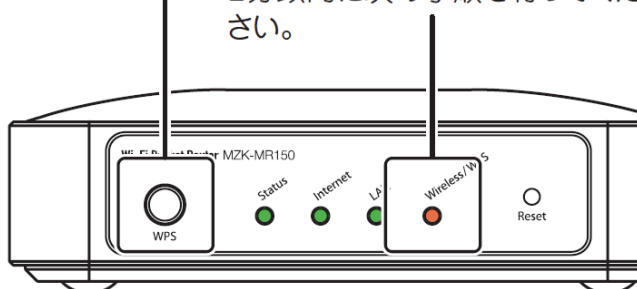
3.2.7 WPS ボタンを使用する

ご利用の無線 LAN アダプタが WPS 機能に対応している場合は、以下の手順を行ってください。

※ WPS 機能を使用すると、本製品の無線 LAN セキュリティの初期設定が書き換わる為、本紙記載の暗号化キーでは接続できません。1 台のパソコンで無線 LAN 接続にご使用ください。

※ 複数台の機器を無線 LAN 接続する場合には、手動にて「SSID：ap-pc-●●●●●●」、「暗号化キー：12345678」をそれぞれ設定してください。

1. WPS 対応の無線 LAN 子機を取り付けたパソコンを用意し、本製品とパソコンの電源がオンになっていることを確認します。

2.

3. 無線 LAN 子機の「WPS ボタン」、または接続ユーティリティ上の「WPS ボタン」を押します。

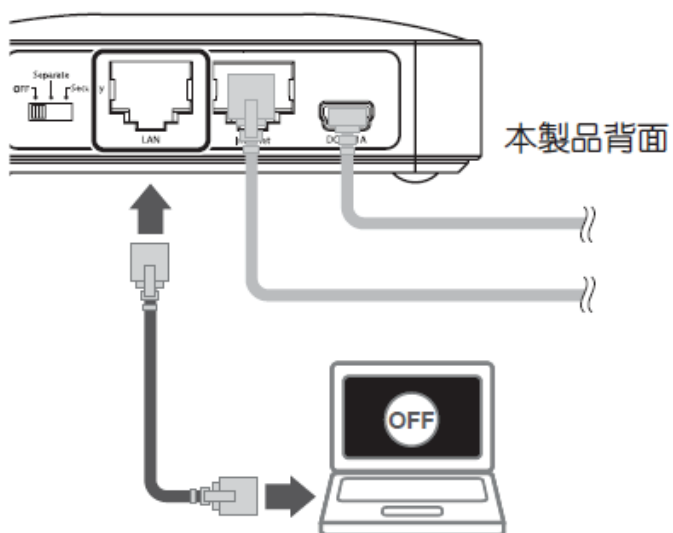
※WPS のボタンの有無や位置、設定方法 については、各機種ごとに異なります。詳細は各無線 LAN 子機の取扱説明書をご確認ください。
※ウィルス対策ソフトのメッセージ画面が 表示されたときは、アクセスを許可して ください。

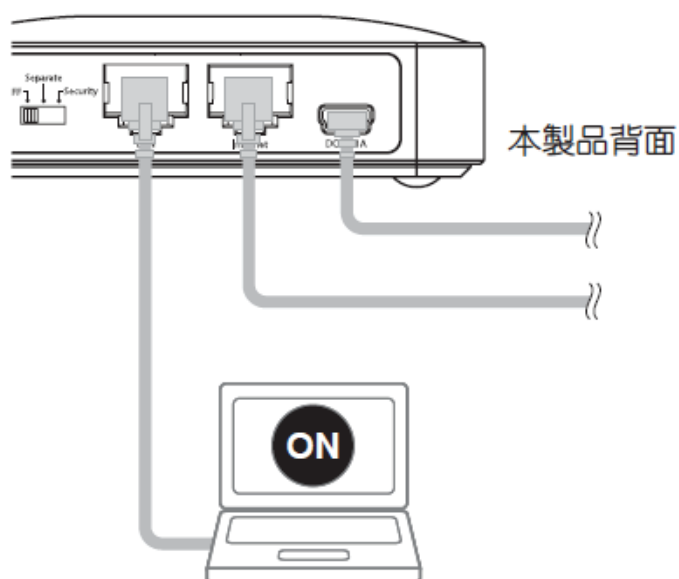
以上で接続は完了です。

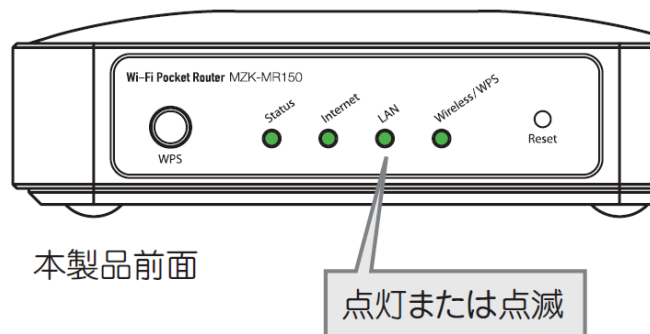
3.2.8 有線 LAN で接続

※本製品にインターネット回線を接続したときは、LAN ケーブルがもう一本必要になります。別途用意してください。

1. パソコンをオフにします。

2. 本製品の LAN ポートと、パソコンの LAN ポートを別途用意した LAN ケーブルで接続します。

※LAN ポートとは、電話線のモジュラジャックより一回り大きいポートのことを指します。

3.　パソコンをオンにします。

※ウィルス対策ソフトのメッセージ画面が表示されたときは、アクセスを許可してください。

4.　本製品前面の「LAN」ランプが緑色で点灯または点滅することを確認します。

以上で接続は完了です。

3.3 本製品の設定

ここでは、本製品の設定を行います。

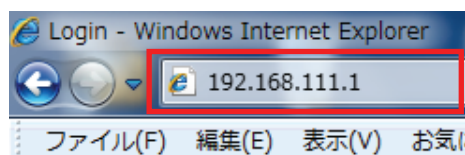
3G モバイル端末を接続したとき

⇒ **「3.3.1 3G モバイル端末の設定」へ**

インターネット回線を接続したとき

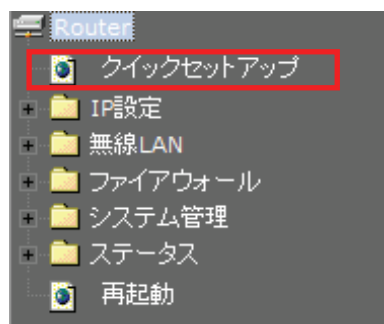
⇒ **「3.3.2 インターネット回線の設定」へ**

3.3.1 3G モバイル端末の設定

ここでは、3G モバイル端末を接続したときの設定方法を説明します。

1. WEB ブラウザを起動します。

2. アドレス欄に IP アドレス「192.168.111.1」を入力し、<Enter>を押します。

3. ログイン画面が表示されますので、下記のユーザ名とパスワードを入力し、OK をクリックします。
   (1)ユーザ名:半角英数で「admin」(エー・ディー・エム・アイ・エヌ)を入力
   (2)パスワード:半角英数で「password」(ピー・エー・エス・エス・ダブリュー・オー・アール・ディー)を入力
   (3)[ログイン]をクリックします。

4. 設定画面が表示されるるので、「クイックセットアップ」をクリックします。

5. 「WAN 接続タイプ」で「3G 通信端末」を選びます。

WAN接続タイプ: Ethernetポート
Ethernetポート
3G通信端末

6. お使いの 3G モバイル端末に合わせてキャリアを選び、[終了]ボタンをクリックします。

※通信会社とのご契約が従量制のときは、パケット量やご利用時間により料金が発生します。インターネットに接続しないときは、本製品の電源をオフにしてから 3G モバイル端末を取り外して、接続を切断してください。

※ご契約が定額データプランであっても、以下のような誤った設定により従量制で通信し別途パケット通信料が請求される場合があります。ご注意ください。

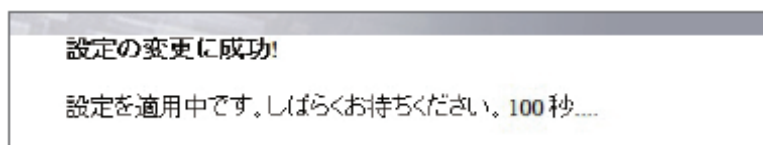
例 1)NTT ドコモの 3G モバイル端末を本製品に接続し、「キャリア」の機種選択にて「EMOBILE」を設定したとき。

例 2)NTT ドコモの 3G モバイル端末を本製品に接続し、手動設定にて「アクセスポイントの電話番号」に「*99***1#」を設定したとき。

※NTTドコモの「定額データプラン」をご利用時でも、他の従量制データ通信サービスや国際ローミングをご利用されるときには定額通信の対象外となり、別途 NTT ドコモから通信料が請求されます。ご注意ください。

7. 「設定の変更に成功！」と表示され、本製品が再起動します。

設定の変更に成功!

設定を適用中です。しばらくお待ちください。100 秒....

8. 再起動が完了したら、設定画面のログイン画面に戻ります。

本製品の再起動が完了したあとに、WEB ブラウザがエラー表示したときは…

※インターネット接続するまで時間がかかるときがあります。2 分程お待ちいただいてから、ブラウザの更新ボタンをクリックしてください。

※設定に使用したパソコンが、別の無線 LAN ルータと無線 LAN 接続しているときは、切断してください。

以上で設定は完了です。**「3.4 接続状況を確認する」**へ進んでください。

3.3.2　インターネット回線の設定

ここでは、インターネット回線を接続したときの設定方法を説明します。

1. WEB ブラウザを起動します。

2. アドレス欄に IP アドレス「192.168.111.1」を入力し、<Enter>を押します。

3. ログイン画面が表示されますので、下記のユーザ名とパスワードを入力し、OK をクリックします。
   (1)ユーザ名：半角英数で「admin」(エー・ディー・エム・アイ・エヌ)を入力
   (2)パスワード：半角英数で「password」(ピー・エー・エス・エス・ダブリュー・オー・アール・ディー)を入力
   (3)[ログイン]をクリックします。

4. 設定画面が表示されるるので、「クイックセットアップ」をクリックします。

5. 「WAN 接続タイプ」で「Ethernet ポート」を選びます。

6.　インターネット接続のタイプを「PPPoE」「固定 IP」「DHCP」のいずれかから選びます。

【DHCP】のとき

接続タイプから「DHCP」を選びます。

Ethernetポートの設定

接続タイプ:　DHCP

【PPPoE】のとき

（1）接続タイプから「PPPoE」を選びます。

（2）プロバイダから指定されたユーザ名（例:abc123@xyz.ne.jp）を半角英数で入力します。

（3）プロバイダから指定されたパスワード（例:abcDEF123）を半角英数で入力します。

Ethernetポートの設定

接続タイプ:　PPPoE　（1）

ユーザ名:　（2）

パスワード:　（3）

【固定 IP】のとき

（1）接続タイプから「固定 IP」を選びます。

（2）プロバイダから指定された IP アドレス（例:172.1.1.1）を半角英数で入力します。

（3）プロバイダから指定されたサブネットマスク（例:255.255.255.0）を半角英数で入力します。

（4）プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイ（例:172.1.1.254）を半角英数で入力します。

（5）プロバイダから DNS が指定されているときはアドレスを半角英数で入力します。

7. 「設定の変更に成功！」と表示され、本製品が再起動します。

8. 再起動が完了したら、設定画面のログイン画面に戻ります。

以上で設定は完了です。**「3.4 接続状況を確認する」**へ進んでください。

3.4 接続状況を確認する

ここでは、インターネット接続状況を確認する方法を説明します。

1. WEB ブラウザのアドレス欄に IP アドレス「http://www.planex.co.jp」を入力し、<Enter>キーを押します。

2. 弊社のホームページが表示されていることを確認します。

以上で設定は完了です。

第 4 章：DS /DS Lite/PSP を接続する

本製品に、ゲーム機やスマートフォンを接続します。

該当する項目を参照してください。

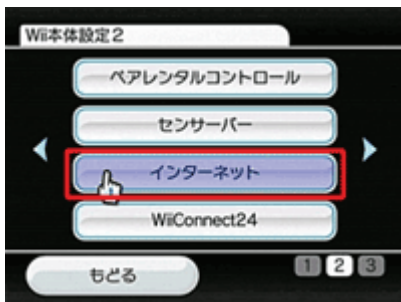
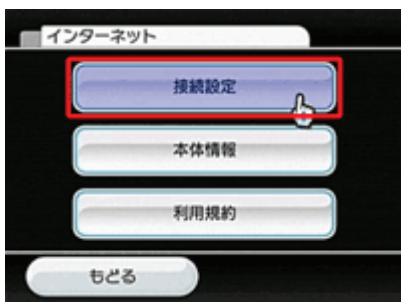
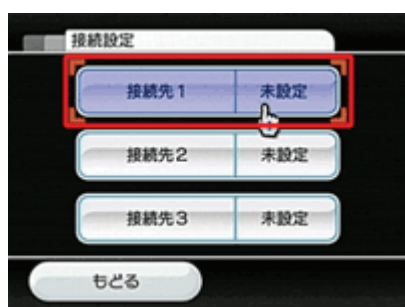
- Wii を接続するとき……………………… 「4.1 Wii」
- PS3 を接続するとき………………….. 「4.2 PS3」
- DSi／DSi LL を接続するとき…………「4.3 DSi／DSi LL」
- DS／DS Lite を接続するとき…………「4.4 DS／DS Lite」
- PSP を接続するとき…………………. 「4.5 PSP」
- ギャラクシータブを接続するとき…… 「4.6 ギャラクシータブ」

※本手順では工場出荷時の設定情報でご説明しています。SSID（ネットワーク名）や無線 LAN セキュリティを変更したときは、変更した情報で設定してください。

4.1 Wii

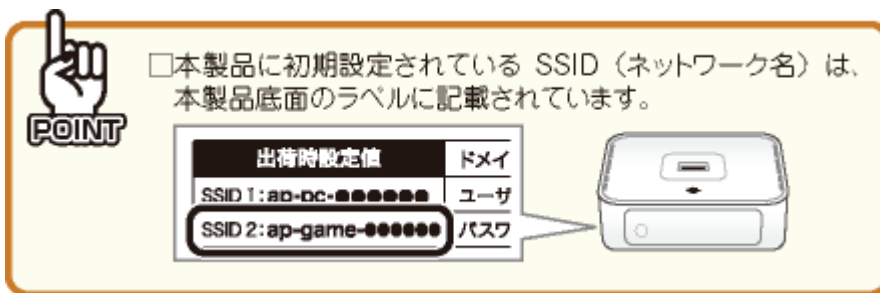
7. Wii メニュー画面で「Wii」を選びます。

8. 「Wii 本体設定」を選びます。

9. 「Wii 本体設定 1」の画面で右方向キーを押して「Wii 本体設定 2」の画面へ進み、「インターネット」を選びます。

10. 「接続設定」を選びます。

11. 「接続先 1～3」の中から、「未設定」のものを一つ選びます。

12. 「Wi-Fi 接続」を選びます。

13. 「アクセスポイントを検索」を選びます。

14. アクセスポイントが検索されると「接続したいアクセスポイントを選んでください。」と表示されるので、「OK」を選びます。

15. 検索結果から、「ap−game−●●●●●●」を選びます。
※「●●●●●●」は製品ごとに異なります。
※「ap−game−●●●●●●」が表示されないときは、「再検索」を選んで、再検索してください。

16. 「この内容を保存します。よろしいですか？」と表示されるので、「OK」を選びます。

17. 「設定内容を保存しました。接続テストを開始します。」と表示されるので、「OK」を選んで接続テストを開始します。

18. 「接続テストに成功しました。」と表示され、Wii 本体の更新を確認されるので「はい」を選びます。更新が終了したら設定は終了です。
※更新がすでに済んでいるときは、「この Wii の更新はありませんでした。」と表示されます。
※ニンテンドーWii の操作に関しては、ニンテンドーWii に付属している取扱説明書を参照してください。

以上で接続は完了です。

4.2 PS3

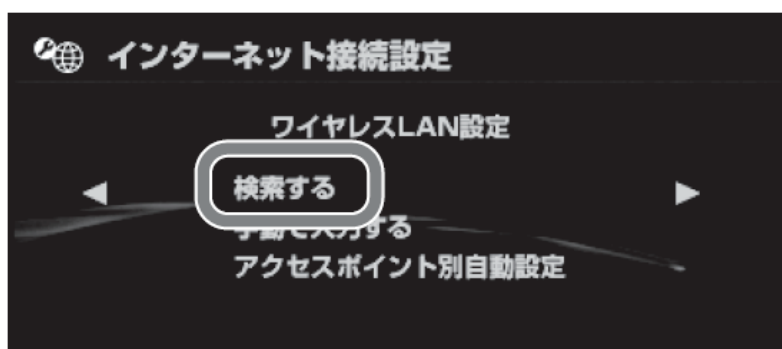
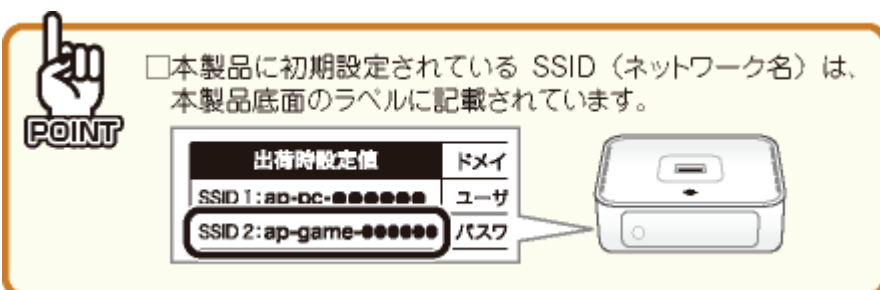
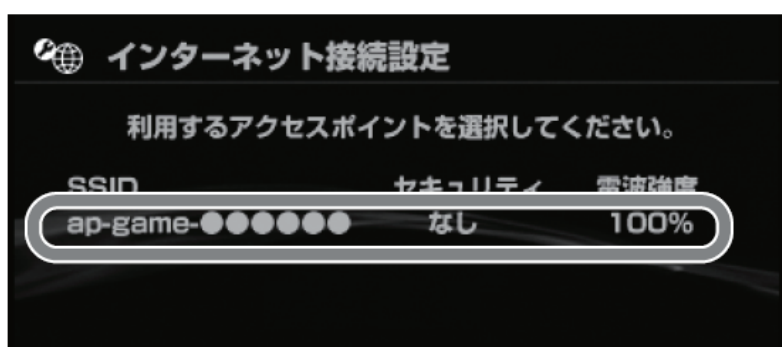
1. ホームメニューの「設定」－「ネットワーク設定」を選びます。

2. 「インターネット接続」が「有効」になっているのを確認し、「インターネット接続設定」を選びます。

3. 「インターネット接続の設定を行います。有線で接続する場合は、LAN ケーブルを接続してください。」と表示されますので、○ボタンを押します。

4. 「設定方法を選択してください」から、「かんたん」を選び、○ボタンを押します。

5. 「接続方法を選択してください。有線で接続する場合は、LAN ケーブルを接続してください。」と表示されます。「無線」を選び、○ボタンを押します。

6.　「検索する」を選び、SSID（ネットワーク名）の･一覧を表示します。

7.　一覧から「ap-game-●●●●●●※」を選び、〇ボタンを押します。
※「●●●●●●」は製品ごとに異なります。
※「ap-game-●●●●●●」が表示されないときは、「×」ボタンを押してから、再度「検索する」を選んで再検索してください。

8.　「ap-game-●●●●●●」が表示されていることを確認し、右方向キーを押します。

9. ワイヤレス LAN セキュリティ設定から「なし」を選びます。

10. 「プロキシサーバー」の画面が表示されたときは、「使用しない」を選びます。
※表示されないときは次に進んでください。

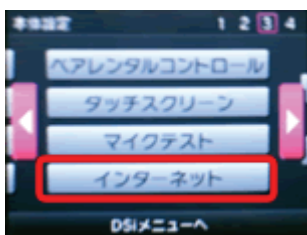
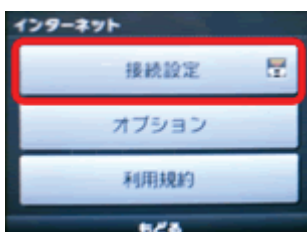
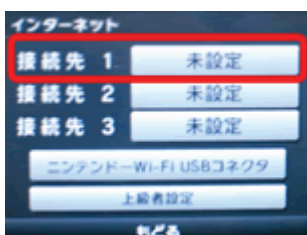
11. 「設定一覧」の内容を確認し、〇ボタンを押して設定内容を保存します。

12. 接続テストが完了して、「IP アドレス取得」に成功したら、設定は完了です。

※PS3 の操作に関しては、PS3 に付属している取扱説明書を参照してください。

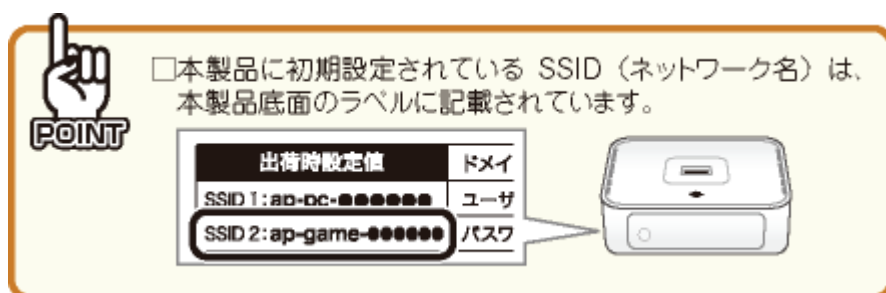
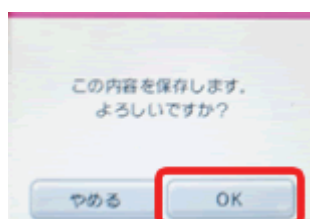
4.3 DSi／DSi LL

1. ニンテンドーDSi メニューから「はじめる」をタッチします。

2. 右に 2 回タッチし、「インターネット」をタッチします。

3. 「接続設定」をタッチします。

4. 「接続先 1～3」の中から、「未設定」のものを一つタッチします。

5. 「アクセスポイントを検索」をタッチします。

6.　検索結果から、「ap-game-●●●●●●」をタッチします。

※「●●●●●●」は製品ごとに異なります。

※「ap-game-●●●●●●」が表示されないときは、「再検索」をタッチして、再検索してください。

7.　「この内容で保存します。よろしいですか？」と表示されるので、「OK」をタッチします。

8.　「設定内容を保存しました。接続テストを開始します。」と表示されるので、「OK」をタッチします。

9.　接続テストに成功したら、設定は完了です。

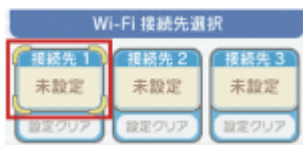
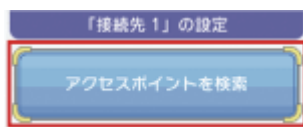
※　ニンテンドーDSi/DSi LL の操作に関しては、ニンテンドーDSi/DSi LL に付属している取扱説明書を参照してください。

4.4 DS／DS Lite

1. Wi-Fi コネクション対応のゲームソフトをニンテンドーDS/DS Lite に挿込み、電源を ON にしてゲームソフトを起動します。

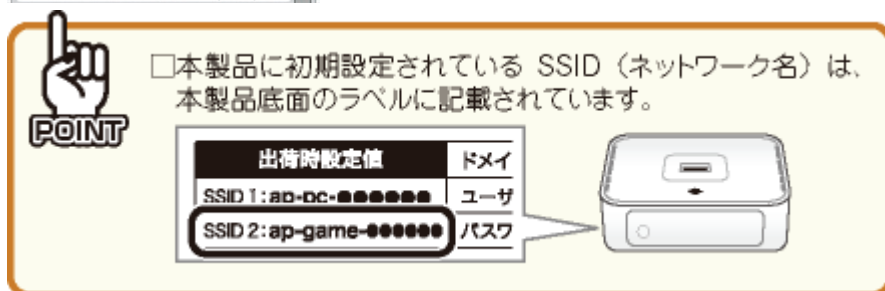
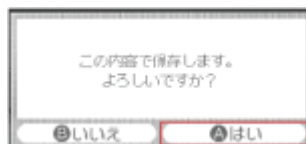
2. 「Wi-Fi コネクション設定」画面を表示させます。
※ゲームソフトにより異なりますが、「Wi-Fi」または「Wi-Fi 設定」ボタンで表示されます。

3. 「Wi-Fi 接続先設定」をタッチします。

4. 「接続先 1～3」の中から、「未設定」のものを一つタッチします。

5. 「アクセスポイントを検索」をタッチします。

6. 検索結果から、「ap−game−●●●●●●」をタッチします。

※「●●●●●●」は製品ごとに異なります。

※「ap−game−●●●●●●」が表示されないときは、「再検索」をタッチして、再検索してください。

7. 「この内容で保存します。よろしいですか？」と表示されるので、「はい」をタッチします。

8. 「設定内容をセーブしました。接続テストを開始します。」と表示されるので、「はい」をタッチします。

9. 「接続テストに成功しました。」と表示されたら設定は完了です。

※ニンテンドーDS/DS Lite の操作に関しては、ニンテンドーDS/DS Lite に付属している取扱説明書を参照してください。

4.5 PSP

1. PSP の電源を ON にし、ワイヤレス LAN スイッチを ON にします。

2. ホームメニューの「設定」－「ネットワーク設定」を選びます。

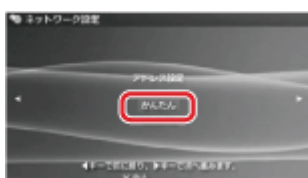
3. 「インフラストラクチャーモード」を選びます。

4. 「新しい接続の作成」を選びます。

5. 「検索する」を選び、SSID（ネットワーク名）の一覧を表示します。

6. 一覧から「ap-game-●●●●●●」を選び、○ボタンを押し、右方向キーを押して次の画面へ進みます。
   ※「●●●●●●」は製品ごとに異なります。
   ※「ap-game-●●●●●●」が表示されないときは、再検索してください。

7.　ワイヤレス LAN セキュリティ設定から「なし」を選びます。

8.　アドレス設定から「かんたん」を選び、右方向キーを押して次の画面へ進みます。

9.　接続名に任意の名前を入力し、右方向キーを押して次の画面へ進んで設定の確認をします。

10. 確認ができたら、右方向キーを押して次の画面へ進み、○ボタンを押して設定内容を保存します。

11. 「接続テストをする」が表示されたら○ボタンを押し、インターネット接続が確認できれば設定は完了です。

※PSP の操作に関しては、PSP に付属している取扱説明書を参照してください。
※うまく接続できないときは
・PSP のシステムソフトウェアが最新のものであるか確認してください。
・ホームメニューの「設定」－「省電力設定」－「ワイヤレス LAN 省電力モード」を選び、「切」に設定してみてください。

4.6 ギャラクシータブ

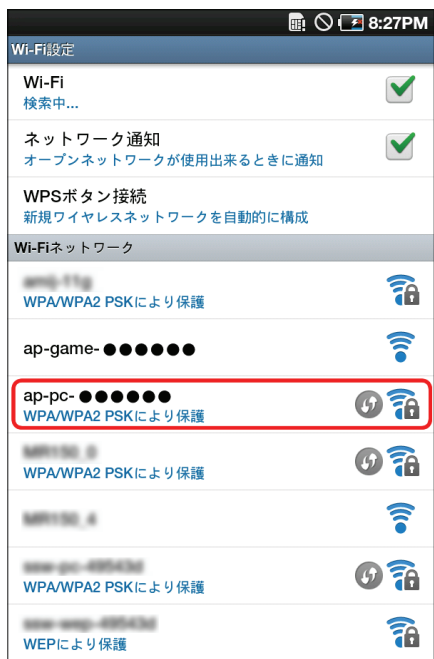
1. メインメニューより「設定」をタッチします。

2. 「無線とネットワーク」をタッチします。

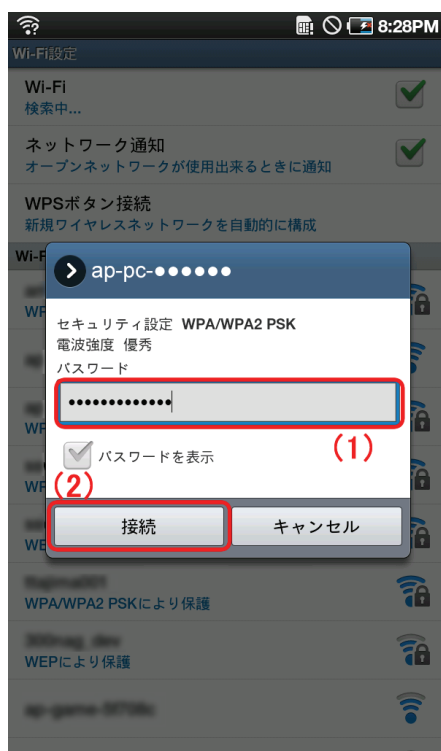
3.　「Wi-Fi 設定」をタッチします。

4.　「Wi-Fi」をオンにします。

※「Wi-Fi」がオンになっているときは、手順 5 に進んでください。

5.　「Wi-Fi ネットワーク」にて、「ap-pc-●●●●●●」をタップします。

6.　本製品の暗号化キーを入力します。

（1）「12345678」を半角英数で入力します。

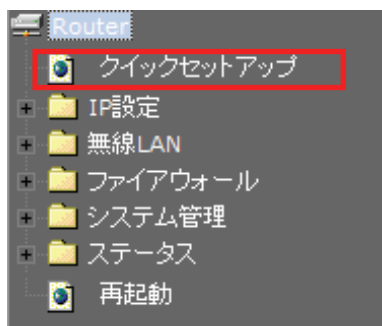
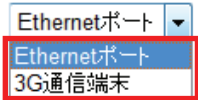
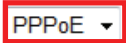
（2）「接続」をタッチします。

7.　「ap−pc−●●●●●●」の下の表示が、「接続」となっていることを確認します。

※ギャラクシータブの操作に関しては、ギャラクシータブに付属している取扱説明書を参照してください。

第 5 章：クイックセットアップを使う

5.1　クイックセットアップ

ここでは、クイックセットアップを使って、本製品の初期設定を行う方法を説明します。

1.　左側メニューから「クイックセットアップ」をクリックします。

2.　クイックセットアップ画面が表示されます。

各設定については、次項の説明を参照してください。

5.1.1　WAN の設定

項目名	動作
WAN 接続タイプ	インターネット接続を行う WAN 側のタイプを選びます。 Ethernet ポート：LAN ケーブルを使ってインターネット接続をします。 3G 通信端末：3G 通信端末を使ってインターネット接続をします。 WAN接続タイプ:　Ethernetポート Ethernetポート 3G通信端末
Ethernet ポートの設定 ※WAN 接続で 「Ethernet ポート」を 選んだとき	インターネット接続のタイプを「PPPoE」、「固定 IP」、「DHCP」のいずれかから選びます。 【DHCP】のとき 接続タイプから「DHCP」を選びます。 Ethernetポートの設定 接続タイプ:　DHCP 【PPPoE】のとき (1)接続タイプから「PPPoE」を選びます。 (2)プロバイダから指定されたユーザ名（例:abc123@xyz.ne.jp）を半角英数で入力します。 (3)プロバイダから指定されたパスワード（例:abcDEF123）を半角英数で入力します。 Ethernetポートの設定 接続タイプ:　PPPoE　(1) ユーザ名:　(2) パスワード:　(3)

	【固定 IP】のとき (1)接続タイプから「固定 IP」を選びます。 (2)プロバイダから指定された IP アドレス(例:172.1.1.1)を半角英数で入力します。 (3)プロバイダから指定されたサブネットマスク(例:255.255.255.0)を半角英数で入力します。 (4)プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイ(例:172.1.1.254)を半角英数で入力します。 (5)プロバイダから DNS が指定されているときはアドレスを半角英数で入力します。 Ethernetポートの設定 接続タイプ: 固定IP (1) IPアドレス: 172.1.1.1 (2) サブネットマスク: 255.255.255.0 (3) デフォルトゲートウェイ: 172.1.1.254 (4) DNS: (5)
キャリア ※WAN 接続で「3G 通信端末」を選んだとき	お使いの 3G 通信端末のキャリア・課金方法を下記のいずれかから選びます。 ・NTT docomo FOMA 定額データ通信(mopera) ・NTT docomo FOMA 従量データ通信(mopera) ・SoftBank 定額データ通信 ・SoftBank 従量データ通信 ・EMOBILE ・b-mobile キャリア・課金方法を選ぶことで、各項目が自動的に入力されます。 ※ 例:「EMOBILE」を選んだとき キャリア: EMOBILE PINコード: ☑ なし PINコード再入力: APN(アクセスポイント名): emb.ne.jp ユーザ名: em パスワード: em 電話番号: *99***1#

5.1.2 無線 LAN の設定

項目名	動作
SSID	ネットワーク名（SSID）を半角英数で入力します。 ※　初期値は「ap-pc-●●●●●●」です。●部分は製品毎に異なります。 無線LANの設定 SSID: ap-pc-
暗号化方式	暗号化方式を下記のいずれかから選びます。 ・無効 ・WEP ・WPA ・WPA2 ・WPA-Mixed 暗号化方式: 無効 無効 WEP WPA WPA2 WPA-Mixed 仮想AP1の設定 SSID: 【無効】のとき 暗号化方式から「無効」を選びます。 【WEP】のとき (1)暗号化方式から「WEP」を選びます。 (2)キー設定に暗号キーを任意に半角英数 10 桁で入力します。 ※入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。 暗号化方式: WEP (1) キー設定: 16進数 (10 桁) (2) 【WPA】のとき (1)暗号化方式から「WPA」を選びます。 (2)共有キーにパスフレーズを任意に半角英数 8 文字～63 文字で入力します。 ※入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。 ※初期値は「12345678」です。 暗号化方式: WPA (1) 共有キー: 12345678 (2)

【WPA2】のとき

(1)暗号化方式から「WPA2」を選びます。

(2)共有キーにパスフレーズを任意に半角英数 8 文字～63 文字で入力します。

※入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

※初期値は「12345678」です。

暗号化方式: WPA2 (1)

共有キー: 12345678 (2)

【WPA-Mixed】のとき

(1)暗号化方式から「WPA-Mixed」を選びます。

(2)WPA 暗号化(WPA2 暗号化)から「TKIP」「AES」のいずれか、または両方にチェックを入れます。

(3)共有キーフォーマットから「パスフレーズ」または「HEX_64」のいずれかを選びます。

(4)共有キーを任意に半角英数で入力します。

※「パスフレーズ」を選んだときは、入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」、文字数は 8 文字～63 文字となります。

※「HEX_64」を選んだときは、入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」、文字数は 64 文字となります。

※初期値は「12345678」です。

暗号化方式: WPA-Mixed (1)

認証方式: パーソナル (共有キー)

WPA 暗号化: TKIP AES

WPA2 暗号化: TKIP AES (2)

共有キーフォーマット: パスフレーズ (3)

共有キー: 12345678 (4)

5.1.3 仮想 AP1 の設定

項目名	動作
SSID	ネットワーク名（SSID）を半角英数で入力します。 ※　初期値は「ap-game-●●●●●●」です。●部分は製品毎に異なります。 仮想AP1の設定 SSID: ap-game-
暗号化方式	暗号化方式を下記のいずれかから選びます。 ・無効 ・WEP ・WPA ・WPA2 ・WPA-Mixed 暗号化方式: 無効 仮想AP1の設定 SSID: 無効 WEP WPA WPA2 WPA-Mixed 【無効】のとき 暗号化方式から「無効」を選びます。 【WEP】のとき （1）暗号化方式から「WEP」を選びます。 （2）キー設定に暗号キーを任意に半角英数 10 桁で入力します。 ※入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。 暗号化方式: WEP （1） キー設定: 16進数（10 桁） （2） 【WPA】のとき （1）暗号化方式から「WPA」を選びます。 （2）共有キーにパスフレーズを任意に半角英数 8 文字～63 文字で入力します。 ※入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。 ※初期値は「12345678」です。 暗号化方式: WPA （1） 共有キー: 12345678 （2）

【WPA2】のとき

(1)暗号化方式から「WPA2」を選びます。

(2)共有キーにパスフレーズを任意に半角英数 8 文字～63 文字で入力します。

※入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

※初期値は「12345678」です。

【WPA-Mixed】のとき

(1)暗号化方式から「WPA-Mixed」を選びます。

(2)WPA 暗号化(WPA2 暗号化)から「TKIP」「AES」のいずれか、または両方にチェックを入れます。

(3)共有キーフォーマットから「パスフレーズ」または「HEX_64」のいずれかを選びます。

(4)共有キーを任意に半角英数で入力します。

※「パスフレーズ」を選んだときは、入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」、文字数は 8 文字～63 文字となります。

※「HEX_64」を選んだときは、入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」、文字数は 8 文字～64 文字となります。

※初期値は「12345678」です。

[終了]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

第 6 章：詳細設定

ここでは、各設定画面について説明します。

6.1 設定画面の表示方法

本製品設定画面を表示する方法を説明します。

6.1.1 マイネットワークから開く

※以下では Windows7 を例に説明しています。他の OS をお使いのときは以下の手順を参考に設定を行ってください。

1. 「スタート」-「コンピュータ」の順にクリックします。

2. 左側メニューより「ネットワーク」をクリックします。

3. 「ネットワーク インフラストラクチャ」から「MZK-MR150」のアイコンを右クリックし、「デバイスの Web ページの表示」をクリックします。

4. ログイン画面が表示されますので、下記のユーザ名とパスワードを入力し、OK をクリックします。

（1） ユーザ名：半角英数で「admin」（エー・ディー・エム・アイ・エヌ）を入力

（2） パスワード：半角英数で「password」（ピー・エー・エス・エス・ダブリュー・オー・アール・ディー）を入力

（3） [ログイン]をクリックします。

Router

ユーザ名： （1）

パスワード： （2）

ログイン （3）

5. 設定画面が表示されることを確認します。

6.1.2 IP アドレスを指定して開く

※ 以下では、本製品の IP アドレス初期値「192.168.111.1」を例に説明します。IP アドレスを変更したときは、以下の手順を参考に IP アドレスの値を変更してログインしてください。

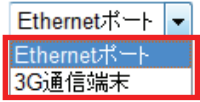
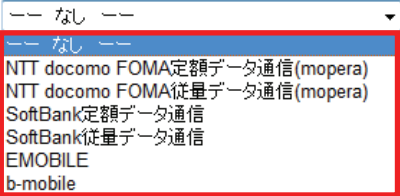
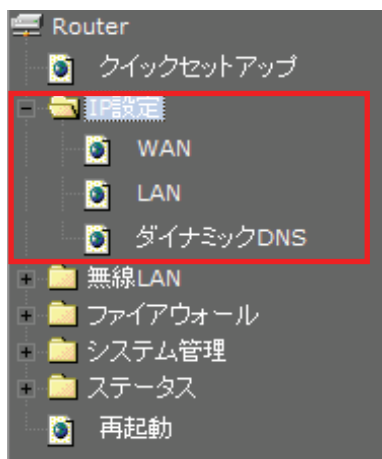
1. 設定画面が表示されることを確認します。

2. WEB ブラウザを起動します。

3. アドレス欄に IP アドレス「192.168.111.1」を入力し、<Enter>を押します。

4. ログイン画面が表示されますので、下記のユーザ名とパスワードを入力し、OK をクリックします。
   (1)ユーザ名：半角英数で「admin」(エー・ディー・エム・アイ・エヌ)を入力
   (2)パスワード：半角英数で「password」(ピー・エー・エス・エス・ダブリュー・オー・アール・ディー)を入力
   (3)[ログイン]をクリックします。

5 設定画面が表示されることを確認します。

6.2 インターネット関連の設定

「IP 設定 –WAN」画面でインターネット接続設定をすることができます

WAN の接続タイプによって、設定画面が異なります。

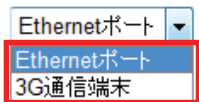
- 3G モバイル端末を使って本製品をインターネットに接続するとき
  ⇒ 6.2.1 3G モバイル端末へ

- 通常接続(DHCP)でインターネットに接続するとき
  ⇒ 6.2.2 通常接続(DHCP)へ

- PPPoE でインターネットに接続するとき
  ⇒ 6.2.3 PPPoE 接続へ

- 固定 IP でインターネットに接続するとき
  ⇒ 6.2.4 固定 IP 接続へ

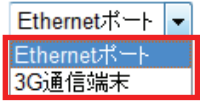
- マルチ PPPoE でインターネットに接続するとき
  ⇒ 6.2.5 マルチ PPPoE 接続へ

- unnumbered PPPoE でインターネットに接続するとき
  ⇒ 6.2.6 unnumbered PPPoE 接続へ

6.2.1　3G モバイル端末

項目名	動作
WAN 接続タイプ	WAN 接続タイプから「3G 通信端末」を選びます。 WAN接続タイプ:　Ethernetポート Ethernetポート 3G通信端末
キャリア	お使いの 3G モバイル端末に合ったキャリア・課金方法を下記のいずれかから選びます。 ・NTT docomo FOMA 定額データ通信（mopera） ・NTT docomo FOMA 従量データ通信（mopera） ・SoftBank 定額データ通信 ・SoftBank 従量データ通信 ・EMOBILE ・b-mobile キャリア:　－－ なし －－ PINコード: PINコード再入力: APN(アクセスポイント名): ユーザ名: パスワード: 電話番号: －－ なし －－ NTT docomo FOMA定額データ通信(mopera) NTT docomo FOMA従量データ通信(mopera) SoftBank定額データ通信 SoftBank従量データ通信 EMOBILE b-mobile キャリア・課金方法を選ぶことで、各項目が自動的に入力されます。 ※　例:「EMOBILE」を選んだとき キャリア:　EMOBILE PINコード:　☑ なし PINコード再入力: APN(アクセスポイント名):　emb.ne.jp ユーザ名:　em パスワード:　em 電話番号:　*99***1# 手動で設定するときは、「－－　なし　－－」を選び、プロバイダから指定された「APN アクセスポイント名」、「ユーザ名」、「パスワード」、「電話番号」を入力します。

DNS	DNS を設定します。 DNS 自動設定：プロバイダから自動で DNS を取得します。 DNS 手動設定：プロバイダから指定された DNS を「DNS1」～「DNS3」に半角英数で入力します。 DNS自動設定 DNS手動設定 DNS 1: DNS 2: DNS 3:
接続タイプ	3G モバイル端末の接続タイプを選びます。 常時接続： 常にインターネットに接続します。 オンデマンド： インターネットへの接続要求があったときに接続し、指定時間で切断します。 ※オンデマンドを選択したときは、「待機時間」に接続要求が無くなってから自動的に切断するまでの時間を指定します。 手動接続： 手動にて接続及び切断設定を行います。インターネット接続するときは[接続]を、インターネット接続を終了するときは[切断]を、毎回この画面でクリックします。 接続タイプ: 常時接続 接続 切断 待機時間: 3 (1-1000 分)
IGMP プロキシを有効にする	IGMP プロキシ機能を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
WAN 側からの PING を有効にする	WAN 側からの PING を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
WAN 側からのサーバ接続を有効にする	WAN 側からのサーバ接続を有効にするときはチェックを入れます。。 ※初期値は「無効」です。
Ipsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.2.2　通常接続(DHCP)

項目名	動作
WAN 接続タイプ	WAN 接続タイプから「Ethernet ポート」を選びます。 WAN接続タイプ: Ethernetポート Ethernetポート 3G通信端末
接続タイプ	インターネット接続のタイプから「DHCP」を選びます。 (1) 接続タイプから「DHCP」を選びます。 (2) ホスト名を任意で入力します。 ※初期値は「default」です。 (3) MTU 値を入力します。 ※初期値は「1500」です。MTU の最適値については、プロバイダ及び接続コースによって異なりますので、変更する場合はご利用のプロバイダにご確認ください。 接続タイプ: DHCP (1) ホスト名: default (2) MTU値: 1500 (1400-1500 bytes) (3)
DNS	DNS を設定します。 DNS 自動設定:プロバイダから自動で DNS を取得します。 DNS 手動設定:プロバイダから指定された DNS を「DNS1」~「DNS3」に半角英数で入力します。 DNS自動設定 DNS手動設定 DNS 1: DNS 2: DNS 3:
フェイルオーバー	フェイルオーバーを有効にするときは「有効にする」にチェックを入れます。無効にするときはチェックを外します。 詳細は「6.2.7　フェイルオーバーの設定」を参照してください
IGMP プロキシを有効にする	IGMP プロキシ機能を有効にするときはチェックを入れます。 ※　初期値は「有効」です。

WAN 側からの PING を有効にする	WAN 側からの PING を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
WAN 側からのサーバ接続を有効にする	WAN 側からのサーバ接続を有効にするときはチェックを入れます。。 ※初期値は「無効」です。
Ipsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.2.3　PPPoE 接続

項目名	動作
WAN 接続タイプ	WAN 接続タイプから「Ethernet ポート」を選びます。 WAN接続タイプ: Ethernetポート Ethernetポート 3G通信端末
接続タイプ	インターネット接続のタイプから「PPPoE」を選びます。 (1) 接続タイプから「PPPoE」を選びます。 (2) プロバイダから指定されたユーザ名（例:abc123@xyz.ne.jp）を半角英数で入力します。 (3) プロバイダから指定されたパスワード（例:abcDEF123）を半角英数で入力します。 (4) 接続タイプを選びます。 常時接続： 常にインターネットに接続します。 オンデマンド： インターネットへの接続要求があったときに接続し、指定時間で切断します。 ※オンデマンドを選択したときは、「待機時間」に接続要求が無くなってから自動的に切断するまでの時間を指定します。 手動接続： 手動にて接続及び切断設定を行います。インターネット接続するときは[接続]を、インターネット接続を終了するときは[切断]を、毎回この画面でクリックします。 (5) MTU 値を入力します。 ※初期値は「1454」です。MTU の最適値については、プロバイダ及び接続コースによって異なりますので、変更する場合はご利用のプロバイダにご確認ください。 接続タイプ: PPPoE (1) ユーザ名: (2) パスワード: (3) 接続タイプ: 常時接続 接続 切断 (4) 待機時間: 5 (1-1000 分) MTU値: 1454 (1360-1492 bytes) (5)

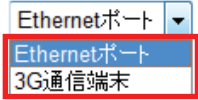
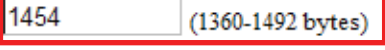
DNS	DNS を設定します。 DNS 自動設定：プロバイダから自動で DNS を取得します。 DNS 手動設定：プロバイダから指定された DNS を「DNS1」～「DNS3」に半角英数で入力します。 ※ 「固定 IP」のときは手動設定のみとなります。 ◉ DNS自動設定 ○ DNS手動設定 DNS 1: DNS 2: DNS 3:
フェイルオーバー	フェイルオーバーを有効にするときは「有効にする」にチェックを入れます。無効にするときはチェックを外します。 詳細は「6.2.7 フェイルオーバーの設定」を参照してください
IGMP プロキシを有効にする	IGMP プロキシ機能を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
WAN 側からの PING を有効にする	WAN 側からの PING を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
WAN 側からのサーバ接続を有効にする	WAN 側からのサーバ接続を有効にするときはチェックを入れます。。 ※初期値は「無効」です。
Ipsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。

［適用］をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.2.4　固定 IP 接続

項目名	動作
WAN 接続タイプ	WAN 接続タイプから「Ethernet ポート」を選びます。 WAN接続タイプ: Ethernetポート Ethernetポート 3G通信端末
接続タイプ	インターネット接続のタイプから「固定 IP」を選びます。 (1)接続タイプから「固定 IP」を選びます。 (2)プロバイダから指定された IP アドレス(例:172.1.1.1)を半角英数で入力します。 (3)プロバイダから指定されたサブネットマスク(例:255.255.255.0)を半角英数で入力します。 (4)プロバイダから指定されたデフォルトゲートウェイ(例:172.1.1.254)を半角英数で入力します。 (5)プロバイダから DNS が指定されているときはアドレスを半角英数で入力します。 接続タイプ: 固定IP (1) IPアドレス: 172.1.1.1 (2) サブネットマスク: 255.255.255.0 (3) デフォルトゲートウェイ: 172.1.1.254 (4) MTU値: 1500 (1400-1500 bytes) (5)
DNS	DNS を設定します。 DNS 自動設定:プロバイダから自動で DNS を取得します。 DNS 手動設定:プロバイダから指定された DNS を「DNS1」~「DNS3」に半角英数で入力します。 ※ 「固定 IP」のときは手動設定のみとなります。 DNS自動設定 DNS手動設定 DNS 1: DNS 2: DNS 3:

フェイルオーバー	フェイルオーバーを有効にするときは「有効にする」にチェックを入れます。無効にするときはチェックを外します。 詳細は「6.2.7　フェイルオーバーの設定」を参照してください
フェイルオーバー WAN 接続タイプ	フェイルオーバーが有効なときに、3G 端末の接続設定を行います。 ※　詳細は「6.2.1　3G モバイル端末」を参照してください WAN接続タイプ: 3G通信端末 キャリア: -- なし -- PINコード: ☑ なし PINコード再入力: APN(アクセスポイント名): ユーザ名: パスワード: 電話番号:
IGMP プロキシを有効にする	IGMP プロキシ機能を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
WAN 側からの PING を有効にする	WAN 側からの PING を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
WAN 側からのサーバ接続を有効にする	WAN 側からのサーバ接続を有効にするときはチェックを入れます。。 ※初期値は「無効」です。
Ipsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.2.5 マルチ PPPoE 接続

項目名	動作
WAN 接続タイプ	WAN 接続タイプから「Ethernet ポート」を選びます。 WAN接続タイプ: Ethernetポート Ethernetポート 3G通信端末
接続タイプ	インターネット接続のタイプから「Multipul PPPoE」「unnumberd PPPoE」から選びます。 (1) 続タイプから「Multiple PPPoE」を選びます。 (2) プロバイダから指定されたユーザ名(例:abc123@xyz.ne.jp)を半角英数で入力します。 (3) プロバイダから指定されたパスワード(例:abcDEF123)を半角英数で入力します。 (4) 「NTT 東日本」「NTT 西日本」のいずれかを選びます。 (5) 接続タイプを選びます。 常時接続: 常にインターネットに接続します。 オンデマンド: インターネットへの接続要求があったときに接続し、指定時間で切断します。 ※オンデマンドを選択したときは、「待機時間」に接続要求が無くなってから自動的に切断するまでの時間を指定します。 手動接続: 手動にて接続及び切断設定を行います。インターネット接続するときは[接続]を、インターネット接続を終了するときは[切断]を、毎回この画面でクリックします。 (6) MTU 値を入力します。 ※初期値は「1454」です。 接続タイプ: Multiple PPPoE (1) ユーザ名: (2) パスワード: (3) フレッツ・スクウェア: NTT東日本 (4) 接続タイプ: 常時接続 接続 切断 待機時間: 5 (1-1000 分) (5) MTU値: 1454 (1360-1492 bytes) (6)

DNS	DNS を設定します。 DNS 自動設定:プロバイダから自動で DNS を取得します。 DNS 手動設定:プロバイダから指定された DNS を「DNS1」~「DNS3」に半角英数で入力します。 ※ 「固定 IP」のときは手動設定のみとなります。 DNS自動設定 DNS手動設定 DNS 1: DNS 2: DNS 3:
フェイルオーバー	フェイルオーバーを有効にするときは「有効にする」にチェックを入れます。無効にするときはチェックを外します。 詳細は「6.2.7 フェイルオーバーの設定」を参照してください
IGMP プロキシを有効にする	IGMP プロキシ機能を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
WAN 側からの PING を有効にする	WAN 側からの PING を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
WAN 側からのサーバ接続を有効にする	WAN 側からのサーバ接続を有効にするときはチェックを入れます。。 ※初期値は「無効」です。
Ipsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.2.6 unnumberd PPPoE 接続

項目名	動作
WAN 接続タイプ	WAN 接続タイプから「Ethernet ポート」を選びます。 WAN接続タイプ: Ethernetポート Ethernetポート 3G通信端末
接続タイプ	インターネット接続のタイプから「unnumberd PPPoE」を選びます。 (1) 接続タイプから「unnumbered PPPoE」を選びます。 (2) プロバイダから指定されたユーザ名(例:abc123@xyz.ne.jp)を半角英数で入力します。 (3) プロバイダから指定されたパスワード(例:abcDEF123)を半角英数で入力します。 (4) プロバイダから指定された IP アドレスを半角英数で入力します。 (5) プロバイダから指定されたサブネットマスクを半角英数で入力します。 (6) 接続タイプを選びます。 常時接続: 常にインターネットに接続します。 オンデマンド: インターネットへの接続要求があったときに接続し、指定時間で切断します。 ※オンデマンドを選択したときは、「待機時間」に接続要求が無くなってから自動的に切断するまでの時間を指定します。 手動接続: 手動にて接続及び切断設定を行います。インターネット接続するときは[接続]を、インターネット接続を終了するときは[切断]を、毎回この画面でクリックします。 (5)MTU 値を入力します。 ※初期値は「1454」です。 接続タイプ: unnumbered PPPoE (1) ユーザ名: (2) パスワード: (3) IPアドレス: 0.0.0.0 (4) サブネットマスク: 0.0.0.0 (5) 接続タイプ: 常時接続 接続 切断 待機時間: 5 (1-1000 分) (6) MTU値: 1454 (1360-1492 bytes) (7)

DNS	DNS を設定します。 DNS 自動設定：プロバイダから自動で DNS を取得します。 DNS 手動設定：プロバイダから指定された DNS を「DNS1」～「DNS3」に半角英数で入力します。 ※ 「固定 IP」のときは手動設定のみとなります。 DNS自動設定 DNS手動設定 DNS 1: DNS 2: DNS 3:
フェイルオーバー	フェイルオーバーを有効にするときは「有効にする」にチェックを入れます。無効にするときはチェックを外します。 詳細は「6.2.7 フェイルオーバーの設定」を参照してください
IGMP プロキシを有効にする	IGMP プロキシ機能を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
WAN 側からの PING を有効にする	WAN 側からの PING を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
WAN 側からのサーバ接続を有効にする	WAN 側からのサーバ接続を有効にするときはチェックを入れます。。 ※初期値は「無効」です。
Ipsec パススルーを有効にする	IPsec パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
PPTP パススルーを有効にする	PPTP パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。
L2TP パススルーを有効にする	L2TP パススルーを有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

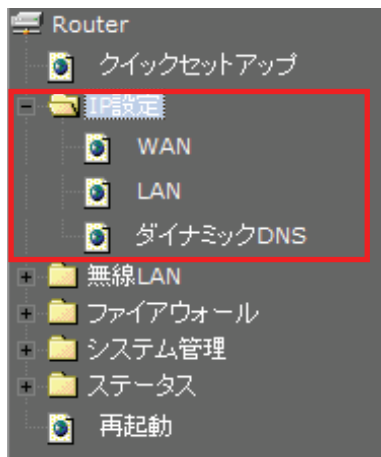
6.2.7　フェイルオーバーの設定

項目名	動作
フェイルオーバー	Ethernet ポートでのインターネット接続が不可のとき、自動的に 3G 通信端末を使用し、インターネット接続を行う事が出来ます。（冗長化） (1) フェイルオーバーを有効にするときは「有効にする」にチェックを入れます。無効にするときはチェックを外します。 (2) Ethernet ポートのインターネット接続をチェックする間隔を指定します。 フェイルオーバー:　☐ 有効にする　接続チェック間隔 3 分 (1)　(2)
フェイルオーバー WAN 接続タイプ	フェイルオーバーが有効なときに、3G モバイル端末の接続設定を行います。 ※　詳細は「6.2.1　3G モバイル端末」を参照してください WAN接続タイプ: 3G通信端末 キャリア: ‐‐ なし ‐‐ PINコード: ☑ なし PINコード再入力: APN(アクセスポイント名): ユーザ名: パスワード: 電話番号:

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.3 ネットワーク関連の設定

ここでは、ネットワーク関連の各種設定を行います。

「IP 設定 －LAN」、「IP 設定 －ダイナミック DNS」画面でインターネット接続設定をすることができます
「LAN」、「ダイナミック DNS」画面は、左側のメニューから選ぶことができます。

6.3.1　LAN 設定

ここでは、LAN の設定をおこないます。

LANの設定

LANの各種設定を行います。

IPアドレス: 192.168.111.1

サブネットマスク: 255.255.255.0

DHCP: サーバ

IPアドレス範囲: 192.168.111.100 - 192.168.111.200　クライアントを表示する

固定IPアドレス設定: 固定DHCPの設定

適用　リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
IP アドレス	本製品の IP アドレスを設定します。 初期設定は「192.168.111.1」です。
サブネットマスク	本製品のサブネットマスクを設定します。
DHCP	DHCP サーバ機能の使用を選びます。 無効：DHCP サーバ機能を無効にします。 サーバ：DHCP サーバとして起動します。 初期設定は「サーバ」です。

<table>
<tr><td>IP アドレス範囲</td><td>上記 DHCP モードが「サーバ」のとき、DHCP にて IP アドレスを割り振る範囲を指定します。

[クライアントを表示する]をクリックすると、接続中のクライアントリストが表示されます。

接続中のDHCPクライアント一覧

接続中のDHCPクライアントを表示します。

IPアドレス | MACアドレス | 制限時間(秒)
192.168.111.100 | |

更新　閉じる</td></tr>
<tr><td>固定 IP アドレス設定</td><td>固定 DHCP の設定を行います。
登録した MAC アドレスの機器には常に同じ IP アドレスが割り当てられます。
(1) 「固定 DHCP アドレスを有効にする」にチェックを入れます。
(2) 固定 DHCP アドレスで使用する端末の IP アドレスを入力します。
(3) 固定 DHCP アドレスで使用する端末の MAC アドレスを入力します。
(4) 端末名をコメントに入力します。
(5) [適用]をクリックします。

固定DHCPの設定

固定DHCPの設定を行います。登録したMACアドレスの機器には常に同じIPアドレスが割り当てられます。

☐ 固定DHCPアドレスを有効にする (1)
IPアドレス: (2)
MACアドレス: (3)
コメント: (4)
適用　リセット
(5)

固定IPアドレスリスト:
IPアドレス | MACアドレス | コメント | 選択

選択項目の削除　すべてを削除　リセット</td></tr>
</table>

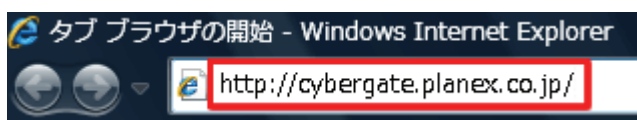
[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.3.2 ダイナミック DNS の登録

本製品は、「CyberGate – DDNS –」、「DynDNS」などのダイナミック DNS サービスに対応しています。
本製品にダイナミック DNS の設定をするときは、あらかじめ「CyberGate – DDNS –」、または「DynDNS」の登録を済ませておいてください。

本紙では、「CyberGate – DDNS –」の登録方法をご紹介します。
既にダイナミック DNS サービスの登録が完了しているときは、「6.3.3 ダイナミック DNS の設定」より本製品の設定を行ってください。

■アカウントの登録

1. WEB ブラウザのアドレス欄に「http://cybergate.planex.co.jp/」を入力し、「CYBER GATE」のホームページを表示します。

2. CyberGate – DDNS –のトップページの右メニュー「会員登録」ボタンをクリックします。

※「adobe Flash Player」がインストールされていないときは、インストール画面が表示されますので、インストールを実行してください。
※「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、[はい]または[続行]をクリックしてください。

3. 「会員規約」が表示されます。 規約内容を確認が終わったら[同意する]ボタンをクリックします。

4. 「メールアドレス入力フォーム」が表示されます。

(1)メールアドレスを入力します。

＊は必須項目になります。

(2)[規約に同意してメールアドレス送信]ボタンをクリックします。

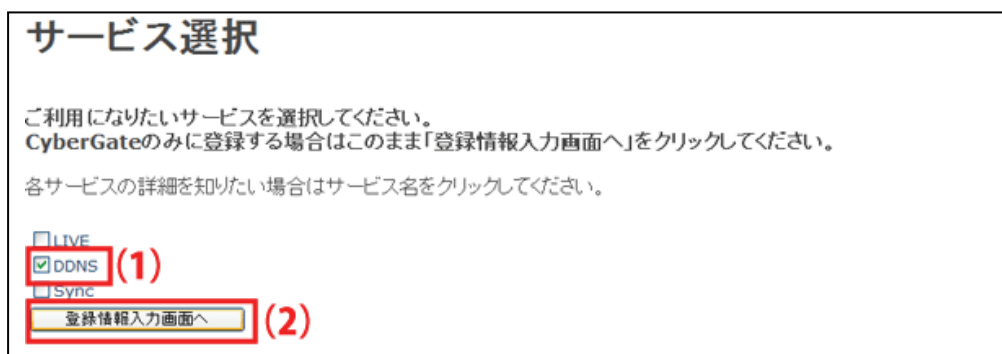
▼

「xxxx@xxxx.xx.xx 宛にメールを送信しました。」が表示されます。

5. 「CyberGate 登録確認」メールが登録したメールアドレス宛てに届きます。

「http://cybergate.planex.co.jp/cgi-bin･･･」で始まるキーフレーズをクリックします。

CyberGateへようこそ。
サービスの申込みをご希望の方は次のリンクをクリックしてください。
新規会員登録へ進みます。

https://cybergate.planex.co.jp/cgi-bin/signup-selservice.cgi?mail=%f5%2e%1e%2dH%3b9%b5%2e%f0

ご注意: 上記リンクの有効期限は2日間となります。期限が切れた情報での
再登録はできませんので予めご了承ください。

この電子メールの受信に心当たりのない場合は、お客様側で登録のキャンセル
を行っていただく必要はありません。
CyberGateで登録情報を無効にいたしますので、今後お客様に電子メールが送信
されることはございません。

6. 「サービス選択」が表示されます。

(1)「DDNS」にチェックを入れます。

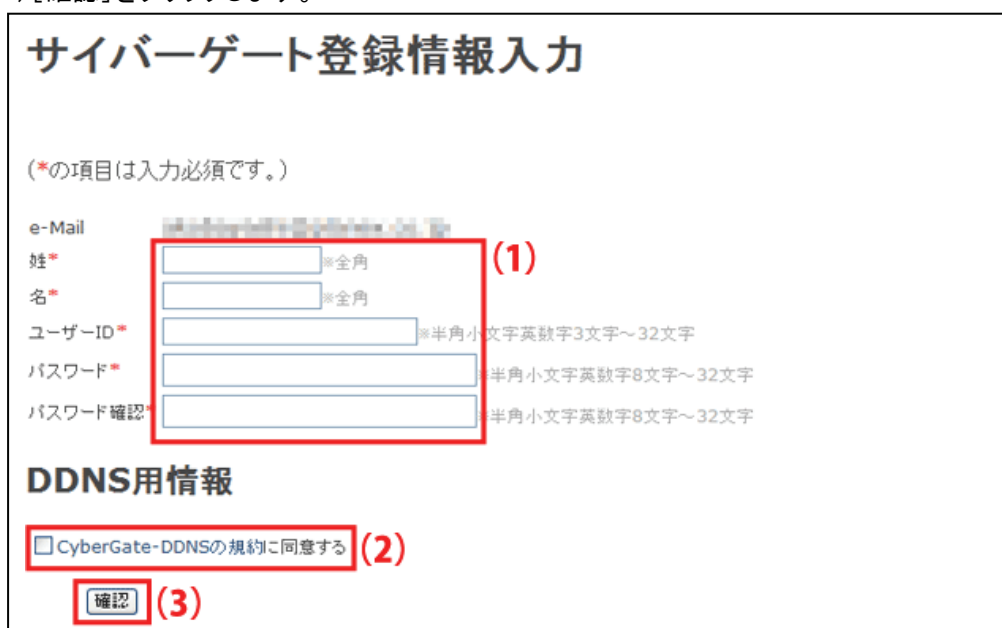
(2)[登録情報入力画面へ]をクリックします。

7. 「サイバーゲート登録情報入力」が表示されます。

※「ユーザ ID」と「パスワード」は後の手順で使用するので、メモなどに控えてください。

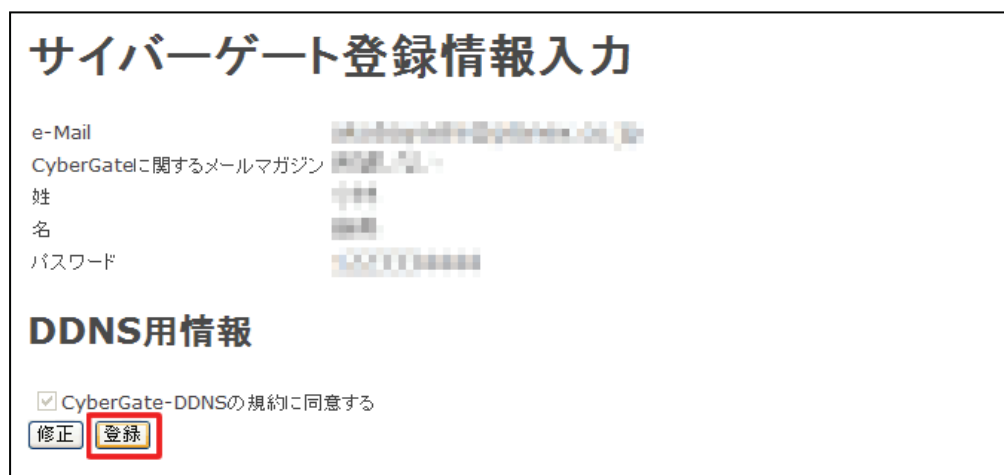
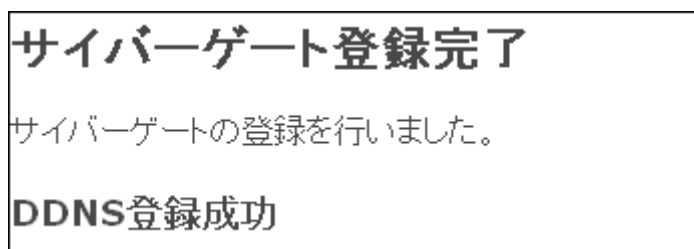
(1)以下の内容を入力します。

・姓 ： 全角で姓を入力します。

・名 ： 全角で名前を入力します。

・ユーザーID ： 半角小文字英数字でご希望のユーザーID を入力します。(3～32 文字)

・パスワード ： 半角小文字英数字でご希望のパスワードを入力します。(3～32 文字)

・パスワード確認 ： 上記で入力したパスワードを再度入力します。

(2)「CyberGate-DDNS の規約に同意する」にチェックを入れます。

(3)[確認]をクリックします。

8. 「サイバーゲート登録情報入力」の確認画面が表示されます。
登録内容を確認し、[登録]をクリックします。

9. 登録の完了です。お手元に「CyberGate -DDNS- 登録完了」メールが届きます。

サイバーゲート登録完了

サイバーゲートの登録を行いました。

DDNS登録成功

以上で、登録は完了です。

■ホスト名の登録

1. 「CyberGate -DDNS- 登録完了」メールから CyberGate のトップページを開き、登録した「ID」と「パスワード」を入力して「ログイン」ボタンをクリックしてください。

2. ログインするとユーザ管理ページが表示されます。

3. ダイナミック DNS の設定を行います。
   右メニューの「CYBER GATE DDNS」をクリックします。

4. 「CyberGate － DDNS －ホストの追加」を選択します。

5. 「サブドメイン」、「ドメイン」設定画面が表示されます。

※「サブドメイン」と「ドメイン」は後の手順で使用するので、メモなどに控えてください。

(1)「ご希望のサブドメイン」に任意のサブドメインを入力します。

(2)ご希望のドメインを選んで、[確認]をクリックします。

6. [送信]をクリックします。

7. 「登録しました」が表示された後、「現在登録中の DDNS ホスト名一覧」が表示されます。

現在登録中のDDNSホスト名一覧

ホスト名	IPアドレス	IPアドレス変更	削除
[illegible].luna.ddns.vc	オフライン	変更	削除

新たにDDNSのホスト名を取得する場合はここをクリック。

-DDNS- メニューへ

以上で、設定は完了です。

引き続き、「6.3.3　ダイナミック DNS の設定」より本製品の設定を行ってください。

6.3.3 ダイナミック DNS の設定

ここでは、本製品へのダイナミック DNS の設定を行います。

ダイナミックDNSの設定

ダイナミックDNS(DDNS)サービスとは、インターネットプロバイダ等から与えられたIPアドレスに関係なく固有のホスト名を利用することができるサービスです。

☐ DDNSを有効にする

DDNSプロバイダ： CyberGate

ドメイン名： . luna.ddns.vc

パスワード:

更新間隔: 24:00

適用　リセット

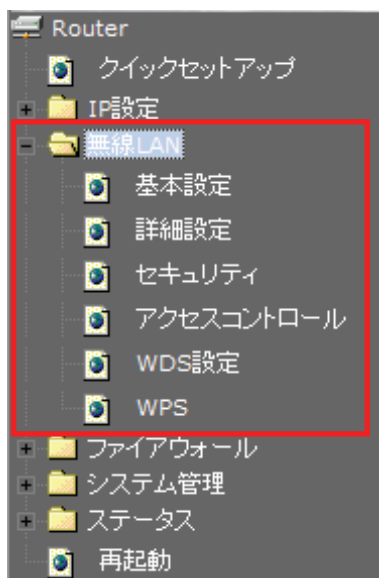
各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
ダイナミック DNS を有効にする	ダイナミック DNS を有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
DDNS プロバイダ	DDNS サービスを登録している「DynDNS」または「Cybergate」を選びます。
ドメイン名	【DDNS プロバイダで「DynDNS」選択時】 DDNS サービスで登録したドメイン名（Dynamic DNS Hosts）を入力します。 ※Cybergate を選択しているときは表示されません。
ユーザ名	【DDNS プロバイダで「Cybergate」選択時】 DDNS サービスで登録したユーザ名（Username）を入力・選択します。 ※Cybergate で設定するときには、ユーザ名に登録した「サブドメイン名」を入力し、右側のプルダウンメニューから登録したドメイン名を選択してください。
パスワード	DDNS サービスで登録したパスワードを入力します。
更新間隔	DDNS サービスの更新間隔を 15 分～60 時間の間で指定します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.4 無線 LAN

「無線 LAN」画面で、無線 LAN 関連の項目を設定することができます。SSID、セキュリティ設定、WPS、などの設定は「無線 LAN」画面で設定内容を変更してください。

無線 LAN 画面には、「基本設定」、「詳細設定」、「セキュリティ」、「アクセスコントロール」、「WDS 設定」、「WPS」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。

各設定については、以下の説明を参照してください。

6.4.1 基本設定

ここでは、無線 LAN の基本設定を行います。

無線LANの基本設定

無線LANの基本設定を行います。

☐ **無線LAN機能を無効にする**

無線モード: 2.4 GHz (B+G+N)

動作モード: AP+WDS 仮想AP

SSID: ap-pc-

チャンネル幅: 40MHz

チャンネル: 自動

SSIDの通知: 有効

WMM: 有効

伝送速度: Auto

接続中のクライアント: 接続機器の表示

適用 リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
無線 LAN 機能を無効にする	無線機能を無効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。 ※無効にすると無線 LAN 接続不可になりますのでご注意ください。
無線モード	無線モードを選びます。 「2.4GHz（B）」:IEEE802.11b のみで通信します。 「2.4GHz（G）」:IEEE802.11g のみで通信します。 「2.4GHz（N）」:IEEE802.11n のみで通信します。 「2.4GHz（B+G）」:IEEE802.11b および IEEE802.11g で通信します。 「2.4GHz（G+N）」:IEEE802.11g および IEEE802.11n で通信します。 「2.4GHz（B+G+N）」:IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n で通信します。 通常は、ここを選びます。 ※　初期値は「2.4GHz（B+G+N）」です。

<table>
<tr><td>動作モード</td><td>無線 LAN アクセスポイントのモードを選びます。
「AP」:無線 LAN アクセスポイントとして通信します。
「WDS」:WDS モードで通信します。
「AP＋WDS」:無線 LAN アクセスポイント、WDS 両方使用可能になります。
※初期値は「AP」です。</td></tr>
<tr><td>仮想 AP</td><td>仮想 AP 機能を使用することで、最大 5 つのアクセスポイントを設定することができます。
※SSID ＋ AP 1 ～ AP 4 の計 5 つ
[仮想 AP]をクリックすると、仮想 AP 一覧画面が表示されますので、この画面で AP 1 ～AP 4 の設定を行います。
仮想AP
仮想APの無線設定の表示や更新を行います。
<table>
<tr><th>仮想AP.</th><th>有効</th><th>帯域</th><th>SSID</th><th>伝送速度</th><th>SSIDの通知</th><th>WMM</th><th>接続許可</th><th>クライアント</th></tr>
<tr><td>AP1</td><td>☑</td><td>2.4 GHz (B+G+N)</td><td>ap-game-</td><td>Auto</td><td>有効</td><td>有効</td><td>LAN+WAN</td><td>一覧表示</td></tr>
<tr><td>AP2</td><td>☐</td><td>2.4 GHz (B+G+N)</td><td></td><td>Auto</td><td>有効</td><td>有効</td><td>LAN+WAN</td><td>一覧表示</td></tr>
<tr><td>AP3</td><td>☐</td><td>2.4 GHz (B+G+N)</td><td></td><td>Auto</td><td>有効</td><td>有効</td><td>LAN+WAN</td><td>一覧表示</td></tr>
<tr><td>AP4</td><td>☐</td><td>2.4 GHz (B+G+N)</td><td></td><td>Auto</td><td>有効</td><td>有効</td><td>LAN+WAN</td><td>一覧表示</td></tr>
</table>
適用 リセット
※初期値は「AP1:ap-game-●●●●●●」です。●部分は製品ごとに異なります。</td></tr>
<tr><td>SSID</td><td>SSID(ネットワーク名)を半角英数で入力します。
※初期値は「ap-pc-●●●●●●」です。●部分は製品ごとに異なります。</td></tr>
<tr><td>チャンネル幅</td><td>チャンネル幅を「20MHz」または「40MHz」から選びます。
※初期値は「40MHz」です。</td></tr>
<tr><td>チャンネル</td><td>チャンネルを「1」～「13」の範囲で選びます。
※初期値は「自動」です。</td></tr>
<tr><td>SSID の通知</td><td>SSID を第三者に見られたくないとき、「無効」にします。
※初期値は「有効」です。</td></tr>
<tr><td>WMM</td><td>データ伝送機能の WMM を使用しないとき、「無効」にします。
※初期値は「有効」です。</td></tr>
<tr><td>伝送速度</td><td>伝送速度に制限を掛けるとき、1Mbps～54Mbps、MCS0～MCS7 の範囲で設定します。
※初期値は「Auto」です。</td></tr>
<tr><td>接続中のクライアント</td><td>[接続機器の表示]をクリックすると、無線クライアントとの通信情報を表示します。</td></tr>
</table>

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.4.2 無線 LAN のセキュリティ

ここでは、無線 LAN の詳細設定を行います。暗号化キーを用いた WEP または WPA を設定し、無線 LAN ネットワークへの不正アクセスを防止できます。

無線LANのセキュリティ設定

無線LANセキュリティの設定を行います。暗号化キーを用いたWEPまたはWPAを設定し、無線LANネットワークへの不正アクセスを防止できます。

SSIDの選択: ap-pc 適用 リセット

暗号化方式: WPA2

認証方式: パーソナル (共有キー)

WPA2 暗号化: TKIP AES

共有キーフォーマット: パスフレーズ

共有キー: 12345678

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
SSID の選択	暗号化を設定する SSID を選びます。 仮想 AP を設定しているときは、リストから該当する SSID を選びます。

【WEP のとき】

暗号化方式:	WEP
認証方式:	○オープン ○共有 ◉自動
キー長:	64-bit
キーフォーマット:	16進数(10桁)
暗号キー:	**********

暗号化方式　　:「WEP」を選びます。

認証方式　　:「オープン」、「共有」、「自動」のいずれかを選びます。
※通常は「自動」を選びます。

キー長　　:「64-bit」または「128-bit」を選びます。

キーフォーマット　　:「16 進数」または「ASCII」を選びます。
※「キー長」で「64-bit」を選んだとき
→キーフォーマットが「ASCII(5 文字)」、「16 進数(10 桁)」と表示されます。
※「キー長」で「128-bit」を選んだとき
→キーフォーマットが「ASCII(13 文字)」、「16 進数(26 桁)」と表示されます。

暗号キー　　:暗号キーを任意に半角英数で入力します。以下のルールにしたがって入力してください。

	16 進数	ASCII
64-Bit	10 桁	5 文字
128-Bit	26 桁	13 文字

※16 進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。
※ASCII の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

【WPA・WPA2・WPA-Mixed のとき】

暗号化方式:	WPA-Mixed
認証方式:	パーソナル (共有キー)
WPA 暗号化:	TKIP AES
WPA2 暗号化:	TKIP AES
共有キーフォーマット:	パスフレーズ
共有キー:	12345678

暗号化方式　：「WPA」、「WPA2」、「WPA2 Mixed」のいずれかを選びます。

認証方式　：パーソナル（共有キー）のみになります。

WPA/WPA2 暗号化　：「TKIP」、「AES」のいずれか、または両方にチェックを入れます。

※「WPA」及び「WPA2」のときは「AES」のみ、「WPA-Mixed」のときは「TKIP」と「AES」の両方のチェックが可能です。

※「TKIP」より「AES」の方が、セキュリティ強度が高くなります。

※「TKIP」、「AES」を共に選ぶと、「TKIP」と「AES」が混在したネットワークでも互いに通信することができます。

共有キーフォーマット　：「パスフレーズ」または「16 進数（64 桁）」のいずれかを選びます。

プレシェアードキー　：共有キーを任意に半角英数で入力します。

※　「パスフレーズ」を選んだときは、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」の間で入力します。文字数は 8 文字～63 文字となります。

※　「HEX_64」を選んだときは、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」の間で入力します。文字数は 64 文字となります。

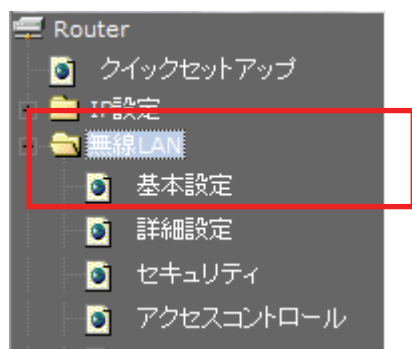
[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.4.3 マルチ SSID の設定

本製品は最大 5 つの SSID を登録して使用することができます。必要に応じて 3 つ目以降の SSID を設定し、通信制御やセキュリティ設定を行います。

[マルチ SSID について]

1 台の無線アクセスポイントに複数の SSID を登録して、複数の無線アクセスポイントがあるかのように使うことができる機能です。

1. 左側メニューより、「無線 LAN」→「基本設定」をクリックします。

2. SSID を追加します。

[仮想 AP]をクリックします。

無線LANの基本設定

無線LANの基本設定を行います。

☐ **無線LAN機能を無効にする**

無線モード:	2.4 GHz (B+G+N)	
動作モード:	AP+WDS	仮想AP
SSID:	ap-pc-	
チャンネル幅:	40MHz	
チャンネル:	自動	
SSIDの通知:	有効	
WMM:	有効	
伝送速度:	Auto	
接続中のクライアント:	接続機器の表示	

適用　リセット

3. 以下の設定を行います。

(1)追加する「AP1」～「AP4」の「有効」のチェックボックスにチェックを入れます。

(2)任意にネットワーク名を入力します。

※ネットワーク名は半角英数 32 文字以内で入力してください。

(3)[適用]をクリックします。

仮想AP

仮想APの無線設定の表示や更新を行います。

仮想AP.	有効 (1)	帯域	SSID (2)	伝送速度	SSIDの通知	WMM	接続許可	クライアント
AP1	☑	2.4 GHz (B+G+N)	ap-game-	Auto	有効	有効	LAN+WAN	一覧表示
AP2	☐	2.4 GHz (B+G+N)		Auto	有効	有効	LAN+WAN	一覧表示
AP3	☐	2.4 GHz (B+G+N)		Auto	有効	有効	LAN+WAN	一覧表示
AP4	☐	2.4 GHz (B+G+N)		Auto	有効	有効	LAN+WAN	一覧表示

適用 リセット

(3)

以下は必要に応じて設定してください。

項目名	動作
帯域	無線モードを選びます。 「2.4GHz(B)」:IEEE802.11b のみで通信します。 「2.4GHz(G)」:IEEE802.11g のみで通信します。 「2.4GHz(N)」:IEEE802.11n のみで通信します。 「2.4GHz(B+G)」:IEEE802.11b および IEEE802.11g で通信します。 「2.4GHz(G+N)」:IEEE802.11g および IEEE802.11n で通信します。 「2.4GHz(B+G+N)」:IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n で通信します。 通常は、ここを選びます。 ※　初期値は「2.4GHz(B+G+N)」です。
伝送速度	伝送速度に制限を掛けるとき、1Mbps～54Mbps、MCS0～MCS7 の範囲で設定します。 ※初期値は「Auto」です。
SSID の通知	SSID を第三者に見られたくないとき、「無効」にします。 ※初期値は「有効」です。
WMM	データ伝送機能の WMM を使用しないとき、「無効」にします。 ※初期値は「有効」です。
接続許可	接続を許可するポートを選びます。 ※初期値は「LAN+WAN」です。
クライアント	[一覧表示]をクリックすると、無線クライアントとの通信情報を表示します。

4. セキュリティを設定します。

左側メニューより、「無線 LAN」→「セキュリティ」をクリックします。

5. セキュリティを設定する SSID を選びます。

6. 暗号化を設定します。

【WEP のとき】

暗号化方式: WEP
認証方式: ◯オープン ◯共有 ◉自動
キー長: 64-bit
キーフォーマット: 16進数(10桁)
暗号キー: **********

暗号化方式　:「WEP」を選びます。

認証方式　:「オープン」、「共有」、「自動」のいずれかを選びます。
※通常は「自動」を選びます。

キー長　:「64-bit」または「128-bit」を選びます。

キーフォーマット　:「16 進数」または「ASCII」を選びます。
※「キー長」で「64-bit」を選んだとき
→キーフォーマットが「ASCII(5 文字)」、「16 進数(10 桁)」と表示されます。
※「キー長」で「128-bit」を選んだとき
→キーフォーマットが「ASCII(13 文字)」、「16 進数(26 桁)」と表示されます。

暗号キー　:暗号キーを任意に半角英数で入力します。以下のルールにしたがって入力してください。

	16 進数	ASCII
64-Bit	10 桁	5 文字
128-Bit	26 桁	13 文字

※16 進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。
※ASCII の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

【WPA･WPA2･WPA−Mixed のとき】

暗号化方式: WPA-Mixed
認証方式: パーソナル (共有キー)
WPA 暗号化: TKIP ☑AES
WPA2 暗号化: TKIP ☑AES
共有キーフォーマット: パスフレーズ
共有キー: 12345678

暗号化方式　：「WPA」、「WPA2」、「WPA2 Mixed」のいずれかを選びます。

認証方式　：パーソナル（共有キー）のみになります。

WPA/WPA2 暗号化　：「TKIP」、「AES」のいずれか、または両方にチェックを入れます。

※「WPA」及び「WPA2」のときは「AES」のみ、「WPA−Mixed」のときは「TKIP」と「AES」の両方のチェックが可能です。

※「TKIP」より「AES」の方が、セキュリティ強度が高くなります。

※「TKIP」、「AES」を共に選ぶと、「TKIP」と「AES」が混在したネットワークでも互いに通信することができます。

共有キーフォーマット　：「パスフレーズ」または「16 進数（64 桁）」のいずれかを選びます。

プレシェアードキー　：共有キーを任意に半角英数で入力します。

※　「パスフレーズ」を選んだときは、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」の間で入力します。文字数は 8 文字～63 文字となります。

※　「HEX_64」を選んだときは、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」の間で入力します。文字数は 64 文字となります。

7. ［適用］をクリックします。

6.4.4 詳細設定

ここでは、無線 LAN の詳細設定を行います。　※通常、設定の必要はありません。

無線LANの詳細設定

これらの設定は、無線LANに関して十分な知識を備えて、アクセスポイントにおよぼす影響を
踏まえたうえで設定変更を行ってください。通常、設定の変更は必要ありません。

フラグメントしきい値: 2346 (256-2346)
RTSしきい値: 2347 (0-2347)
ビーコン間隔: 100 (20-1024 ms)
プリアンブルタイプ: ◉ロングプリアンブル ○ショートプリアンブル
IAPP: ◉有効 ○無効
Protection: ○有効 ◉無効
Aggregation: ◉有効 ○無効
Short GI: ◉有効 ○無効
無線セパレータ: ○有効 ◉無効
STBC: ○有効 ◉無効
20/40MHz Coexist: ○有効 ◉無効
送信出力: ◉100% ○70% ○50% ○35% ○15%

適用　リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
フラグメントしきい値	フラグメントしきい値を 256～2346 の間で設定します。 設定したサイズよりも大きなパケットを送信するとき、パケットを分割して、送信します。 ※初期値は「2346」です。
RTS しきい値	RTS しきい値を 1～2347 の間で設定します。 RTS しきい値とは、本製品が無線 LAN 機器へパケットを送信する前に、同一ネットワーク内（SSID が同じ無線 LAN 機器）へ送信する RTS（Request To Send：送信要求）信号を送信するかどうかを決めるための境界値（＝しきい値）のことです。 ※初期値は「2347」です。
ビーコン間隔	ビーコン間隔を 20～999 の間で設定します。 ビーコンとは無線ネットワークを同期させるためにアクセスポイントから一定間隔で送信するパケットのことです。 ビーコン間隔を小さくすると、クライアントの接続効率が上がりますが、通信効率が下がります。 ※初期値は「100」です。

プリアンブルタイプ	「ショートプリアンブル」、「ロングプリアンブル」から選びます。 「ショートプリアンブル」のとき、無線 LAN 間の通信速度が速くなりますが、ショートプリアブルに対応していないクライアントのとき、通信できなくなる恐れがあります。この場合は、「ロングプリアンブル」に設定してください。 ※初期値は「ロングプリアンブル」です。
LAPP	複数の無線 AP をまたぐ場合、同一の IP アドレスを維持します。 ※初期値は「有効」です。
Protection	無線 LAN 子機との通信に RTS/CTS フロー制御を行う場合有効にします。 接続する無線 LAN 子機が少ない場合は、「無効」、多い場合は、「有効」にすると、通信速度が向上する場合があります。 ※初期値は「無効」です。
Aggregation	複数のパケット群のグループ化と帯域の増加のための送信を有効化します。 ※初期値は「有効」です。
Short GI	通信を高速化する Short GI 機能を有効にします。 ※初期値は「有効」です。
無線セパレータ	無線 LAN の接続機器同士の通信を遮断します。「有効」にした場合、ルータに接続されたプリンタなど、利用ができなくなります。 ※初期値は「無効」です。
STBC	通信路情報(CSI)を必要としない、時空間ブロック符号(STBC)を有効にします。 ※初期値は「無効」です。
20/40MHz 自動	20/40MHz 共存方式を設定にします。 「有効」にすると、「20MHz」と「40MHz」 を混在させます。 ※初期値は「無効」です。
無線周波数出力	出力強度を設定します。 ※初期値は「100%」です。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.4.5 アクセスコントロール

ここでは、無線による本製品への接続を制限します。アクセスポリシーが「許可」の場合、登録機器のみ接続できます。「拒否」の場合、登録機器は本製品へ接続できません。

無線LANのアクセスコントロール

無線による本製品への接続を制限します。アクセスポリシーが"許可"の場合、登録機器のみ接続できます。"拒否"の場合、登録機器は本製品に接続できません。

アクセスポリシー: 無効

MACアドレス: コメント:

適用 リセット

アクセスコントロール一覧:

MACアドレス	コメント	選択

選択項目の削除 すべてを削除 リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
アクセスポリシー	「許可」または「拒否」を選びます。 許可:登録機器のみ無線接続が可能になります。 拒否:登録機器は無線接続が不可になります。 ※初期値は「無効」です。
MAC アドレス	登録する機器の MAC アドレスを入力します。
コメント	任意でコメントを入力します。(最大 20 文字)
アクセスコントロール一覧	登録した機器の一覧が表示されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.4.6 WDS 設定

ここでは、WDS（アクセスポイント間通信）の設定を行います。
本項の設定を行う場合には、「4.3.1 基本設定」にて、AP モードを「WDS」もしくは「AP+WDS」にて設定していることが必要です。

WDSの設定

WDS機能とは、複数台のアクセスポイントを無線で接続する機能です。接続相手のMACアドレスを登録し、チャンネル数、通信間のセキュリティを接続相手と同じ設定にする必要があります。

☐ WDSを有効にする

MACアドレス:
伝送速度: Auto
コメント:

適用 リセット セキュリティ設定 統計情報の表示

WDS AP一覧:

MACアドレス	Txレート(Mbps)	コメント	選択

選択項目の削除 すべてを削除 リセット

項目名	動作
WDS を有効にする	WDS 機能を有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
MAC アドレス	本機と WDS 接続を行う機器の MAC アドレスを入力します。
伝送速度	伝送速度に制限を掛けるとき、1Mbps～54Mbps、MCS0～MCS7 の範囲で設定します。 ※初期値は「自動」です。 ※接続先の機器と同じ設定にする必要があります。
コメント	コメントを半角英数字にて任意に入力できます。

[適用]をクリックして設定内容を保存し、再起動後「セキュリティ設定」をクリックします。

セキュリティ設定はアクセスポイント間通信を行う機器の設定をすべて同一に設定する必要があります。

【WEP のとき】

暗号化方式: 無効
WEPフォーマット: ASCII (5 characters)
WEPキー:
キーフォーマット: パスフレーズ
共有キー:

適用　リセット

暗号化方式　:「WEP64bits」または「WEP128bits」を選びます。

WEP フォーマット　:「ASCII」または「HexI」を選びます。

※「キー長」で「64-bit」を選んだとき

→キーフォーマットが「ASCII(5 文字)」、「16 進数(10 桁)」と表示されます。

※「キー長」で「128-bit」を選んだとき

→キーフォーマットが「ASCII(13 文字)」、「16 進数(26 桁)」と表示されます。

共有キー　:暗号キーを任意に半角英数で入力します。以下のルールにしたがって入力してください。

	Hex(16 進数)	ASCII
64-Bit	10 桁	5 文字
128-Bit	26 桁	13 文字

※16 進数の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。

※ACSII の入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」となります。

【WPA2-AES のとき】

暗号化方式: WPA2 (AES)
WEPフォーマット: ASCII (5 characters)
WEPキー:
キーフォーマット: パスフレーズ
共有キー:

適用　リセット

暗号化方式　:「WPA2(AES)」を選びます。

キーフォーマット　:「パスフレーズ」「16 進数(64 桁)」を選びます。

プレシェアードキー　　　　:共有キーを任意に半角英数で入力します。

※ 「パスフレーズ」を選んだときは、入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～Z、a～z」、文字数は 8 文字～63 文字となります。

※ 「16 進数(64 桁)」を選んだときは、入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」、文字数は 8 文字～64 文字となります。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.4.7 WPS

ここでは、WPS の設定を行います。WPS 機能に対応している機器との無線設定が簡単にできます。

WPSの設定

WPSの設定を行います。WPS機能に対応している機器との無線設定が簡単にできます。

☐ **WPS機能を無効にする**

PINコード:

PBC方式: [PBC開始]

[適用] [リセット]

キー情報:

認証方式	暗号化方式	キー
WPA2 PSK	AES	12345678

接続機器のPINコード: [PIN開始]

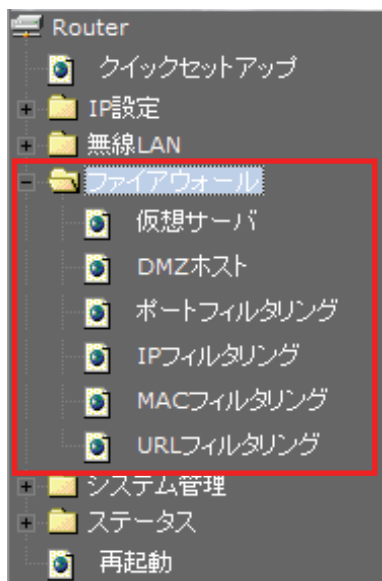
各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
WPS 機能を無効にする	WPS 機能を無効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は有効です。
PIN コード	本製品の PIN コードです。 相手側機器との接続に PIN コードの登録が必要なときは、このコードを指定します。
PBC 方式	PBC ボタンを使って相手側機器と接続します。 [PBC 開始]をクリックすると、以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。 PBC方式のWPSを開始しました 無線クライアントで2分以内にPBC方式のWPSを開始してください。 [OK]
接続機器の PIN コード	PIN コードを使って相手側機器と接続します。 相手側機器の PIN コードを入力し、[PIN 開始]をクリックすると、以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。 PIN方式のWPSを開始しました 無線クライアントで2分以内にPIN方式のWPSを開始してください。 [OK]

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.5 セキュリティ関連の設定

「ファイアウォール」画面で、ポートやフィルタ関連の項目を設定することができます。DMZ ホスト、MAC フィルタリング、仮想サーバなどの設定は「ファイアウォール」画面で設定内容を変更してください。

ファイアウォール画面には、「仮想サーバ」、「DMZ ホスト」、「ポートフィルタリング」、「IP フィルタリング」、「MAC フィルタリング」、「URL フィルタリング」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。

各設定については、以下の説明を参照してください。

6.5.1 仮想サーバの設定（ポート転送）

ここでは、登録したポート番号へのアクセスを、LAN 内の特定の機器に設定します。

仮想サーバ

登録したポート番号へのアクセスを、ローカルネットワーク内の特定の機器に転送します。

仮想サーバを有効にする

アドレス：

プロトコル： TCP/UDP

ポート範囲： -

コメント：

適用 リセット

仮想サーバ一覧：

ローカルIPアドレス	プロトコル	ポート範囲	コメント	選択

選択項目の削除 全て消去 リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
仮想サーバを有効にする	仮想サーバを有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
アドレス	ポート開放する機器の IP アドレスを入力します。
プロトコル	通信するプロトコルを「TCP」「UDP」「TCP/UDP」から選びます。
ポート範囲	ポート番号の範囲を指定します。 例：「4321」–「4321」など
コメント	コメントを任意で入力します。（最大 20 文字）
仮想サーバ一覧	登録した仮想サーバの一覧が表示されます。

［適用］をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.5.2 DMZ ホストの設定

ここでは、LAN 上の機器に Internet からアクセスできるように設定します。インターネット側からの通信のうち、仮想サーバに設定されていないすべての通信が DMZ ホストに転送されます。

DMZホスト

ローカルネットワーク(LAN)上の機器にインター ネットからアクセスできるようにします。インターネット側からの通信のうち仮想サ ーバに設定されていないすべての通信がDMZホストに転送されます。

DMZを有効にする

DMZホスト IPアドレス:

適用　リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
DMZ を有効にする	DMZ を有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
DMZ ホスト IP アドレス	DMZ に指定する LAN 上の機器の IP アドレスを入力します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.5.3 ポートフィルタリングの設定

ここでは、登録したポート番号を開放し、開放したポート番号を利用する通信のみ可能となる設定をします。

ポートフィルタリング

登録したポート番号を開放し、開放したポート番号を使用する通信のみ可能になります。

ポートフィルタリングを有効にする

ポート範囲: -

プロトコル: TCP/UDP

コメント:

適用 リセット

現在のフィルタテーブル:

ポート範囲	プロトコル	コメント	選択

選択項目の削除 全て消去 リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
ポートフィルタリングを有効にする	ポートフィルタリングを有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
ポート範囲	ポート番号の範囲を指定します。 例:「4321」–「4321」など
プロトコル	通信するプロトコルを「TCP」「UDP」「TCP/UDP」から選びます。
コメント	コメントを任意で入力します。(最大 20 文字)
現在のフィルタテーブル	登録したポートフィルタリングの一覧が表示されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.5.4 IP フィルタリングの設定

ここでは、登録した IP アドレスの機器からの指定したプロトコルでの通信のみ可能となる設定をします。

IPフィルタリング

IPアドレスを登録した機器のみ、指定したプロトコルによるインターネットへの接続が可能になります。

IPフィルタリングを有効にする

ローカルIPアドレス:

プロトコル: TCP/UDP

コメント:

適用 リセット

現在のフィルタテーブル:

ローカルIPアドレス	プロトコル	コメント	選択

選択項目の削除 全て消去 リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
IP フィルタリングを有効にする	IP フィルタリングを有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
ローカル IP アドレス	接続を許可する機器の IP アドレスを入力します。
プロトコル	通信を許可するプロトコルを「TCP」、「UDP」、「TCP/UDP」から選びます。
コメント	コメントを任意で入力します。(最大 20 文字)
現在のフィルタテーブル	登録した IP フィルタリングの一覧が表示されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.5.5 MAC フィルタリングの設定

ここでは、登録した MAC アドレスの機器からのみ通信が可能になるよう設定します。

MACアドレスフィルタリング

登録したMACアドレスを持つ無線LANパソコンとの通信を設定します。(通信を許可します)

MACフィルタリングを有効にする

MACアドレス:

コメント:

適用 リセット

現在のフィルタテーブル:

MACアドレス	コメント	選択

選択項目の削除 全て消去 リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
MAC フィルタリングを有効にする	MAC フィルタリングを有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
MAC アドレス	接続を許可する機器の MAC アドレスを入力します。
コメント	コメントを任意で入力します。(最大 20 文字)
現在のフィルタテーブル	登録した MAC フィルタリングの一覧が表示されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

※MAC フィルタリングを使用するときは、はじめに設定用パソコンの MAC アドレスを登録してください。設定用パソコンの MAC アドレスを登録しないと、設定画面へのログインができなくなりますので、ご注意ください。

6.5.6 URL フィルタリングの設定

ここでは、登録した URL またはキーワードを含むサイトへの接続を拒否するよう設定します。

URLフィルタリング

登録したURLまたはキーワードを含むサイトへの接続を拒否します。

URLフィルタリングを有効にする

URLアドレス:

適用　リセット

現在のフィルタテーブル:

URLアドレス	選択

選択項目の削除　全て消去　リセット

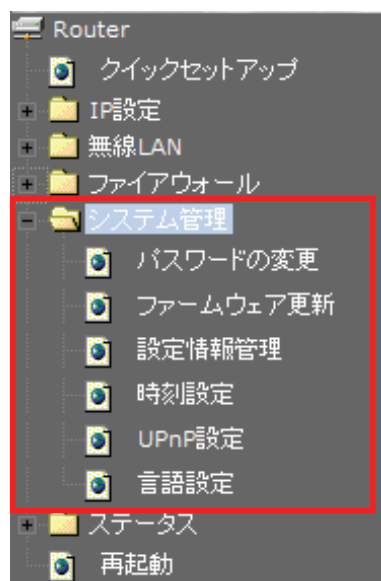
各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
URL フィルタリングを有効にする	URL フィルタを有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は無効です。
URL アドレス	接続を拒否する URL やキーワードを入力します。
現在のフィルタテーブル	登録した URL フィルタリングの一覧が表示されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.6 システム管理関連

「システム管理」画面で、機器管理関連の項目を設定することができます。時刻設定、ファームウェア更新、設定情報管理などは「システム管理」画面で設定・確認をしてください。

システム管理画面には、「パスワードの変更」、「ファームウェア更新」、「設定情報管理」、「時刻設定」、「UpnP 設定」、「言語設定」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。

各設定については、以下の説明を参照してください。

6.6.1 パスワードの変更

ここでは、設定画面にログインするためのユーザ名、パスワードを設定します。

パスワードの変更

設定画面にログインするためのユーザ名、パスワードを設定します。ユーザ名を空欄にすると
パスワードによる保護は設定できません。

ユーザ名:

新しいパスワード:

パスワードの確認:

適用 リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
ユーザ名	本製品設定画面にログインするときのユーザ名を入力します。 ※初期値は「admin」です。
新しいパスワード	本製品設定画面にログインするときのパスワードを入力します。 ※初期値は「password」です。
パスワードの確認	入力間違いを防ぐ為、もう一度パスワードを入力します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.6.2 ファームウェア更新

ここでは、ファームウェアを更新します。
下記弊社のホームページより最新のファームウェアがあるときはダウンロードできます。
http://www.planex.co.jp/support/download/
あらかじめ弊社ホームページから最新のファームウェアをダウンロードし、パソコンのハードディスクなどに保存しておいてください。

ファームウェア更新

ファームウェアを更新します。更新中は電源を切らないでください。

インターネット経由で更新

更新確認

ファイルから更新

ファイル選択: 参照...

更新開始 リセット

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
インターネット経由で更新	[更新確認]ボタンをクリックすると、最新のファームウェアを取得します。
ファイルから更新	ファームウェアを指定します。 [参照]をクリックして、予め保存した新しいファームウェアファイルを指定します。

[更新開始]をクリックすると、ファームウェアのアップデートを開始します。
ファームウェアの更新が完了すると、本製品が再起動します。

6.6.3 設定情報の保存／復元

ここでは、現在の設定情報を保存や読み込み設定をします。

設定情報管理

現在の設定情報をファイルに保存したり、ファイルに保存した情報を読み込み設定を復元したりします。初期化すると設定した情報は全て初期設定値になります。

現在の設定情報を保存: 保存
保存した設定情報を復元: 参照... 復元
設定情報を初期化: 初期化

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
現在の設定情報を保存	現在の設定情報を保存します。 [保存]ボタンをクリックすると以下の画面が表示されますので、[保存(S)]をクリックして設定ファイルをハードディスクなどに保存します。 ファイルのダウンロード このファイルを保存しますか、または開くためのプログラムをオンラインで検索しますか? 名前: config.dat 種類: 不明なファイルの種類, 20.2 KB 発信元: 192.168.111.1 検索(F) 保存(S) キャンセル インターネットのファイルは役に立ちますが、ファイルによってはコンピューターに問題を起こすものもあります。発行元が信頼できない場合、このファイルを開いたり保存したりするためのプログラムは検索しないでください。危険性の詳細
保存した設定情報を復元	設定情報を保存したファイルを読み込み復元します。 [参照]をクリックして、予め保存した設定ファイルを指定した後、[復元]をクリックすると、設定情報を読み込みます。 読み込みが完了すると、本製品が再起動します。

6.6.4　初期化

ここでは、本製品の初期化をおこないます。

設定情報管理

現在の設定情報をファイルに保存したり、ファイルに保存した情報を読み込み設定を復元したりします。初期化すると設定した情報は全て初期設定値になります。

現在の設定情報を保存: 保存

保存した設定情報を復元: 参照... 復元

設定情報を初期化: 初期化

設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
設定情報を初期化	本製品を工場出荷時状態に戻します。 [初期化]をクリックすると、本製品が再起動し初期化します。

※初期化すると本製品の設定内容がすべて消去されます。初期化する前に必要な情報はメモなどに控えてください。

6.6.5 時刻設定

ここでは、パソコンと同期または NTP サーバを利用し、時刻を設定します。

時刻の設定

PCと同期またはNTPサーバの設定を行い、時刻を設定します。

現在の時刻： 年 2011 月 3 日 1 時 0 分 0 秒 00

PCと同期

タイムゾーンの選択： (GMT+09:00)Osaka, Sapporo, Tokyo

NTP機能を有効にする

夏時間の自動調整を有効にする

NTPサーバ： 210.173.160.27 - 日本

(IPアドレス設定)

適用 リセット 更新

各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
現在の時刻	現在の時刻を手動で入力します。 [PC と同期]をクリックすると、設定用パソコンの時刻と同期します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンを選びます。 ※初期値は「(GMT＋09:00) Osaka, Sapporo, Tokyo」です。
NTP 機能を有効にする	NTP 機能を有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
夏時間の自動調整を有効にする	夏時間(サマータイム)を自動調整するときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
NTP サーバ	NTP サーバを設定します。 各国の NTP サーバから選ぶ以外にも、IP アドレスで NTP サーバを指定する事ができます。 ※初期値は「210.173.160.27 – 日本」です。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.6.6 UpnP の設定

ここでは、UpnP の設定を行います。

UPnPの設定

UPnPの設定を行います。

☑ UPnPを有効にする

適用 リセット

設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
UPnP を有効にする	UPnP を有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は「有効」です。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.6.7　言語設定

ここでは、設定画面の言語を設定します。

言語の設定

言語を設定します。

言語選択:　日本語　適用

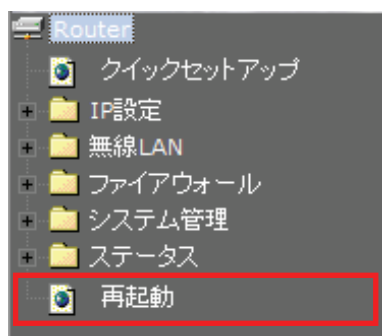
英語
繁體中文
简体中文
日本語

設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
言語選択	ご利用になる言語を選びます。 ※初期値は「日本語」です。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.6.8 再起動

「再起動」画面で、本製品を再起動することができます。

[再起動]をクリックすると、本製品が再起動します。

再起動

本製品を再起動します。

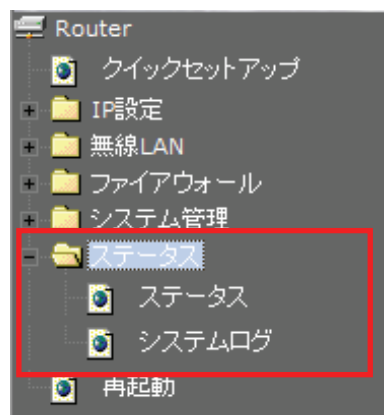
再起動

6.7 ステータス関連

ここでは、ステータス関連の表示方法を説明します。

6.7.1 ステータスを確認する

WEB 設定画面にログインすると、最初に「ステータス」画面が表示されます。ステータス画面では、ファームウェアのバージョン、無線 LAN の構成、WAN の構成などを確認することができます。

他の画面を表示しているときに、画面の左側にある「ステータス － ステータス」をクリックすると、この画面に戻ります。

6.7.2 システムログを確認する

「システムログ」画面で、本製品のシステム情報を表示します。

システムログ

システムログの出力設定。内容の確認をします。

システムログ機能を有効にする

すべての情報　無線LAN　DoS

リモートログを有効にする　ログサーバのIPアドレス:

適用

設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
システムログ機能を有効にする	システムログを有効にするときには、ここにチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
すべての情報	システムログに表示する内容を選択します。 「無線」 :本製品に接続したネットワーク内のログを出力します。 「DoS」 :外部からのネットワーク攻撃などの不正アクセスを出力します。
リモートログを有効にする	ログを外部のログサーバ(ログサーバなど)に出力します。 「ログサーバの IP アドレス」にアップロードを行うログサーバの IP アドレスを入力してください。 ※　別途ログサーバ、syslog サーバが必要になります。

[更新]をクリックすると、最新の情報に更新します。

[クリア]をクリックすると、ログを消去します。

第 7 章:困ったときは

7.1 トラブルシューティング

もし本製品が正常に動作しないとき、販売店または弊社テクニカルサポートに連絡する前に、本章に記載されているトラブルシューティングをご確認ください。トラブルの解決に役立つ可能性があります。

症状	可能な解決策
電源が入らない	本製品の電源がはいらないときは、次の内容を確認してください。 ・ AC アダプタが正しく接続されているか ・ 同梱品以外の AC アダプタを使用していないか ・ 延長コードやタップを使用しないときはどうか ・ 他のコンセント差込口ではどうか ・ 正しい電源、電圧で使用しているか それでも改善されないときは、恐れ入りますが、本製品の不具合の可能性がございますので、同梱の「はじめにお読みください」裏面記載の保証規定を必ずご確認頂き、ご同意のうえで、修理を依頼してください。 ★同意頂けない場合は、ご購入の販売店にご返却ください。 但し、お客様の過失で製品にキズ、欠損、欠品などがある場合にはご返却できません。
設定画面にログインできない	設定画面にログインできないときは、次の内容を確認してください。 ・ IP アドレスは「自動取得」になっているか ・ WEB ブラウザにプロキシサーバーの設定をしていないか ・ WEB ブラウザでセキュリティを高く設定していないか ・ セキュリティソフトウェア(ウィルスチェック、ファイアウォールなど)を停止させて改善されるか それでも改善されないときは、お手数ですが本製品を初期化し、再度ログインをお試しください。
インターネットに接続できない	インターネットに接続できないときは、次の内容を確認してください。 ・ パソコンの IP アドレスは自動取得になっているか ※設定方法は「7.3.1 自動設定」を参照してください。 ・ すべての機器の電源を OFF にして、60 分ほどそのままの状態にして改善するか ・ IP アドレスでホームページにアクセスできるか ※ブラウザのアドレスに「http://210.197.79.10」と入力して<Enter>キーを押して、弊社(プラネックス)のホームページが表示されるか確認してください。 ・ セキュリティソフトウェア(ウィルスチェック、ファイアウォールなど)を停止させて改善されるか それでも改善されないときは、お手数ですが本製品を初期化後、セットアップウィザードをお試しください。

無線 LAN がつながらない 無線 LAN がつながらない	無線 LAN がつながらないときは、次の内容を確認してください。 ・ 本製品と無線 LAN クライアント（子機）との間に距離がないか ・ 本製品と無線 LAN クライアント（子機）との間に障害物がないか ・ 電子レンジの傍で接続をしていないか ・ 本製品の Wireless/WPS ランプ（LED ランプ）は有効になっているか ・ 無線 LAN アダプタが搭載のパソコンで、無線 LAN のスイッチがオフになっていないか ・ 無線 LAN が無効になっていないか ・ ワイヤレスネットワークの IP アドレスが手動設定になっていないか ・ 無線 LAN クライアント（子機）に設定されている SSID および無線 LAN セキュリティ設定は本製品と同じになっているか ・ ルータ側の無線チャンネルを変更して改善されるか それでも改善されないときは、お手数ですが本製品を初期化後、クイックセットアップをお試しください。

7.2 初期化の方法.

次のようなときは、本製品を工場出荷時状態に戻して頂き、再度設定をお試しください。

- 接続方法、パソコン側の設定を見直しても、設定画面にログインできないとき
- 接続方法、パソコン側の設定を見直しても、インターネットに接続できないとき
- 本製品の IP アドレスを変更し、変更後の IP アドレスを忘れてしまったとき
- お客様が設定された内容を元に戻したいとき

注意：初期化すると本製品の設定内容がすべて消去されます。初期化する前に必要な情報はメモなどに控えてください。

1. 本製品の電源がオンになっていることを確認します。
2. 本製品前面の「Reset」ボタンを 6 秒以上長押しします。
3. 本製品前面の「Status」ランプが点滅したら、「Reset」ボタンから手を離します。
4. しばらくそのままお待ちいただき、本製品が再起動したら初期化の完了です。

7.3 IP アドレスの設定.

7.3.1 自動設定

パソコンの IP アドレスを DHCP サーバから取得する方法に設定します。
お使いの OS を参照してください。

- Windows 7 のとき………………………………… 「7.3.1.1 Windows 7」
- Windows Vista のとき……………………………「7.3.1.2 Windows Vista」
- Windows XP のとき………………………………「7.3.1.3 Windows XP」
- Mac OS X のとき……………………………… 「7.3.1.4 Mac OS X」

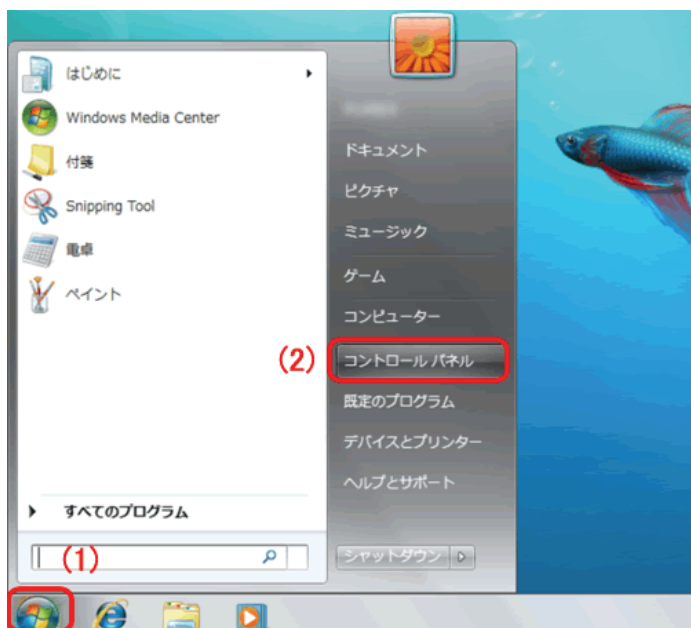
7.3.2 手動設定

パソコンの IP アドレスを手動で設定します。
お使いの OS を参照してください。

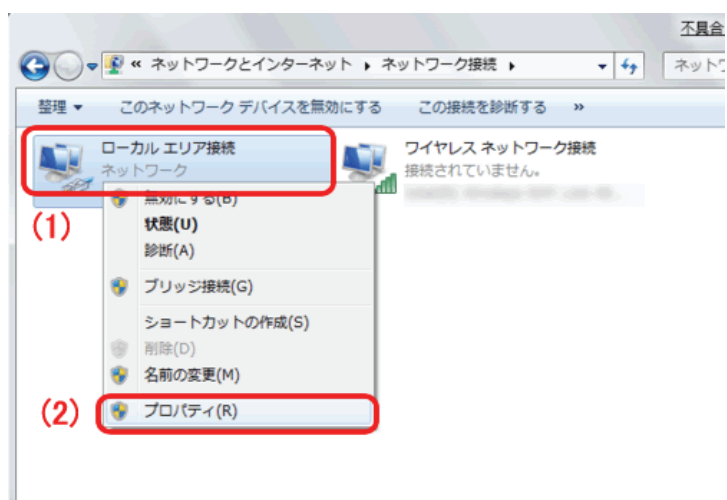
- Windows 7 のとき………………………………… 「7.3.2.1 Windows 7」
- Windows Vista のとき……………………………「7.3.2.2 Windows Vista」
- Windows XP のとき………………………………「7.3.2.3 Windows XP」
- Mac OS X のとき……………………………… 「7.3.2.4 Mac OS X」

7.3.1　自動設定

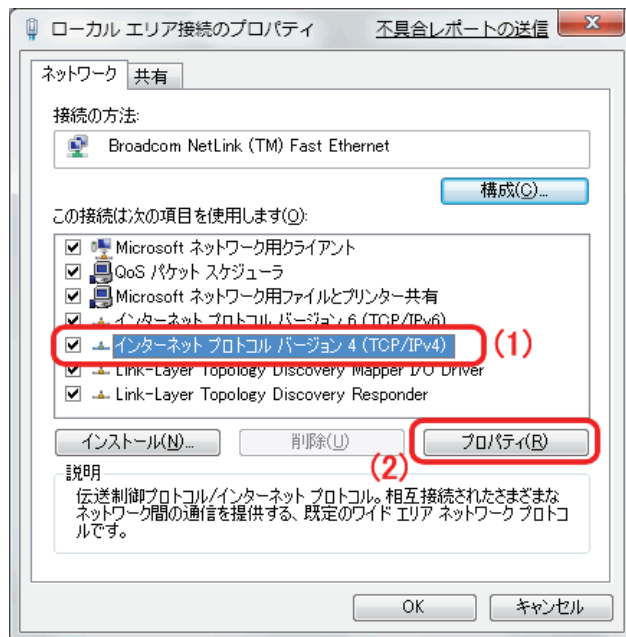
7.3.1.1　Windows 7

1. (1)「スタート」ボタンをクリックします。
   (2)「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※アイコン表示のときは、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3. 「アダプターの設定の変更」をクリックします。

4. (1)「ローカルエリア接続」を右クリックします。

(2)「プロパティ」をクリックします。

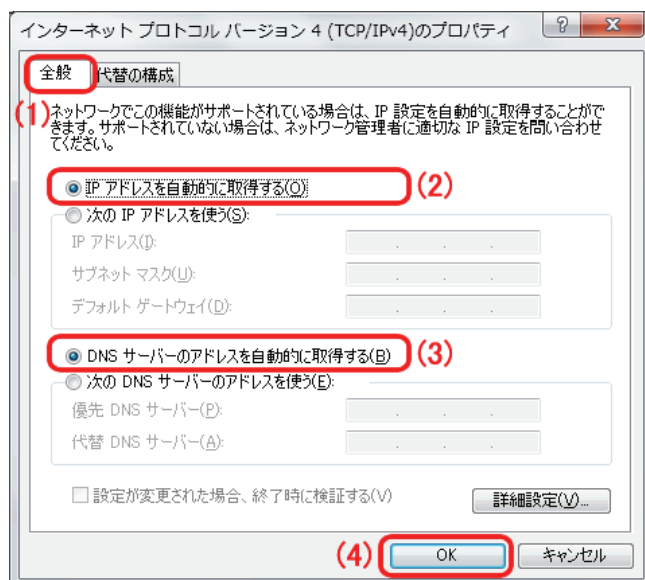
5. (1)「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」を選びます。

(2) [プロパティ]をクリックします。

6. (1)「全般」タブをクリックします。

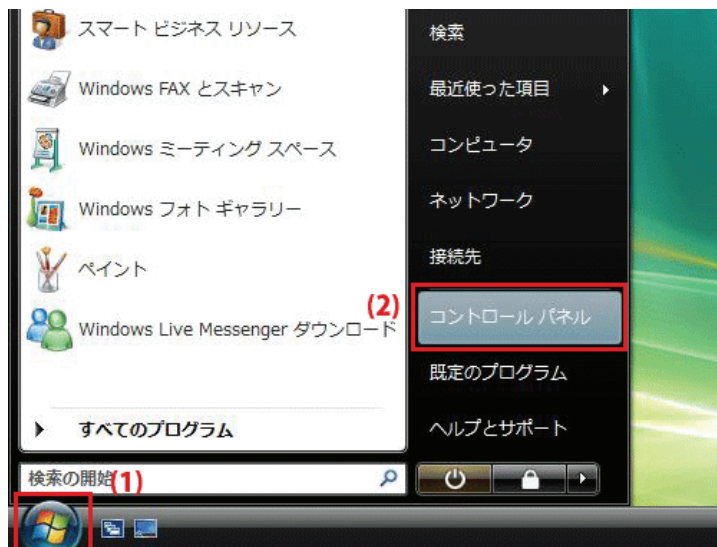
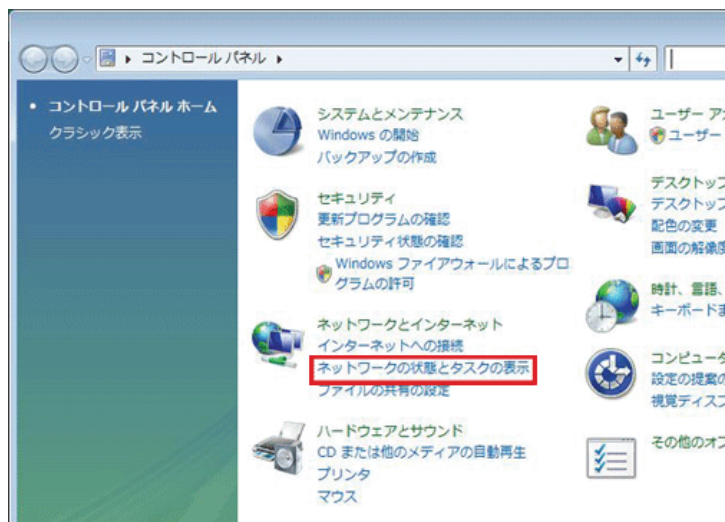
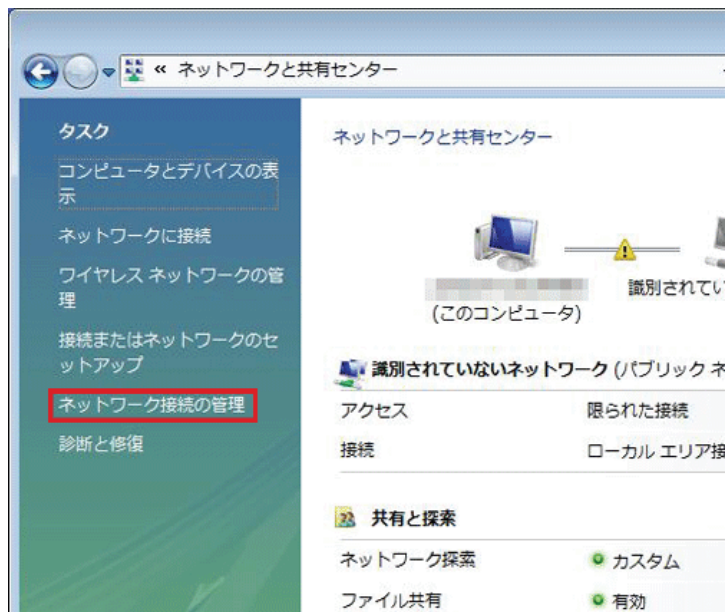
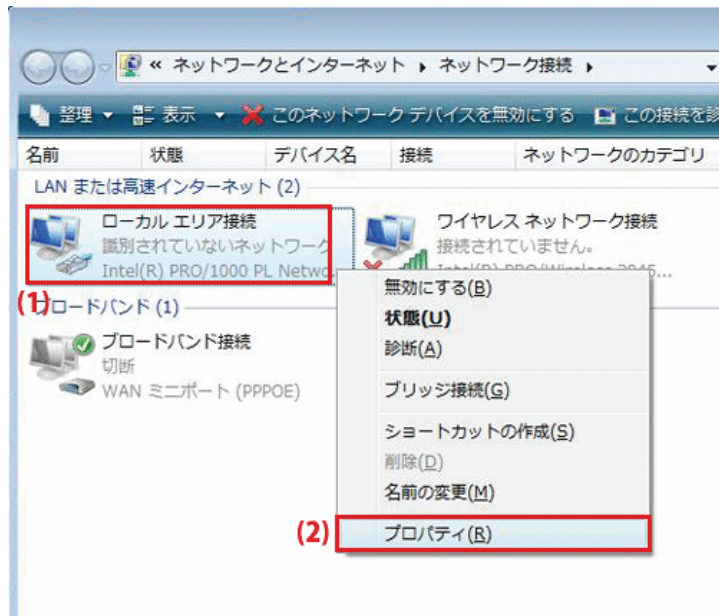
(2)「IP アドレスを自動的に取得する」を選びます。

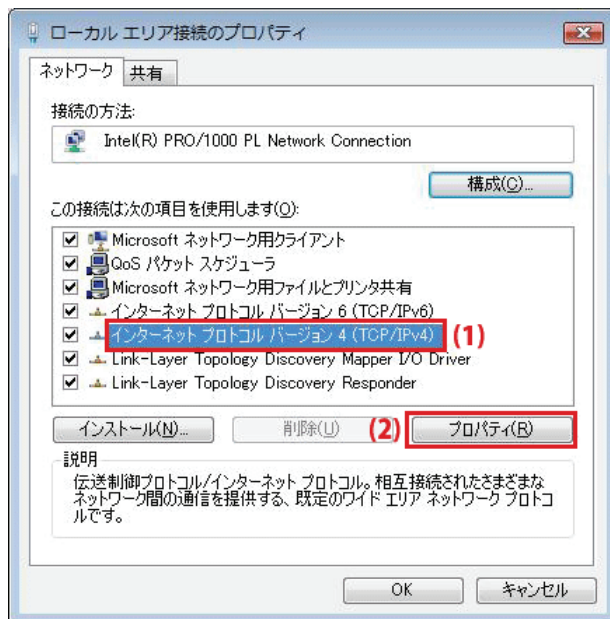
(3)「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選びます。

(4)[OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

7. [閉じる]をクリックし、すべての画面を閉じます。

7.3.1.2 Windows Vista

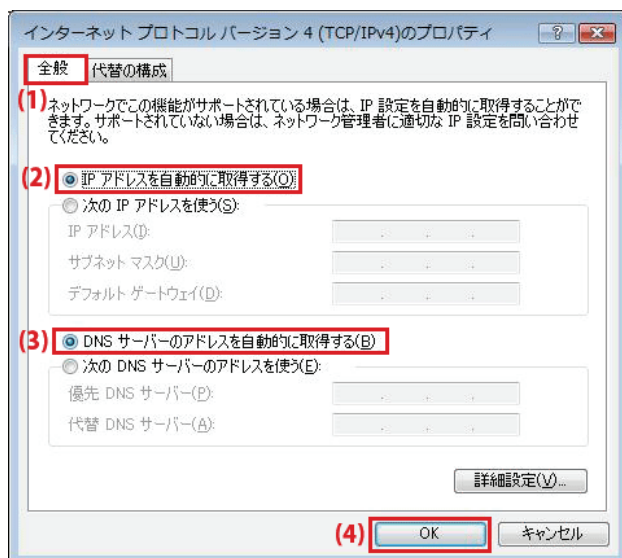
1. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※クラシック表示画面の場合は、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3. 「ネットワーク接続の管理」をクリックします。

4. 「ローカルエリア接続」を右クリックして「プロパティ」を選択します。

5. 「ユーザーアカウント制御」が表示されます。
[続行]をクリックします。

6. 「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」を選び、[プロパティ]をクリックします。

7. (1)「次の IP アドレスを使う」をクリックします。

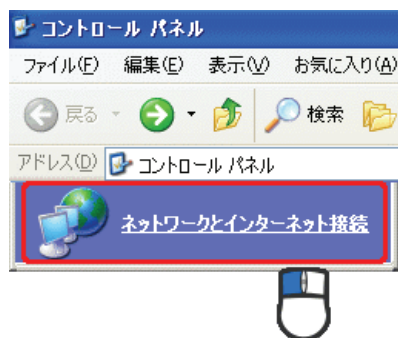
(2)「IP アドレスを自動的に取得する」を選びます。

(3)「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選びます。

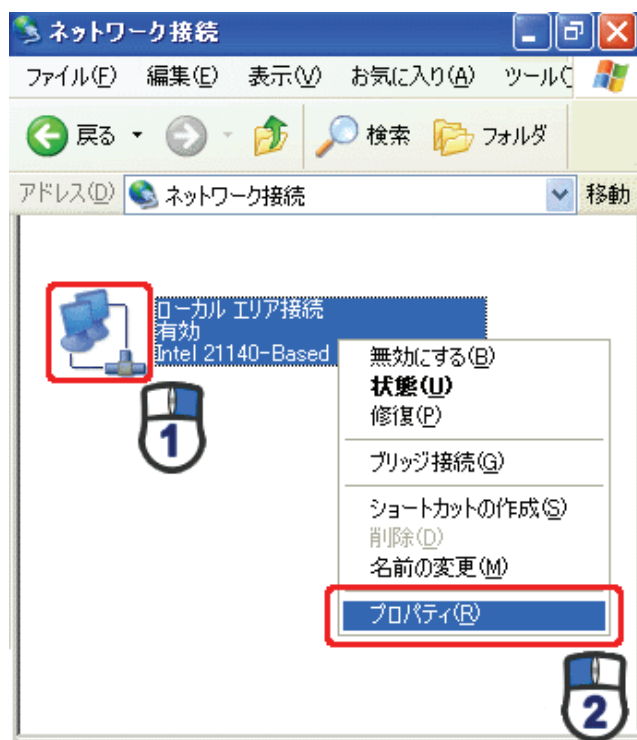
(4)[OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

8. [閉じる]をクリックし、すべての画面を閉じます。

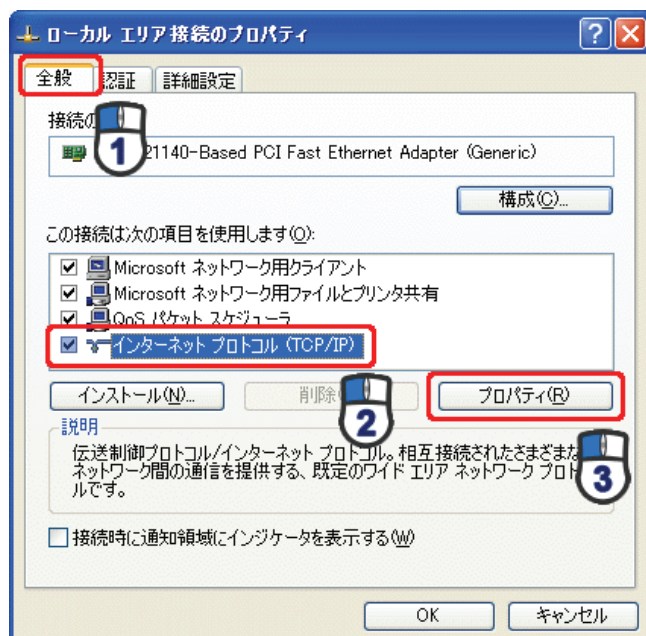
7.3.1.3 Windows XP

1. 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

3. 「ネットワーク接続」をクリックします。

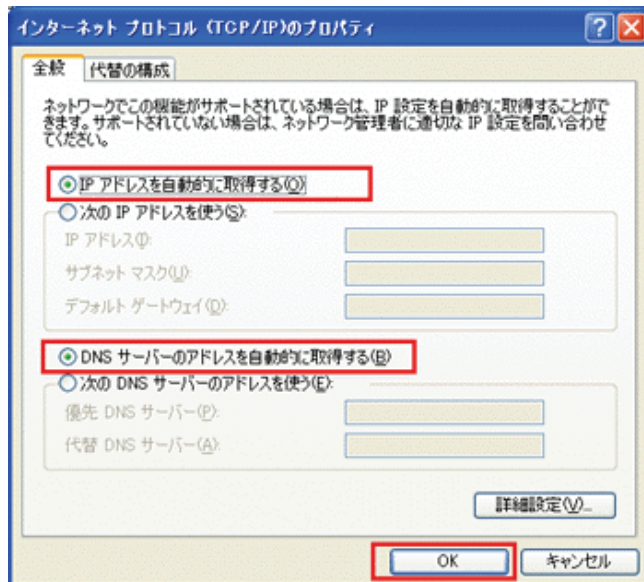
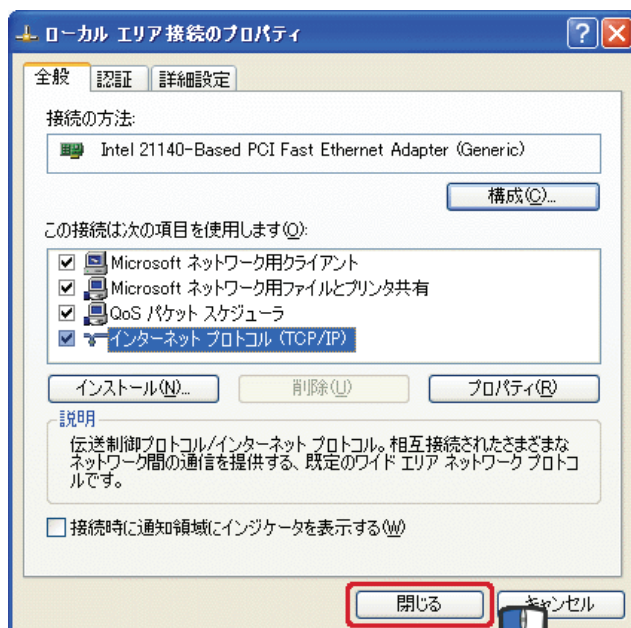
4. 「ローカル エリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

5. (1)「全般」タブをクリックします。

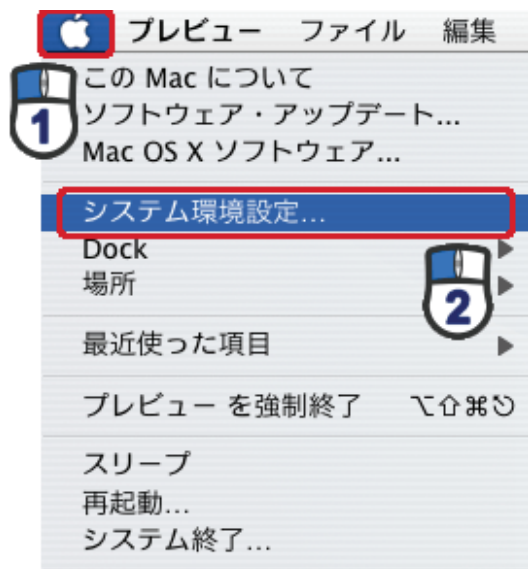
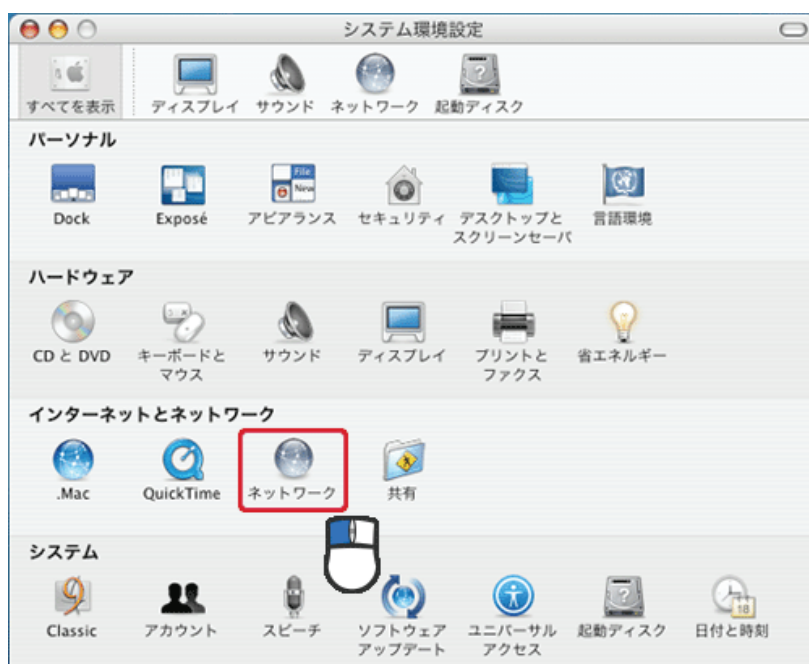
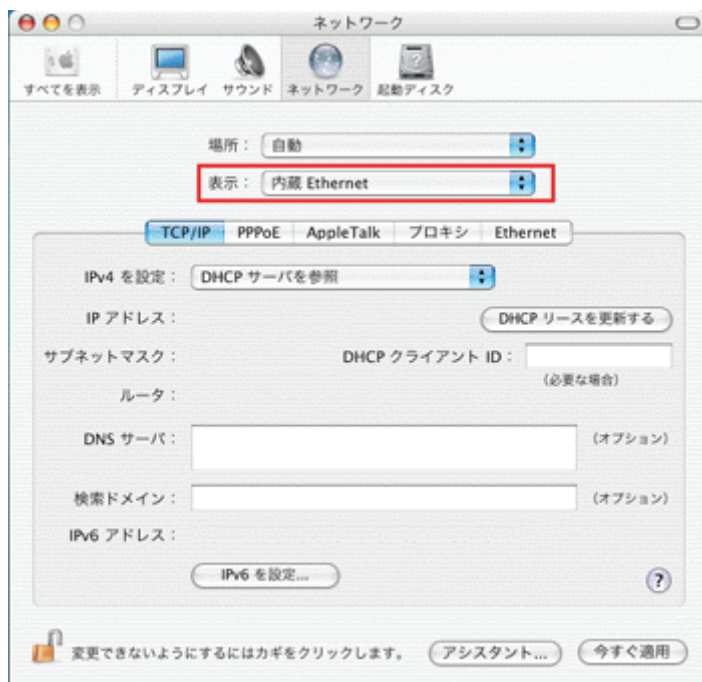
(2)「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選びます。

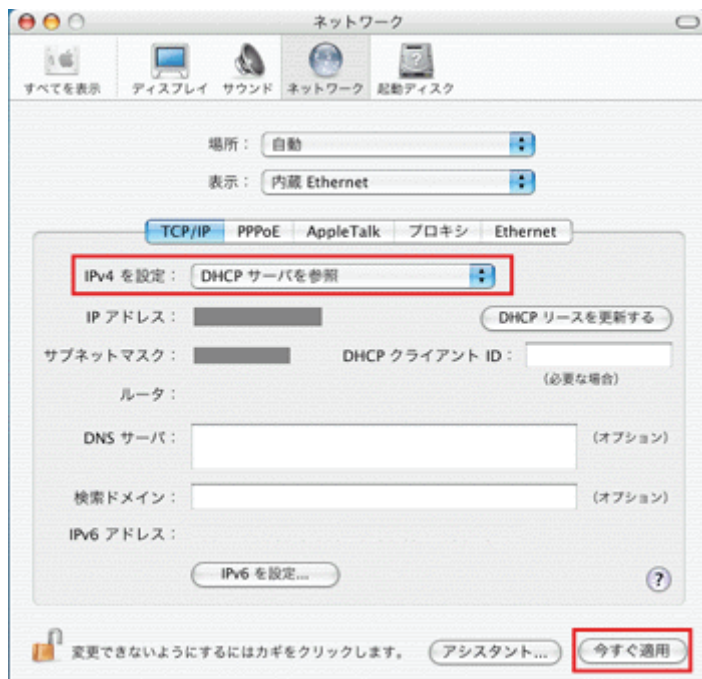
(3)[プロパティ]をクリックします。

6. (1)「IP アドレスを自動的に取得する」にチェックを入れます。

(2)「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックを入れます。

(3) [OK]をクリックします。

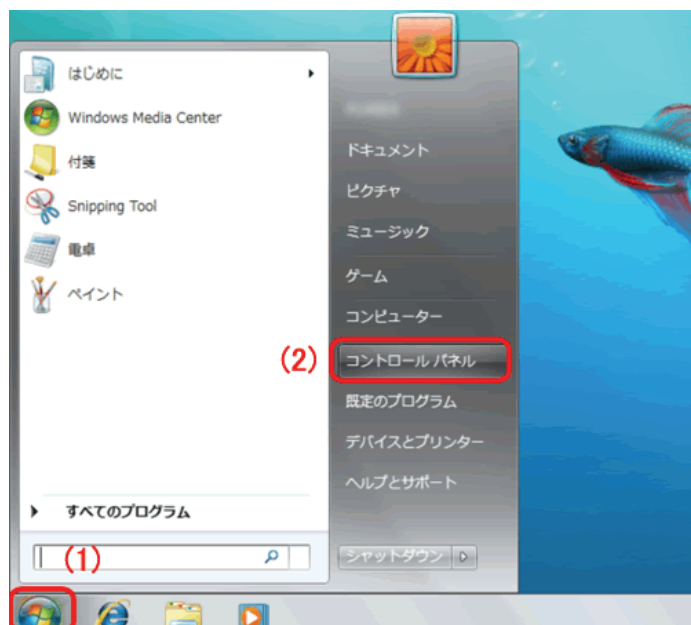
※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

7. [閉じる]をクリックします。

7.3.1.4 Mac OS X

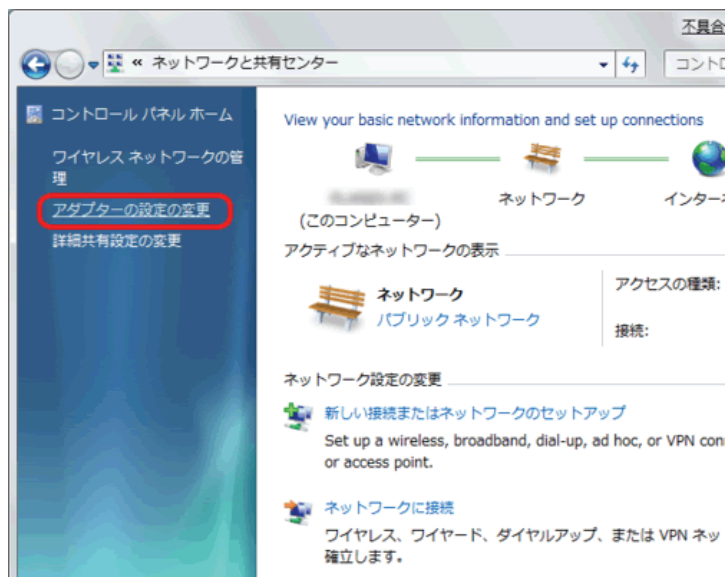
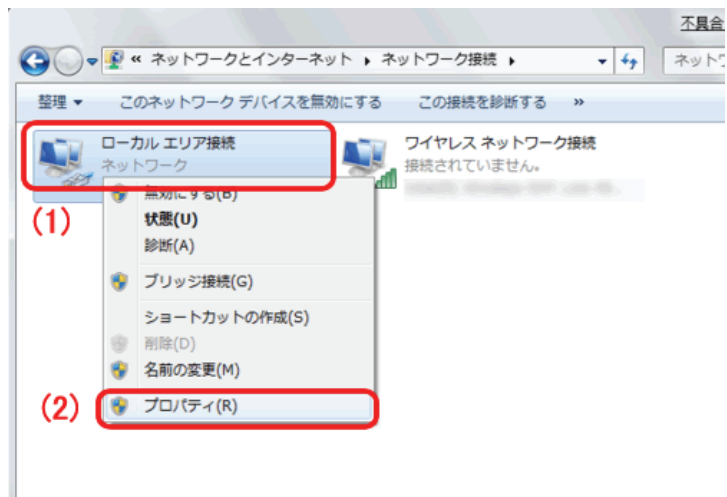
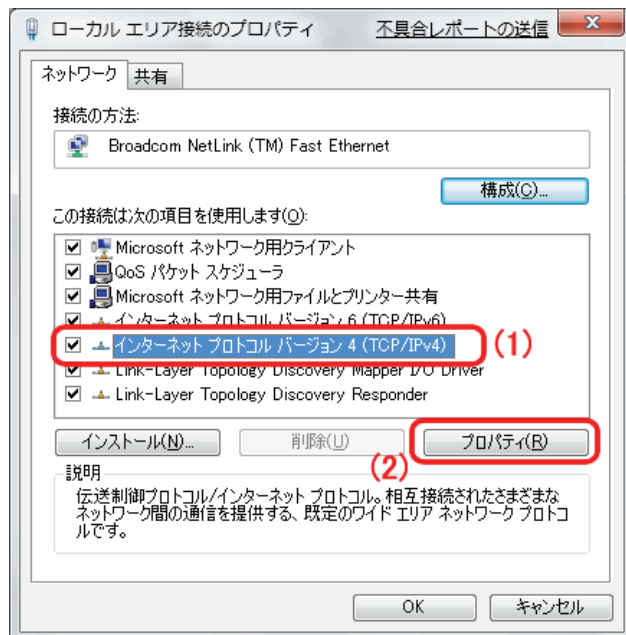
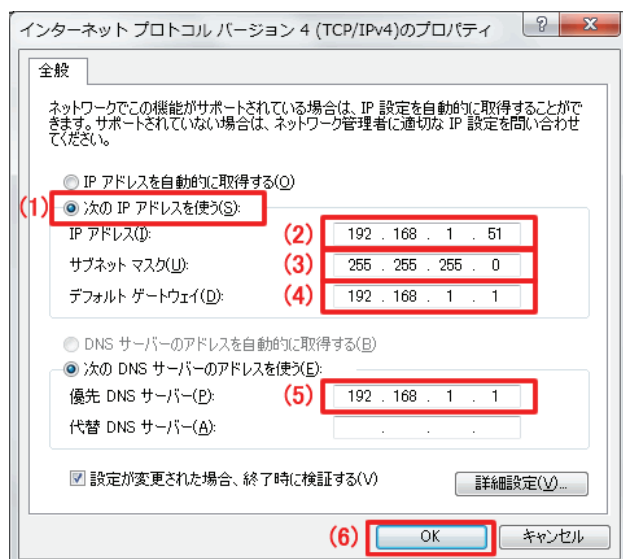
1. 「アップルメニュー」→「システム環境設定」をクリックします。

2. 「インターネットとネットワーク」の 「ネットワーク」をクリックします。

3. 「ネットワーク」の画面が表示されます。
「表示」欄から「（内蔵）Ethernet」を選択します。

※［DHCP サーバを参照］が表示されていないときは、［PPPoE］タブをクリックし、「PPPoE を使って接続する」のチェックをオフにします。

4. 「TCP/IP」タブの「IPv4 を設定」欄から「DHCP サーバを参照」を選択します。

5. ［適用］をクリックします。

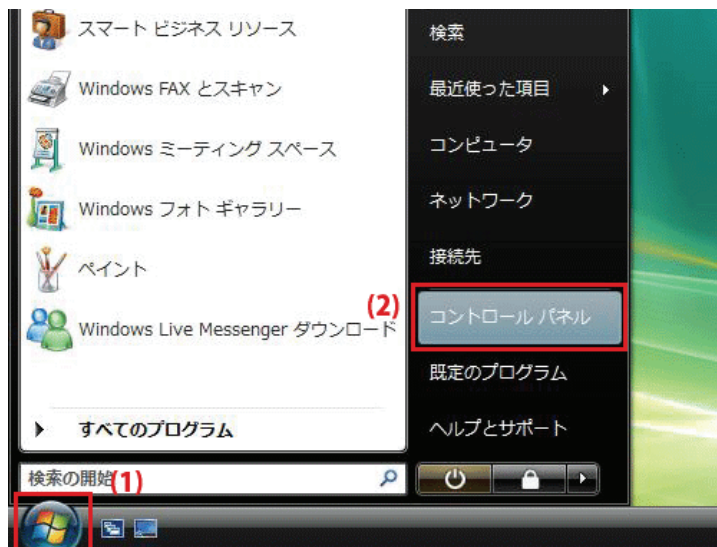
7.3.2 手動設定

7.3.2.1 Windows 7

1. (1)「スタート」ボタンをクリックします。
   (2)「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※アイコン表示のときは、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3. 「アダプターの設定の変更」をクリックします。

4. (1)「ローカルエリア接続」を右クリックします。
   (2)「プロパティ」をクリックします。

5. (1)「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」を選びます。
(2) [プロパティ]をクリックします。

6. (1)「全般」タブをクリックします。
(2)「IP アドレスを自動的に取得する」を選びます。
(3)「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選びます。
(4)[OK]をクリックします。
※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。
※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。

7. [閉じる]をクリックし、すべての画面を閉じます。

7.3.2.2 Windows Vista

1. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※クラシック表示画面の場合は、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3. 「ネットワーク接続の管理」をクリックします。

4. 「ローカルエリア接続」を右クリックして「プロパティ」を選択します。

5. 「ユーザーアカウント制御」が表示されます。

[続行]をクリックします。

6. 「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」を選び、[プロパティ]をクリックします。

7. (1)「次の IP アドレスを使う」をクリックします。

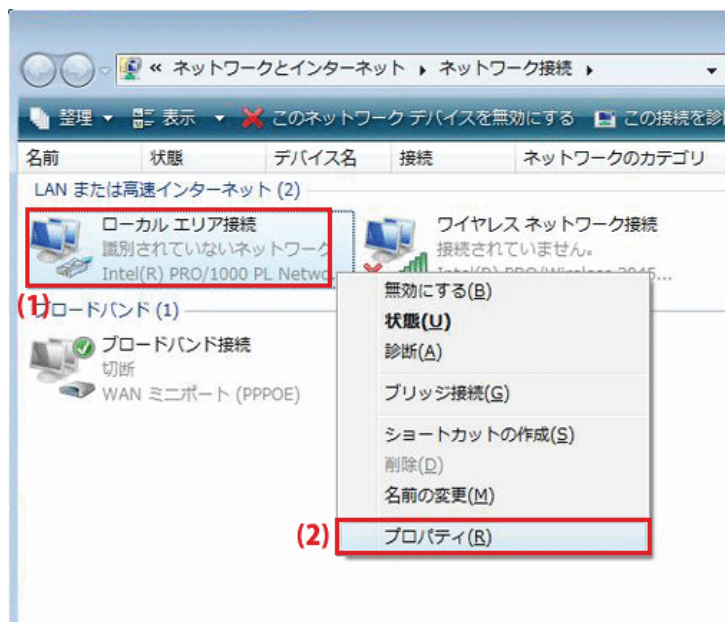
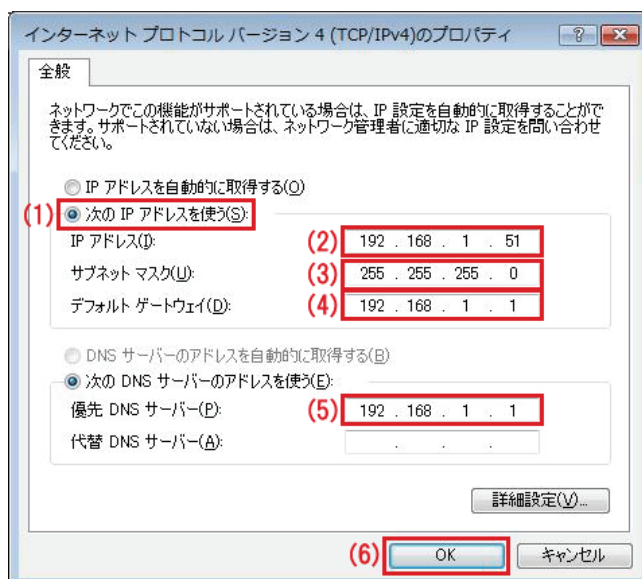
(2)「IP アドレス」に「192.168.1.xxx」（「xxx」には 2～19、51～254 の任意の値。パソコンのときは 51～99 を推奨）と入力します※。

(3)「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

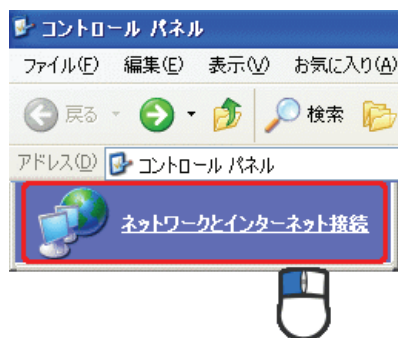
(4)「デフォルトゲートウェイ」に「192.168.1.1」と入力します。

(5)「優先 DNS サーバー」に「192.168.1.1」と入力します。

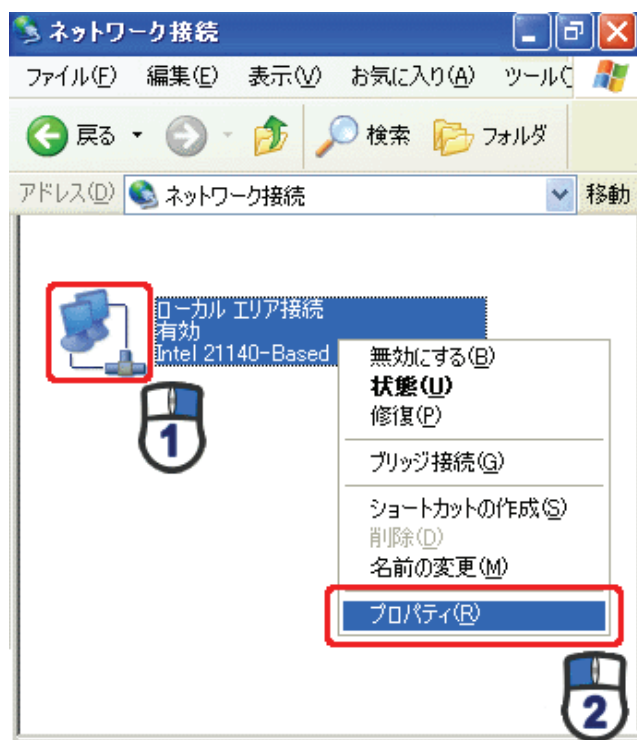
(6)[OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。

8. [閉じる]をクリックし、すべての画面を閉じます。

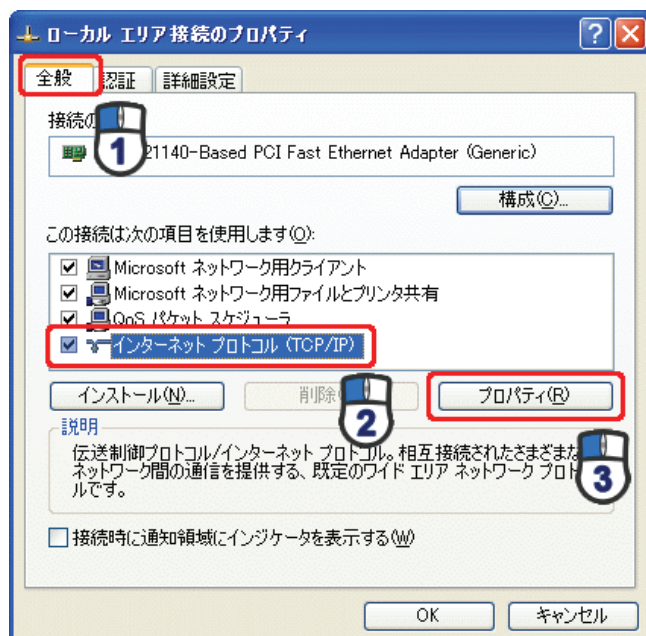
7.3.2.3 Windows XP

1. 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックします。

2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

3. 「ネットワーク接続」をクリックします。

4. 「ローカル エリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

5. (1)「全般」タブをクリックします。

(2)「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選びます。

(3)[プロパティ]をクリックします。

6. (1)「次の IP アドレスを使う」をクリックします。

(2)「IP アドレス」に「192.168.1.xxx」(「xxx」には 2～19、51～254 の任意の値。パソコンのときは 51～99 を推奨)と入力します ※。

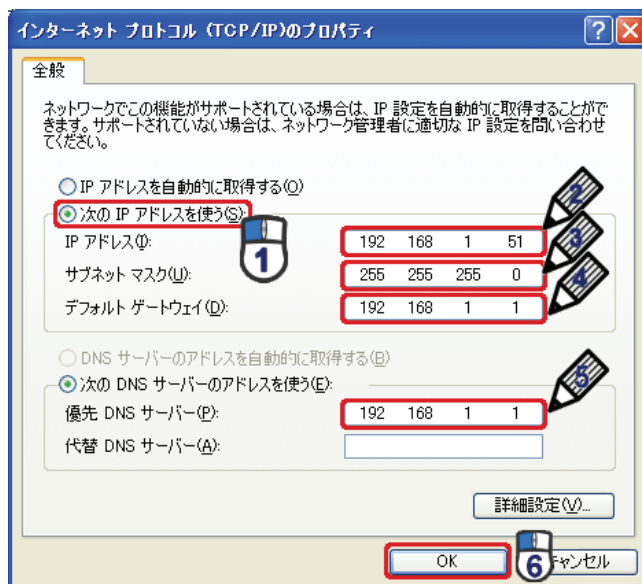
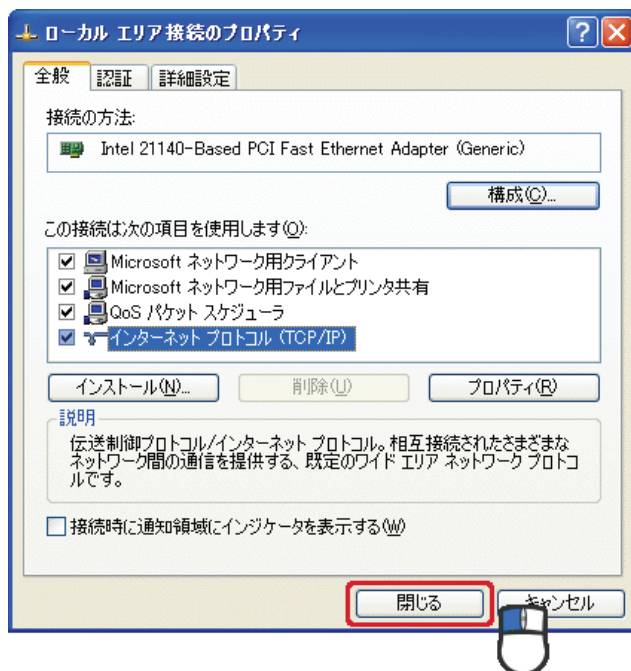
(3)「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

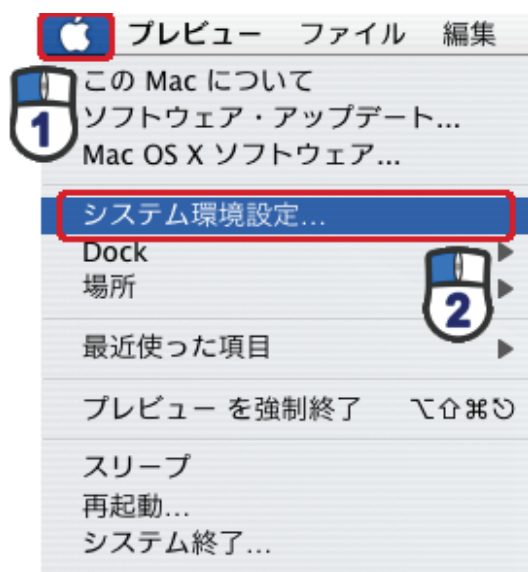
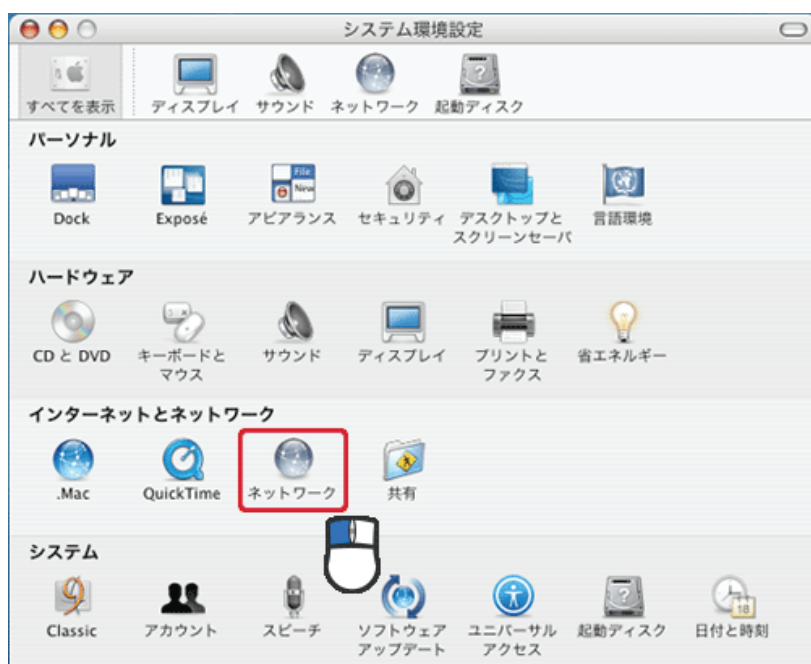
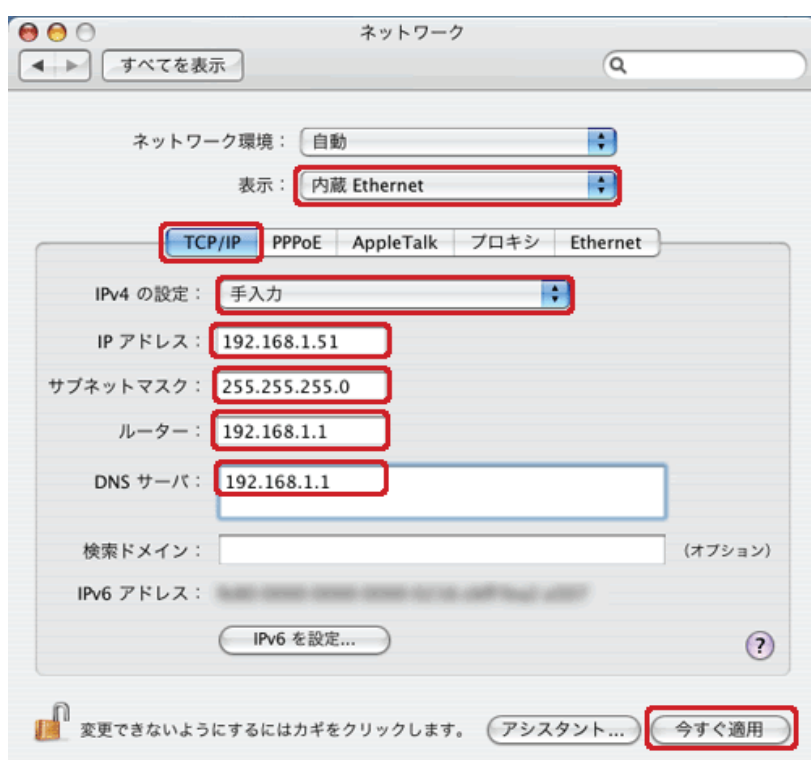
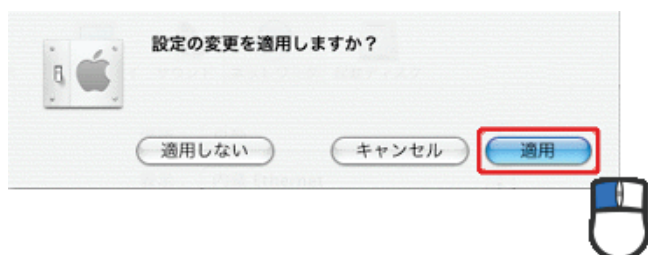
(4)「デフォルトゲートウェイ」に「192.168.1.1」と入力します。

(5)「優先 DNS サーバー」に「192.168.1.1」と入力します。

(6)[OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。

7. [閉じる]をクリックします。

7.3.2.4 Mac OS X

1. 「アップルメニュー」→「システム環境設定」をクリックします。

2. 「インターネットとネットワーク」の 「ネットワーク」をクリックします。

3. (1)「表示」から「内蔵 Ethernet」を選びます。
(2)「TCP/IP」タブをクリックします。
(3)「IPv4 を設定」から「手入力」を選びます。
(4)「IP アドレス」に「192.168.1.xxx」(「xxx」には 2～19、51～254 の任意の値。パソコンのときは 51～99 を推奨)と入力します※。
(5)「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。
(6)「ルーター」に「192.168.1.1」と入力します。
(7)「DNS サーバ」に「192.168.1.1」と入力します。
(8)[今すぐ適用]をクリックします。
※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。
※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。

4. [適用]をクリックします。

第 8 章:製品仕様

型番	MZK-MR150
無線部仕様	
対応規格	IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b
チャンネル数	1～13ch
周波数帯域	2.4GHz 帯(2,412～2,472MHz)
伝送速度	IEEE802.11n(40MHz) :最大 150Mbps
	IEEE802.11g:54、48、36、24、18、12、9、6Mbps
	IEEE802.11b:11、5.5、2、1Mbps
伝送方式	IEEE802.11n:直交波周波数分割多重変調(OFDM 方式)
	IEEE802.11g:直交波周波数分割多重変調(OFDM 方式)
	IEEE802.11b:直接拡散型スペクトラム拡散(DSSS 方式)
アンテナ利得	2dBi(peak)
アンテナ	内蔵アンテナ 1 本(1T1R)
アクセス方式	インフラストラクチャモード
自動無線設定機能	WPS
WDS	WDS ブリッジ
セキュリティ	WPA2-PSK(暗号化方式:TKIP)
	WPA2-PSK(暗号化方式:AES)
	WPA-PSK(暗号化方式:TKIP)
	WPA-PSK(暗号化方式:AES)
	WEP(キー長:64bit/128bit、キーフォーマット:ASCII/Hex)
	無効(暗号なし)
有線部仕様	
対応規格	IEEE802.3u(100BASE-TX)
	IEEE802.3i(10BASE-T)
インターフェース	RJ-45 ポート×2(WAN×1、LAN×1) USB2.0(Type A)ポート×1
伝送速度	100/10Mbps(オートネゴシエーション)
ネットワークケーブル	100BASE-TX:カテゴリ 5 以上
	10BASE-T:カテゴリ 3 以上
USB 機能	3G データ通信端末
ソフトウェア仕様	
対応 WAN 回線	FTTP、ADSL、VDSL、CATV、3G
WAN 設定	IP アドレス自動取得(DHCP クライアント)

	固定 IP アドレス（手動設定）
	PPPoE クライアント設定
	PPPoE マルチセッション（最大 2 セッション）
	Unnumbered PPPoE
	3G データ通信端末
LAN 設定	固定 IP アドレス（手動設定）
	DHCP サーバ（有効/無効）
ルーティング機能	スタティックルーティング
アドレス変換	NAPT（IP マスカレード）
ローカルサーバ機能	ポートフォワード、仮想サーバ、DMZ
セキュリティ	MAC アドレスフィルタ、IP フィルタ、URL フィルタ、ポートフィルタ
IPv6 関連	IPv6 ブリッジ機能(IPv6 パススルー)
VPN 関連	IPsec パススルー、PPTP パススルー、L2TP パススルー
ダイナミック DNS	CyberGate-DDNS-、DynDNS
ハードウェア仕様	
ハードウェアスイッチ	WPS ボタン、Reset ボタン、モード切り換えスイッチ （OFF/Separate/Security）
LED	Status、Internet、LAN、Wireless/WPS
消費電力	最大約 3.8W
電源	DC 5V 1A
外形寸法	約 85（W）×24（H）×58（D）mm (突起部を除く)
重量	約 58g
動作時環境	温度：0～40℃
	湿度：10%～90%（結露なきこと）
保存時環境	温度：-20～60℃
	湿度：10%～90%（結露なきこと）
その他	
AC アダプタ規格	入力：AC100-240V 50-60Hz
	出力：DC 5V 1A
ログ機能	システムログ、セキュリティログ
管理機能	リモート管理
対応 OS	Windows 7（32bit/64bit）/Vista（32bit/64bit）/XP
	Mac OS X 10.6/10.5/10.4(CPU :Intel/PowerPC support)
各種設定方法	WEB ブラウザ
保証期間	1 年間

■注意事項

※WEB ブラウザによる設定の際に、一部のブラウザでは正常に表示できない場合があります。
※WPA/WPA2 を利用するためには、接続する Wi-Fi 機器も WPA または WPA2 に対応している必要があります。
※WPS を利用するためには、接続する Wi-Fi 機器も WPS に対応している必要があります。
※無線チャンネル幅は初期値が 20MHz となっています。40MHz(理論値 150Mbps)を使用する場合は WEB 設定画面にて、20/40MHz のモードに変更してください。
※WDS ブリッジ機能は同一機種のみサポートしています。
※表示の数値は、Wi-Fi 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。最新情報は、弊社ホームページ(http://www.planex.co.jp)を参照ください。

第 9 章：お問合せ

●サポート Q&A 情報（FAQ、よくある質問と答え）

ご質問の前に、まずサポート Q&A 情報をご覧ください。

お問い合わせの情報が掲載されているかお確かめください。

http://faq.planex.co.jp/

●オンラインマニュアル

最新版のマニュアルを参照できます。

http://www.planex.co.jp/support/download/index_manual.shtml

●技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ

製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

＜お問い合わせフォーム＞

http://www.planex.co.jp/support/techform/

受付：24 時間

＜サポートダイヤル＞

0570-064-707

受付：月～金曜日、10 ～ 12 時、13 ～ 17 時（※祝祭日および弊社指定の休業日を除く）

＜ FAX ＞

03-5766-1615

受付：24 時間

●弊社製品の追加購入〈PLANEX DIRECT〉

弊社製品のご購入は、販売店様または PLANEX DIRECT まで。

ケーブル 1 本からレイヤ 3 スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

http://direct.planex.co.jp/

●製品に関するお問い合わせ〈ご質問/ お見積もりフォーム〉

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。

ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

http://www.planex.co.jp/lan.shtml

●その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

http://www.planex.co.jp/

上記内容は 2012 年 9 月現在の情報です。

内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

●ご注意：ご使用の際は必ず商品に添付された取扱説明書をお読みになり、正しく安全にご使用ください。